

# 消防年報

令和4年度版



香川県

三観広域行政組合消防本部

令和5年刊行







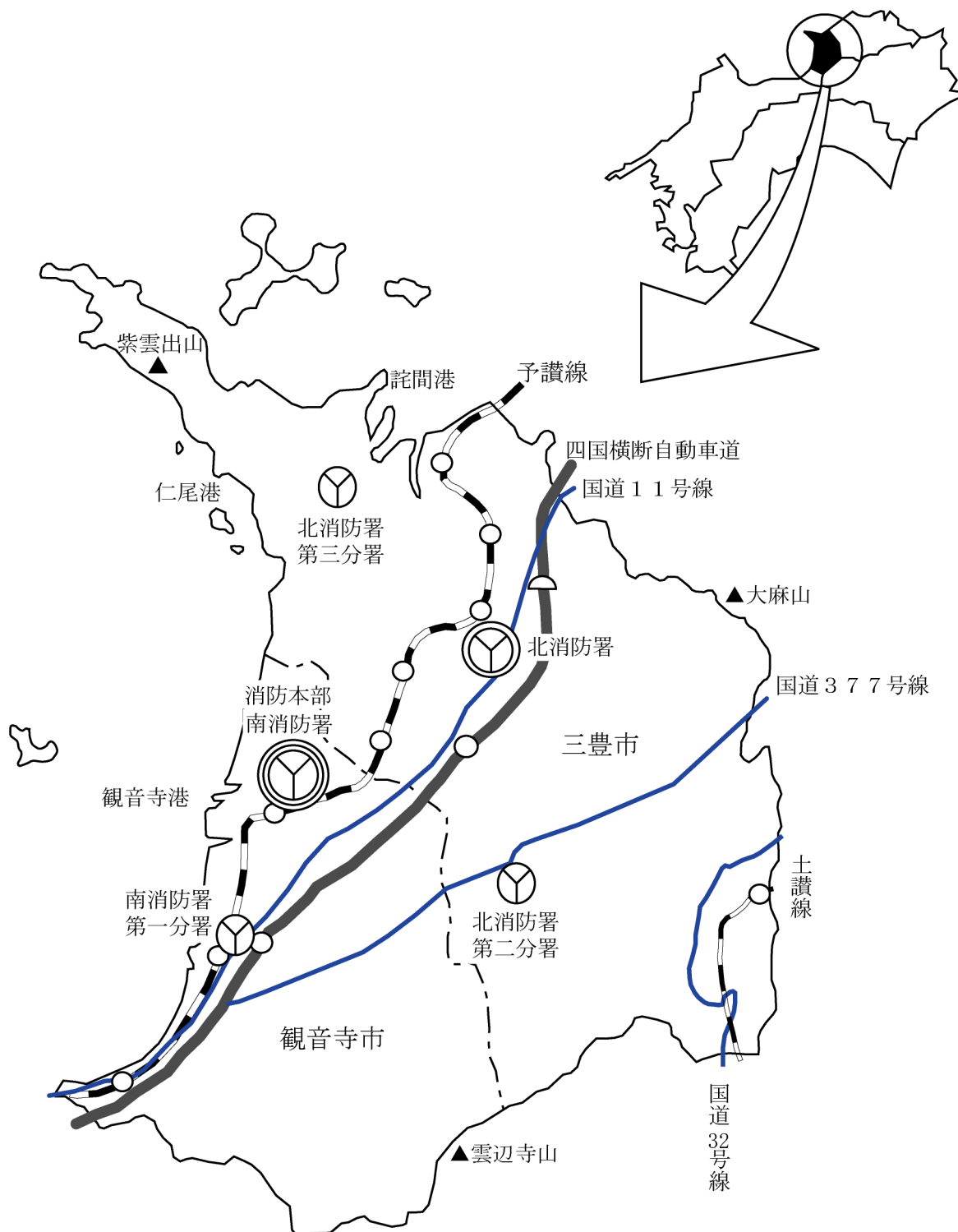
# は じ め に

この年報は、三観広域行政組合消防行政をひろく一般に紹介するとともに近年ますます複雑多様化する災害に対処するための資料として、本広域消防の現勢及び令和4年中の消防業務の内容、火災、救急統計等を収録編さんしたものであります。

三観広域行政組合消防本部

## 三観広域の位置及び管内図

三観広域行政組合は香川県の西端に位置し、総面積は約 340 km<sup>2</sup>、人口は約 **119,400** 人で、県全域面積の約 18%、人口では約 12%を占めています。圏域の西は燧灘に、北は備讃瀬戸に面し、東は大麻山（616.3m）系を境に中讃広域圏に接し、南は讃岐山脈を境に徳島県と愛媛県に接しています。そしてこれらの山系と、北西部で瀬戸内海に突出した荘内半島（紫雲出山 352.4m）に連なる七宝山系（最高 444.2m）に囲まれるようにして、中央部に三豊平野が広がっています。また気候は温暖で、山紫水明の恵まれた自然環境に包まれています。



### 三観広域行政組合消防本部の沿革

昭和44年	8月 1日	広域市町村圏設定の認可
昭和44年	8月12日	三豊地区広域市町村圏振興協議会の設立
昭和46年	3月20日	一部事務組合同規約の許可
昭和46年	3月22日	三豊地区広域市町村圏振興事務組合の設立
昭和47年	3月14日	組合同規約変更（消防事務加入）許可（昭和47年4月1日施行）
昭和47年	4月 1日	消防本部、南消防署設置 観音寺市消防職員35名派遣（職員定数92名） 消防本部業務全域開始（9名）南消防署観音寺市域業務開始（26名） （消防ポンプ車5台 救急車1台 指令車1台配置）
昭和47年	4月15日	政令指定告示（昭和48年4月1日効力発生）
昭和47年	9月 1日	三豊広域消防連絡協議会設置
昭和47年	12月 1日	北消防署設置 業務開始（16名）（消防ポンプ車1台 救急車1台配置）
昭和47年	12月 1日	消防本部と1市9町消防団との協定
昭和48年	4月 1日	南署第一分署、第二分署及び北署第三分署仁尾分駐所設置（消防本部2名増員、南署1名増員、南署第一分署15名、第二分署15名、北署2名増員、第三分署20名の配置）（職員定数108名） （南署第一分署、第二分署、北署第三分署にそれぞれ消防ポンプ車1台、救急車1台を配置）
昭和48年	4月 1日	三豊広域全域消防業務開始 本部消防救急指令装置設置
昭和49年	4月 1日	〈職員定数117名〉
昭和50年	3月31日	本部指令車1台及び広報車1台配置 本部指令車1台北署へ配置替
昭和50年	4月 1日	〈職員定数122名〉
昭和51年	3月28日	県共済農協連より救急自動車1台寄贈（共済号） 南署配置
昭和51年	3月31日	本部消防救急無線指令装置附加設置
昭和51年	4月 1日	〈職員定数127名〉
昭和51年	9月14日	水槽付消防ポンプ車1台日本損保協会より寄贈 北署へ配置
昭和51年	10月21日	はしご付消防ポンプ車（24m級）1台南署へ配置 消防ポンプ車1台北署へ配置
昭和52年	4月 1日	本部に課制をしき総務課に庶務係、経理係、警防課に予防係、保安係、警防係、通信係となる。 〈職員定数134名〉
昭和52年	4月 1日	消防音楽隊（同好会）発足
昭和52年	12月21日	救助工作車1台、化学車1台南署へ配置 化学車1台北署第三分署配置
昭和53年	3月16日	県共済農協連より救急車1台寄贈 北署へ配置
昭和53年	4月 1日	〈職員定数140名 発足時基本計画数充足〉
昭和54年	1月19日	消防ポンプ車1台南署へ配置 搬送車1台北署第三分署へ配置
昭和54年	1月24日	日本損保協会より救急車1台寄贈、南署へ配置
昭和54年	7月31日	査察広報車1台（更新）北署へ配置
昭和54年	10月25日	搬送車南署第一分署、第二分署へ各1台配置
昭和55年	9月18日	軽四バン（査察・広報用）本部へ配置
昭和55年	9月22日	搬送車、南・北署へ各1台配置
昭和55年	12月15日	屈折はしご付消防ポンプ車（15m級）北署へ配置
昭和56年	2月28日	県共済農協連より救急車1台寄贈、南署第二分署へ配置
昭和56年	3月19日	仁尾太陽博覧会々場救急業務用として救急車1台、北署第三分署仁尾分駐所へ配置

昭和57年 1月27日	軽四バン（査察用）南・北署へ各1台配置
昭和57年10月 4日	軽四バン（査察用）本部へ配置
昭和57年10月28日	軽四バン（査察・広報用）南署第一分署、第二分署、北署第三分署へ各1台配置
昭和57年10月30日	指令車本部へ配置
昭和58年11月21日	（財）日本防火協会より広報車1台寄贈（婦人防火クラブ連合会）
昭和59年 3月 6日	救急車1台（更新）南署へ配置
昭和59年 3月 9日	消防庁長官竿頭授受賞
昭和59年 3月23日	消防ポンプ車（高圧ポンプ積載）（更新）北署へ配置
昭和59年 3月28日	指令車（更新）南署へ配置
昭和59年 7月20日	テレホンサービス業務（25-5000）を10回線で開始
昭和59年12月21日	消防ポンプ車（更新）南署第一分署、第二分署、北署第三分署へ各1台配置
昭和60年 3月30日	3県境を接点とする3組合2市7町1村間において広域消防相互応援協定締結
昭和60年10月25日	林野火災工作車南署第二分署へ配置
昭和61年 9月29日	軽四査察車1台（更新）本部へ配置
昭和61年12月 1日	香川県消防相互応援協定締結（5市38町6組合）
昭和62年 4月 1日	〈職員定数148名〉
昭和62年 4月 1日	南署に特別救助隊、北署に救助隊を設置
昭和62年 9月14日	（財）日本消防協会より救急車1台寄贈
昭和62年12月 1日	香川県消防相互応援協定に基づく高速自動車道に関する覚書締結（善通寺市）
昭和62年12月 1日	広域消防相互応援協定に基づく高速自動車道に関する覚書締結（宇摩広域組合）
昭和62年12月16日	高速自動車道救急業務開始
昭和62年12月16日	高松、松山自動車道（善通寺～土居）における火災及び救急業務に関する覚書締結（宇摩広域組合、善通寺市、日本道路公団高松建設局）
昭和63年 3月 9日	消防庁長官表彰旗受賞
昭和63年 4月 1日	消防本部に予防課増設3課となる
平成元年 2月 1日	指令車（更新）北署へ配置
平成元年 4月27日	三豊広域防災センター開設
平成元年 8月18日	（財）日本消防協会より指令広報車1台寄贈、本部へ配置
平成元年 9月 3日	北署第三分署新築移転落成式
平成元年 9月21日	日本損保協会より消防ポンプ車（BD-1）1台寄贈北署へ配置
平成 2年 9月28日	離島対策用防災車両（三輪動力運搬車）伊吹島へ配置
平成 2年10月 5日	軽四査察車（更新）南署へ配置
平成 2年10月 6日	離島対策用防災車両（軽四輪可搬ポンプ積載車）栗島へ配置
平成 2年10月31日	軽四査察広報車（更新）北署第三分署へ配置
平成 3年 2月 5日	安田生命保険相互会社より救急車1台寄贈、北署第三分署へ配置
平成 3年 3月27日	救急車（更新）北署へ配置
平成 3年 8月19日	軽四査察車1台（更新）本部へ配置
平成 3年 8月20日	（財）日本消防協会より救急車1台寄贈 南署第二分署へ配置
平成 3年 8月30日	軽四査察車（更新）南署第一分署・第二分署へ各1台配置
平成 4年 1月 3日	高速自動車道（高知自動車道）に関する覚書締結（宇摩広域組合） 高知自動車道（川之江JCT～大豊）における火災及び救急業務等に関する覚書締結（宇摩広域組合、日本道路公団高松建設局）
平成 4年 1月22日	軽四搬送車4WD1台（更新）北署第三分署へ配置
平成 4年 3月31日	本部 消防緊急通信指令施設Ⅱ型配置
平成 4年 6月 1日	〈職員定数175名〉
平成 4年 7月28日	クレーン付搬送車 南署へ配置
平成 4年 8月24日	軽四査察車1台（更新）北署へ配置
平成 4年 8月30日	軽四搬送車4WD（更新）南署第一分署・第二分署へ各1台配置
平成 5年 2月 6日	日本自動車工業会より救急自動車1台寄贈 南署第一分署へ配置



平成 5年 3月 9日	集団災害時の医師出動に係る協定締結
平成 5年12月 9日	消防ポンプ車（更新）南署へ配置
平成 6年 1月20日	香川県防災ヘリコプター派遣職員に関する協定締結 1月20日より1名派遣
平成 6年 2月 1日	香川県防災行政無線に関する協定締結
平成 6年 3月 7日	香川県防災ヘリコプター応援協定締結
平成 6年 4月 1日	警防課に救急救助係増設
平成 6年10月31日	南消防署第一分署改築工事
平成 6年11月21日	救助工作車（更新）南署へ配置
平成 6年12月20日	消防ポンプ車（更新）南署へ配置
平成 7年 9月 9日	救急医療情報システム運用開始（県設置）
平成 7年11月10日	水槽付消防ポンプ自動車（更新）南署へ配置 消防ポンプ自動車（更新）北署へ配置
平成 7年12月26日	指令車（更新）消防本部へ配置
平成 8年 1月31日	北消防署改修工事 南消防署第二分署改築工事
平成 8年 3月 1日	テレホンサービス業務10回線増設し20回線で運用
平成 8年 3月25日	日本損害保険協会より高規格救急車1台寄贈 高度救急資機材整備積載南署へ配置
平成 8年10月23日	はしご付消防自動車（40m）（更新）南署へ配置
平成 8年12月27日	南署一部改修工事
平成 9年 4月 1日	三豊広域消防計画制定
平成 9年10月30日	高度救助資機材整備南署へ配置
平成 9年12月12日	消防ポンプ自動車（更新）北署第三分署へ配置
平成 9年12月24日	高規格救急車（更新）北署へ配置
平成10年 3月25日	軽四査察車（更新）北署第三分署へ配置
平成10年11月 1日	携帯電話等による119番の受信開始
平成10年12月 8日	消防ポンプ自動車（更新）南署第一分署・第二分署へ配置
平成11年 3月10日	軽四査察車（更新）南署へ配置
平成11年 8月 2日	化学車（更新）北署第三分署へ配置
平成11年 8月 5日	軽四査察車（更新）南署第一分署・第二分署へ各1台配置
平成12年 2月 1日	指令車（更新）南署へ配置
平成12年 6月 1日	香川県防災情報システム端末装置の設置及び管理運営に関する協定締結
平成12年10月12日	軽四査察車（更新）消防本部・北署へ各1台配置
平成12年10月27日	広報車（更新）消防本部へ配置
平成13年 1月23日	指令車（更新）北署へ配置
平成13年 3月29日	香川県消防相互応援協定に基づく高速自動車道等に関する覚書締結 高松自動車道における救急業務、火災消火業務等に関する覚書締結
平成13年 6月12日	高圧送水装置（ウィック375）を南署第二分署（林野工作車）へ配置
平成13年12月 6日	高規格救急車（更新）北署第三分署へ配置
平成14年 3月 1日	総務省消防庁よりテロ対策資機材（Bセット）の貸与あり南署へ配置
平成14年 4月 1日	香川県消防学校派遣職員に関する協定締結 1名派遣
平成14年 4月 1日	三豊地区消防連合会事務委託協定締結 受託業務開始
平成14年11月 1日	E-mail運用開始
平成14年12月25日	高規格救急車（更新）南署第一分署へ配置
平成15年 4月 1日	HP（ホームページ）開設
平成15年 4月 1日	香川県メディカルコントロール協議会救急活動事後検証開始
平成15年 8月20日	指令車（更新）消防本部へ配置
平成15年11月 1日	各課・署へE-mail運用開設
平成15年12月 1日	鉄道災害時の安全対策に関する覚書締結（四国旅客鉄道株式会社）

平成15年12月24日	高規格救急車（更新）南署第二分署へ配置（高規格救急車更新整備完了）
平成16年 1月 1日	火災報告等オンライン処理システム運用
平成16年 3月30日	火災調査協力員に関する協定書締結（独立行政法人消防研究所）
平成16年 4月 1日	緊急消防援助隊 救助小隊 登録
平成16年10月 1日	指令施設連携地図等検索装置賃貸契約
平成16年12月14日	梯子車（15m級）更新 北消防署へ配置
平成17年 4月 1日	消防本部に情報指令課増設4課となる
平成17年 4月 1日	緊急消防援助隊 救急小隊 登録
平成17年10月11日	組合構成市町合併 観音寺市（観音寺市・大野原町・豊浜町）
平成17年11月 1日	携帯電話119番通報直接受信・転送等回線受付装置を指令台に併設設置
平成17年11月24日	救助工作車（Ⅱ型） 南消防署・北消防署へ配置
平成17年12月 9日	IP電話119番受信開始
平成17年12月17日	高規格救急車（更新）南消防署へ配置
平成18年 1月 1日	組合構成町7町合併 三豊市 （高瀬町・山本町・三野町・豊中町・詫間町・仁尾町・財田町）
平成18年 4月 1日	組合構成市町合併により、南消防署第二分署が北消防署第二分署へ名称変更。 構成市町の合併により消防本部名称変更 （三豊地区広域市町村圏振興事務組合消防本部から三観広域行政組合消防本部へ）
平成18年 4月 1日	緊急消防援助隊 消火小隊・毒劇物等対応小隊 登録
平成18年 8月28日	軽四搬送車4WD（更新）南署第一分署・第二分署へ各1台配置
平成18年10月 1日	予防技術資格者認定開始
平成18年11月20日	エアーテント（SAT-453）消防本部へ配置
平成19年 1月23日	消防OAシステム（NEFOAP）運用開始
平成19年 1月23日	小型動力ポンプ付水槽車〔10t〕（更新）南消防署第一分署へ配置
平成19年 2月20日	軽四査察車（更新）消防本部へ配置
平成19年 3月19日	軽四査察車（更新）北消防署第三分署へ配置
平成20年 1月16日	消防ポンプ自動車（更新）南消防署へ配置
平成20年 1月31日	水槽付消防ポンプ自動車（更新）北消防署へ配置
平成20年11月28日	人員搬送用マイクロバス消防本部へ配置
平成20年12月 8日	はしご付消防自動車（40m）オーバーホール実施
平成21年 2月16日	高規格救急車（更新）北消防署へ配置
平成21年11月 9日	査察車（更新）消防本部へ配置
平成21年12月 1日	消防緊急通信指令施設部分改修整備（指令伝送・順次指令・音声合成装置整備）
平成22年 1月22日	電動アシストホースカーを北消防署第三分署へ配置
平成22年 2月24日	消防ポンプ自動車（更新）南消防署へ配置
平成22年 4月22日	位置情報通知システム〔統合型〕運用開始
平成23年 1月27日	消防ポンプ自動車（更新）北消防署へ配置
平成23年10月31日	南消防署第一分署耐震大規模改修工事
平成23年10月31日	北消防署第二分署耐震大規模改修工事
平成24年 2月 1日	消防OAシステム更新整備
平成24年 3月14日	高規格救急車（更新）北消防署第三分署へ配置
平成24年 3月24日	全国瞬時警防システム（J-ALERT）運用開始
平成25年 3月 1日	救助工作車（更新）北消防署へ配置
平成26年 1月31日	水槽付消防ポンプ自動車（更新）南消防署へ配置
平成26年 2月18日	軽四査察車（更新）南消防署第一分署へ配置
平成26年 2月18日	軽四査察車（更新）北消防署第三分署へ配置
平成26年 9月29日	はしご付消防自動車（15m級）オーバーホール実施
平成26年12月26日	消防本部・南消防署新庁舎建設工事（Ⅰ期）竣工
平成27年 2月 9日	消防本部・南消防署新庁舎（事務所棟）業務開始

平成27年 2月 9日	消防救急デジタル無線及び高機能消防指令センター運用開始
平成27年 2月24日	高規格救急車（更新）南消防署第一分署へ配置
平成27年 4月 1日	緊急消防援助隊 救急小隊1 隊増隊登録
平成27年 9月10日	軽四査察車（更新）消防本部・北消防署へ各1 台配置
平成27年10月 9日	広報車（更新）北消防署へ配置
平成27年11月19日	資機材搬送車（更新）南消防署へ配置
平成28年 1月 5日	指揮車（更新）南消防署へ配置
平成28年 2月23日	消防ポンプ自動車（更新）北消防署第三分署へ配置
平成28年 3月18日	消防本部・南消防署新庁舎建設工事（Ⅱ期）竣工
平成28年 3月26日	消防本部・南消防署（車庫棟・訓練塔）業務開始
平成28年 3月30日	北消防署新庁舎建設工事竣工
平成28年 4月 1日	緊急消防援助隊 指揮隊1 隊・消火小隊1 隊増隊登録
平成28年 4月27日	北消防署新庁舎業務開始
平成28年10月20日	北消防署第三分署庁舎一部改修
平成28年10月27日	はしご付消防自動車（30m級・更新）南消防署へ配置
平成28年11月24日	高規格救急車（更新）南消防署へ配置
平成29年 1月17日	高規格救急車（更新）北消防署へ配置
平成29年 4月 1日	緊急消防援助隊（その他の特殊装備小隊【梯子車】）に登録
平成29年 6月27日	査察車（更新）消防本部へ配置
平成29年10月23日	高規格救急車（更新）北消防署第二分署へ配置
平成29年12月26日	指揮車（更新）北消防署へ配置
平成30年 1月15日	資機材搬送車（更新）南消防署へ配置
平成30年 2月20日	消防ポンプ自動車（更新）北消防署第二分署へ配置
平成30年 3月 5日	三観広域防災センター一部改修
平成30年 4月 1日	緊急消防援助隊 後方支援小隊1 隊登録
平成30年11月15日	消防ポンプ自動車（更新）南消防署第一分署へ配置
平成30年11月29日	査察車（更新）南消防署へ配置
平成30年12月 6日	高規格救急自動車（更新）北消防署第三分署へ配置
平成31年 3月19日	大規模災害時における消防用水等の確保に関する協定書締結 （香川県内9消防（局）本部、香川県生コンクリート協同組合連合会）
平成31年 4月 1日	〈職員定数190名〉
令和 元年 6月 4日	はしご付き消防自動車（15m級）オーバーホール実施
令和 元年 7月 1日	119番通報等多言語電話通訳 運用開始
令和 元年 9月13日	査察車（更新）消防本部へ配置
令和 元年 9月30日	三観広域防災センター一部改修
令和 3年 1月20日	南消防署第一分署非常用発電設備設置
令和 3年 1月20日	北消防署第二分署非常用発電設備設置
令和 3年 1月20日	高規格救急自動車（更新）南消防署へ配置
令和 3年 2月25日	北消防署第三分署非常用発電設備設置
令和 3年 2月25日	北消防署第三分署重機及び重機搬送車車庫新築工事竣工
令和 3年 2月26日	軽四搬送車（更新）北消防署第三分署へ配置
令和 3年 3月 5日	重機及び重機搬送車（国有財産等の無償使用として）消防本部へ配置
令和 3年 3月12日	救助工作車（更新）南消防署へ配置
令和 3年 3月18日	化学消防ポンプ自動車（更新）北消防署へ配置
令和 3年 7月 1日	Net119運用開始
令和 3年 9月17日	救急搬送用アイソレーター消防本部へ配置
令和 3年11月22日	無人航空機（三観ドローン）運用開始
令和 3年12月28日	高機能消防指令センター部分更新完了
令和 4年 2月 7日	災害対応特殊救急自動車（更新）北消防署へ配置

令和 5 年 2 月 6 日	消防ポンプ自動車（更新）北消防署へ配置
令和 5 年 2 月 2 1 日	災害対応特殊救急自動車（更新）南消防署第一分署へ配置

---

---

# 総務

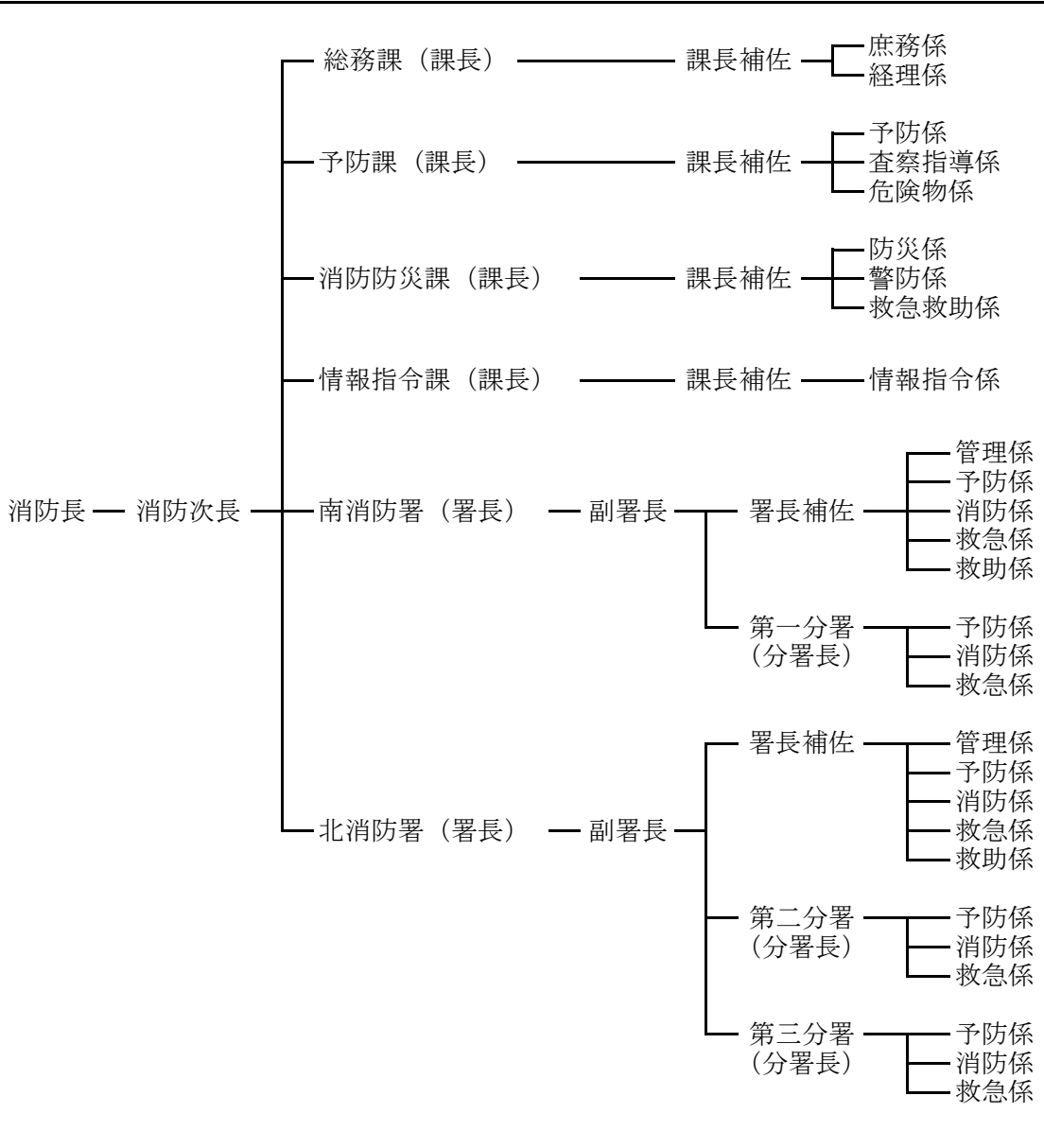
---

---

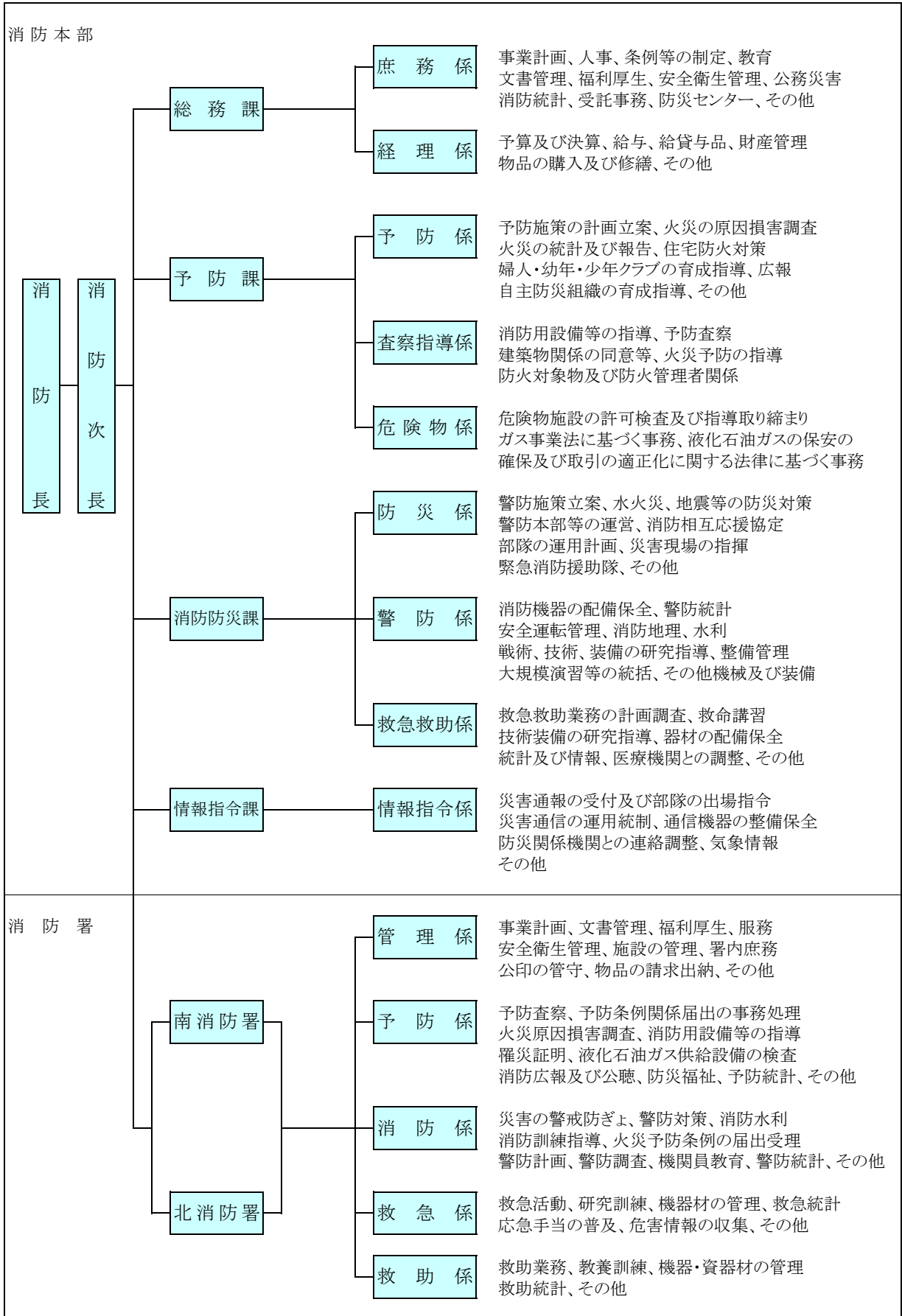


■ 消防本部組織図

令和5年4月1日 現在

消防本部名	三観広域行政組合消防本部		
消防本部所在地	〒768-0067 香川県観音寺市坂本町一丁目1番7号		
消防本部 署所・組織図			
消防職員定員数	190人	消防職員実員数	178名
電話番号	0875-24-0119 (代表) 0875-23-3970 (総務課) 0875-23-3972 (予防課) 0875-23-3973 (消防防災課) 0875-24-0119 (情報指令課) 0875-24-2119 (南消防署) 0875-52-2119 (南署第一分署) 0875-72-2119 (北消防署) 0875-63-2119 (北署第二分署) 0875-83-2119 (北署第三分署)	FAX番号 0875-23-3975 (代表) (情報指令課) 0875-23-3971 (総務課・予防課・消防防災課) 0875-24-2109 (南消防署) 0875-56-3371 (南署第一分署) 0875-56-2780 (北消防署) 0875-56-7319 (北署第二分署) 0875-56-5302 (北署第三分署)	

# ■事務分掌



■ 三観広域行政組合消防機関の名称、位置等

名 称	位 置	敷地面積(m <sup>2</sup> )	構 造	延面積(m <sup>2</sup> )	建築年月
三観広域行政組合消防本部	観音寺市坂本町 一丁目1番7号	市有地使用  3,159.48	鉄骨造 (制振構造) 一部免震床構造	3F消防本部 2F情報指令課 1F南消防署	H28年 3月
三観広域行政組合南消防署			3階建 (一部中2階)	3,021.77	
救助訓練施設 (訓練塔)			鉄筋コンクリート 5階建	155.67	
三観広域行政組合南消防署 第一分署	観音寺市大野原町 大野原4929番地1	1,200.71	鉄筋 コンクリート 平屋建	397.86	S48年 3月 (増築) S62年 3月 (耐震改修) H23年10月
三観広域行政組合北消防署	三豊市高瀬町 下勝間2344番地1	市有地使用  3,335.39	鉄骨造 (制振構造)	1752.91	H28年 3月
救助訓練施設 (訓練塔A・B・C)			2階建	409.78	
三観広域行政組合北消防署 第二分署	三豊市山本町 財田西1051番地1	1,103.80	鉄筋 コンクリート 平屋建	319.00	S48年 3月 (増築) S60年10月 (耐震改修) H23年10月
三観広域行政組合北消防署 第三分署	三豊市詫間町 詫間7042番地27	3,765.07	鉄筋コンクリート 平屋建	628.48	H元年 8月 (一部改修) H28年10月 R2年 8月
重機及び重機搬送車庫			鉄骨造平屋建	96.00	R3年 2月
三観広域防災センター	観音寺市坂本町 一丁目1番7号	市有地使用  534.60	鉄筋 コンクリート 2階建	806.53	H元年 3月



■三観広域管内面積・人口状況

令和5年4月1日 現在

市町別	面積(k㎡)	人口			世帯数
		男	女	計	
観音寺市	117.83	27,687	29,754	57,441	25,534
三豊市	222.70	29,926	32,054	61,980	26,274
計	340.53	57,613	61,808	119,421	51,808

■消防力の現状

令和5年4月1日 現在

区分 署所	消防 吏員	面 積 (k㎡)	人 口 (人)	ポン プ 車 等	救 急 自 動 車	吏 員	ポンプ車	救 急 車
						一人あたり	一台あたり	一台あたり
						面積(k㎡)	面積(k㎡)	面積(k㎡)
						人口(人)	人口(人)	人口(人)
管内全域	178	340.53	119,421	10	8	1.91	34.05	42.57
						671	11,942	14,928
消防本部	36	—	—	0	1	—	—	—
						—	—	—
南消防署	62	117.83	57,441	5	3	1.90	23.57	39.28
						926	11,488	19,147
北消防署	80	222.70	61,980	5	4	2.78	44.54	55.68
						775	12,396	15,495

■消防力の整備指針と現勢

令和5年4月1日 現在

区 分		消防力の整備指針	現有消防力	
施 設	消 防 署 所 数	5	5	
	消 防 車 等	消防ポンプ自動車	9	10
		はしご自動車	2	2
		化学消防車	1	1
		救急自動車	7	8
		救助工作車	2	2
		指揮車	2	3
		合 計	28	31

消防職員の現況

■消防職員の現員及び配置状況

令和5年4月1日 現在

階級		合計	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	
課署別	合計									
合計		178	1	8	20	32	62	24	31	
消防本部	消防長	1	1							
	消防次長	1		1						
	総務課	小計	10		1	2	3		1	3
		課長	1		1					
		課長補佐	2			2				
		庶務係	2				1		1	
		経理係	1				1			
	出向・入校中	4				1			3	
	予防課	小計	5		1	1	2	1		
		課長	1		1					
		課長補佐	1			1				
		予防係					課長補佐兼務			
		査察指導係	2				1	1		
	危険物係	1				1				
	消防防災課	小計	6			2	3			1
		課長			消防次長兼務					
		課長補佐	2			2				
		防災係				課長補佐兼務				
		警防係	3				2			1
	救急救助係	1				1				
情報指令課	小計	13		1	4	2	5	1		
	課長	1		1						
	課長補佐	4			4					
	情報指令係	8				2	5	1		
南消防署	小計	62		2	5	10	23	9	13	
	計	44		2	4	7	15	6	10	
	本署	署長	1		1					
		副署長	1		1					
		署長補佐	4			4				
		管理係	1				1			
		予防係	2				1			1
		消防係	17				2	6	4	5
		救急救助係	8				1	5		2
	救助係	10				2	4	2	2	
	計	18			1	3	8	3	3	
	第一分署	分署長	1			1				
		予防係	1				1			
		消防係	12				1	5	3	3
救急救助係	4				1	3				
北消防署	小計	80		2	6	12	33	13	14	
	計	44		2	4	6	16	8	8	
	本署	署長	1		1					
		副署長	1		1					
		署長補佐	4			4				
		管理係	1				1			
		予防係	1					1		
		消防係	16				2	6	3	5
		救急救助係	10				2	4	1	3
	救助係	10				1	5	4		
	計	18			1	3	9	2	3	
	第一分署	分署長	1			1				
		予防係	1				1			
		消防係	12				1	6	2	3
救急救助係	4				1	3				
第三分署	計	18			1	3	8	3	3	
	分署長	1			1					
	予防係	1				1				
消防係	12				1	5	3	3		
救急救助係	4				1	3				

■消防職員の年齢

令和5年4月1日 現在

階級 年齢	消防監	消防 司令長	消防 司令	消防 司令補	消防 士長	消防 副士長	消防士	計
合計	1	8	20	32	62	24	31	178
18才～20才							5	5
21才～25才							21	21
26才～30才					2	24	5	31
31才～35才					33			33
36才～40才				2	25			27
41才～45才				17	1			18
46才～50才		1	11	10				22
51才～55才		1	5	1				7
56才～60才	1	6	4	1				12
再任用(61才～)				1	1			2
平均年齢	59.0	57.1	51.6	45.2	35.3	27.8	23.0	36.9

■消防職員勤続年数(消防歴)

令和5年4月1日 現在

階級 年齢	消防監	消防 司令長	消防 司令	消防 司令補	消防 士長	消防 副士長	消防士	計
合計	1	8	20	32	62	24	31	178
1年未満							3	3
1年～5年							25	25
6年～10年					11	20	3	34
11年～15年					30	4		34
16年～20年				15	20			35
21年～25年			2	7				9
26年～30年		1	7	8				16
31年～35年		1	5					6
36年～40年	1	2	6	2	1			12
41年以上		4						4
平均勤続年数	36.0	36.9	31.6	23.5	14.4	8.9	2.7	16.3

1 職員特殊技能資格一覧

令和5年4月1日現在

資格別		氏名 計	消	消	消	消	消	消	消
			防	防	防	防	防	防	防
			監	司	司	司	司	士	士
				令	令	令	令	長	長
				長	補	長	長		
大型自動車	特 殊	5	0	1	0	1	3	0	0
	第1種	143	0	6	15	30	61	24	7
中型自動車		3	0	0	0	0	0	0	3
準中型自動車		28	0	0	0	1	0	2	25
普通自動車（8 t 限定）		106	1	8	20	32	44	1	0
自動二輪	大型	13	0	1	3	3	2	1	3
	普通	62	1	6	10	15	21	7	2
牽引免許		1	0	0	0	0	1	0	0
小型移動式クレーン		91	1	7	13	21	44	5	0
玉掛け技能		90	1	6	12	20	45	5	1
巻上げ機		61	0	1	0	8	44	7	1
伐木等（チェーンソー）		78	0	0	5	11	31	16	15
フルハーネス		90	0	1	8	19	35	13	14
潜水士		65	1	3	10	20	24	6	1
潜水技術研修		7	0	1	3	1	2	0	0
小型船舶操縦士		52	1	4	8	12	23	3	1
予防技術資格者	防火査察	82	0	3	6	12	42	14	5
	消防用設備等	38	0	3	3	13	14	4	1
	危険物	28	0	1	2	8	13	4	0
危険物取扱者	甲	1	0	0	1	0	0	0	0
	乙	98	0	0	1	20	46	9	22
消防設備士	甲	4	0	0	0	3	1	0	0
	乙	8	0	0	0	5	3	0	0
応急手当指導員		150	1	7	18	32	61	17	14
救急救命士		55	1	3	10	16	20	0	5
認定救命士	気管挿管	35	1	2	8	15	8	0	1
	薬剤投与	45	1	0	9	16	16	0	3
	心肺停止前静脈路確保 血糖測定・ブドウ糖投与	41	0	0	7	15	16	0	3
指導救命士		6	0	0	5	1	0	0	0
電気工事士		11	0	0	1	5	2	2	1
アセチレンガス溶接士		15	0	1	3	6	2	2	1
酸素欠乏危険作業主任者		115	0	5	11	28	55	15	1
特定化学物質等作業主任者		1	0	0	1	0	0	0	0
陸上特殊無線技士		43	0	5	9	11	11	0	7
アマチュア無線技士		10	1	2	1	3	2	1	0
衛生管理者		6	0	0	1	3	1	0	1
防災士		4	0	1	1	0	1	0	1
防災ヘリコプター地上支援隊員		58	0	5	12	22	19	0	0
県照明車操作員		77	1	6	13	30	26	1	0
地震体験車操作員		146	1	6	20	32	60	23	4
車両系建設機械		23	0	0	1	1	18	3	0
ドローン操作員		15	0	0	3	8	1	3	0

## 消防決算等状況

### ■過去5年間組合会計決算と消防関係費の割合

(単位千円)

年度別	区 別	一般会計決算額	消防関係費決算額	割 合
平成30年度		2,072,486	1,736,149	83.77%
令和元年度		2,044,803	1,731,901	84.70%
令和2年度		2,461,571	2,142,791	87.05%
令和3年度		2,451,770	2,111,962	86.14%
令和4年度		2,216,040	1,923,599	86.80%

### ■令和4年度 消防関係費性質別決算見込内訳

(単位千円)

区 分	決 算 額	割 合
人 件 費	1,359,335	70.67%
物 件 費	126,663	6.59%
維 持 補 修 費	0	0.00%
扶 助 費	21,430	1.11%
補 助 費 等	17,750	0.92%
普 通 建 設 事 業 費	74,228	3.86%
公 債 費	324,193	16.85%
合 計	1,923,599	100.00%

### ■令和4年度の構成市の消防費基準財政需要額と組合消防に対する負担金

(単位千円)

市別	区 別	基準財政需要額	消防関係市負担金
観 音 寺 市		865,962	795,510
三 豊 市		1,151,649	1,049,485
合 計		2,017,611	1,844,995

## ■三観広域防災センター

### 【概要】

平成元年4月に開設された三観広域防災センターは、住民の皆様方に防災に関する知識や技術を高め、その行動を楽しみながら体験学習をして頂くことを目的として開設しました。

1階の防災展示体験室には、種々な体験資材を揃え楽しんで学習ができる施設を備えてあり、2階の防災研修会議室は、消防防災に関する会議等に利用して頂いております。

今後も、多くの地域住民の方々に防災意識を高めて頂くよう、利用の促進に努めていきたいと考えております。

### 開館時間

午前9時～午後5時まで

### 休館日

月曜日

(月曜日が国民の休日にあたるときは、その翌日)

年末年始(12月29日～1月3日)

※臨時に開館又は閉館することがあります。

### 場 所

〒768-0067 観音寺市坂本町一丁目1番7号

### 電 話

TEL(0875)24-0119(内線410)

入館無料です



※団体でのご来館あるいは研修ご希望の方は、最寄りの消防署・分署を通じて、あらかじめ人数、研修内容等をご連絡下さい。

## ■令和4年度 防災センター等利用状況

		保育園	小中学校	自主防災	消防関係	行政団体	他都市	一般団体	個人	2階研修	合計
		幼稚園	高等学校	組 織	団 体		視 察			会議室	
4月	件数							2	1	6	9
	人員							11	3	38	52
5月	件数									2	2
	人員									13	13
6月	件数								1	10	11
	人員								2	215	217
7月	件数									5	5
	人員									47	47
8月	件数							1	1	20	22
	人員							3	3	151	157
9月	件数								1	19	20
	人員								3	152	155
10月	件数				1			2	1	7	11
	人員				2			20	4	70	96
11月	件数	1						1		12	14
	人員	2						4		124	130
12月	件数	1						2		7	10
	人員	2						8		154	164
1月	件数								2	6	8
	人員								4	87	91
2月	件数								2	8	10
	人員								4	90	94
3月	件数		1					2		4	7
	人員		4					15		35	54
合計	件数	2	1	0	1	0	0	10	9	106	129
	人員	4	4	0	2	0	0	61	23	1,176	1,270

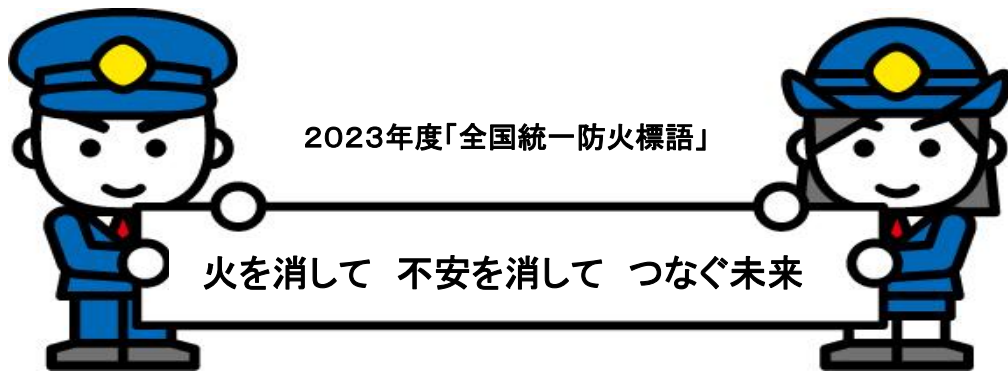
---

---

# 予 防

---

---







■防火対象物状況

令和4年12月31日現在

署所別 市別 対象物別			南消防署管内			北消防署管内						合 計	防 火 選 任 を 必 要 と す る 防 火 対 象 物 の 数	
			本署	第一分署		本署		第二分署	第三分署					
			観音寺市			三豊市								
			観音寺	大野原	豊浜	高瀬	三野	豊中	山本	財田	詫間			仁尾
1	イ	劇場 映画館 公会堂 集会所	4			1						5	4	
	ロ		25	10	6	12	7	9	7	2	11	2	91	79
2	イ	キャバレー ナイトクラブ												
	ロ	遊技場 ダンスホール	5		1	1	2	1			1		11	8
	ハ	性風俗関連 店舗等												
3	イ	カラオケボックス 個室ビデオ等	2										2	2
	ロ	待料合店 飲食店								1			1	1
4		百貨店 店舗	119	13	17	33	8	13	8	1	14	5	231	123
5	イ	旅館 ホテル	25	1	5	3		2		1	4	1	42	20
	ロ	寄宿舎 共同住宅	86	11	28	35	14	12	7	2	26	4	225	46
6	イ	診療所	27	6	1	16	3	9	4		9	2	77	39
	ロ	特養ホーム グループホーム	16	4	6	8	6	5	2	1	5	5	58	52
	ハ	デイサービス 保育所	37	6	2	12	10	5	8	1	10	1	92	58
	ニ	幼稚園	6		3	6	3	1	1	1	3	2	26	16
7		小学校等	36	6	5	31	9	22	8	3	28	7	155	49
8		図書館	3	1	2		1	1	1	1	6		16	13
9	イ	蒸気浴場												
	ロ	熱気浴場 衣に掲げる以外の 公衆浴場								1		1	2	
10		車両の停車場 発着場		2									2	2
11		神社 寺院	27	3	7	3	7	1	3	8	1	2	62	15
12	イ	工場 作業場	259	99	70	93	55	101	55	27	138	47	944	87
	ロ	スタジオ												
13	イ	自動車庫 格納庫	22	5	4	4	3	5	2				45	
	ロ	航空機の 格納庫												
14		倉庫	203	66	42	46	52	55	32	25	93	35	649	13
15		前各号に該当し ない事業所	162	33	22	54	23	16	21	20	43	23	417	83
16	イ	複合用途 (特定)	115	10	8	15	3	8	7	5	24	7	202	86
	ロ	複合用途 (非特定)	37	5	2	3		5	8	1	9	3	73	27
16の2		地下街												
16の3		準地下街												
17		重要文化財	1					2				2	5	
18		延長50m以上の アーケード												
19		市町村長の 指定する山林												
20		総務省令で 定める舟車												
計			1,273	288	236	384	208	280	177	104	432	152	3,534	895



# ■防火対象物定期点検該当数及び報告状況

令和4年12月31日現在

署 市 別		区分	合計	1項		2項				3項		4項	5項		6項			9項	16項	16項		
				イ	ロ	イ	ロ	ハ	ニ	イ	ロ		イ	イ	イ	ロ	ハ	ニ	イ	イ	の2	
南消防署管内	本署	観音寺	要対象物数	33	2	2		3					18	3	1		1			3		
			うち特例認定	15	2	1		3						8							1	
			点検報告数	26		1		1						16	3	1		1			3	
	一分署	観音寺市	大野原	要対象物数	9		2						2		2		1				2	
				うち特例認定	4									1		1						2
				点検報告数	6		1							2		2						1
		豊浜	豊浜	要対象物数	8		2		1					3		1	1					
				うち特例認定	4		2									1	1					
				点検報告数	4		1		1					1			1					
	北消防署管内	本署	高瀬	要対象物数	10	1								7		1					1	
うち特例認定				4										3							1	
点検報告数				4										3							1	
三野			三野	要対象物数	4		1						1									2
				うち特例認定	2								1									1
				点検報告数																		
豊中			豊中	要対象物数	9		2							5						1		1
				うち特例認定	7		1							4					1			1
				点検報告数	3									3								
二分署		山本	山本	要対象物数	3								1		1							1
				うち特例認定	2											1						1
				点検報告数	2											1						1
		財田	財田	要対象物数																		
				うち特例認定																		
				点検報告数																		
三分署		詫間	詫間	要対象物数	7		1		1				2		1							2
				うち特例認定	4		1							1								2
				点検報告数	2				1					1								
		仁尾	仁尾	要対象物数	1																	1
				うち特例認定	1																	1
				点検報告数	1																	1
合計	合計	要対象物数	84	3	10		5				1	38	3	7	1	2	1			13		
		うち特例認定	43	2	5		3				1	17		3	1		1			10		
		点検報告数	48		3		3					26	3	4	1	1				7		

# 建築同意

## ■用途別・市別建築同意事務処理状況

令和4年1月1日～令和4年12月31日

対象物別		署所別 市別	南消防署管内			北消防署管内						合 計	
			本署	第一分署		本 署			第二分署		第三分署		
			観音寺市			三 豊 市							
			観 音 寺	大 野 原	豊 浜	高 瀬	三 野	豊 中	山 本	財 田	詫 間		仁 尾
1	イ	劇場 画館											
	ロ	映画 公会堂 集 会 場											
2	イ	キャバレー ナイトクラブ											
	ロ	遊 技 場 ダンスホール											
	ハ	性風俗関連 店 舗 等											
3	イ	カラオケボックス 個室ビデオ等											
	ロ	待 料 理 合 店 飲 食 店				1						1	
4		百 貨 店 舗 店 舗 館	1				1					2	
5	イ	旅 館 ホ テ ル	1									1	
	ロ	寄 宿 舎 共 同 住 宅					1			2		3	
6	イ	病 診 療 所				1				1		2	
	ロ	特養ホーム グループホーム	1			1						2	
	ハ	デイサービス 保育所	3		1							4	
	ニ	幼稚園											
7		小 学 校 等 中 学 校 等			3			1				4	
8		図 書 館 博 物 館											
9	イ	蒸 気 浴 場 熱 気 浴 場											
	ロ	イに掲げる以外の 公衆浴場											
10		車両の停車場発 着場											
11		神 社 院 寺 場					1					1	
12	イ	工 作 場 業 場	6	2	4	2		2		4		20	
	ロ	スタジオ											
13	イ	自動車車庫 格 納 庫			1						1	2	
	ロ	航空機の 格 納 庫											
14		倉 庫	5		5	5	5	6			2	28	
15		前各号に該当し ない事業所	15	1	7	3	1	8		4	4	43	
16	イ	複 合 用 途 (特 定)	1			1	1				1	4	
	ロ	複 合 用 途 (非 特 定)											
16の2		地 下 街											
16の3		準 地 下 街											
18		アーケード											
併用住宅			1									1	
専用住宅			29		3	6	4	7			2	51	
許可・認定申請			3			1	1	1				6	
合 計			66	3	24	21	13	27			11	10	175

# 建築同意

## ■用途別・月別建築同意事務処理状況

令和4年1月1日～令和4年12月31日

対象物別		月別												合計		
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12			
1	イ	劇場														
	ロ	映画館														
2	イ	公会堂														
	ロ	キャバレー ナイトクラブ														
	ハ	遊技場 ダンスホール														
	ニ	性風俗関連 店舗等														
3	イ	カラオケボックス 個室ビデオ等														
	ロ	待料合店 理店														
4	イ	飲食店											1			1
	ロ	百貨店 店舗							1			1				2
5	イ	旅館		1												1
	ロ	寄宿舎 共同住宅			1				1		1					3
6	イ	病院 診療所		1									1			2
	ロ	特養ホーム グループホーム							1				1			2
	ハ	デイサービス 保育所				1						1	1	1		4
	ニ	幼稚園														
7		小学校 中学校等												4		4
8		図書館 博物館														
9	イ	蒸気浴場														
	ロ	熱気浴場 イに掲げる以外の 公衆浴場														
10		車両の停車場 着場														
11		神社 寺院										1				1
12	イ	工場 作業場	1	2		3	2	2	1	3		1	3	2		20
	ロ	スタジオ														
13	イ	自動車庫 格納庫								1			1			2
	ロ	航空機 格納庫														
14		倉庫		3	3	2		3	2	1	3	3	6	3		29
15		前各号に該当し ない事業所	3	2		5	5	3	3	5	3	4	6	4		43
16	イ	複合用途 (特定)			1			1	1							3
	ロ	複合用途 (非特定)														
16の2		地下街														
16の3		準地下街														
18		アーケード														
		併用住宅						1								1
		専用住宅	3	2	6	1	6	7	7	2	6	2	7	2		51
		許可・認定申請				2	2		1				1			6
		合計	7	11	11	14	16	17	17	12	14	12	28	16		175

# 予防事務処理状況

## ■消防用設備等着工届出状況

令和4年1月1日～令和4年12月31日

消防用設備	署所別	南消防署管内	北消防署管内	合 計
	市別	観音寺市	三 豊 市	
屋 内 消 火 栓 設 備		4	3	7
スプリンクラー設備		4		4
水 噴 霧 消 火 設 備				
泡 消 火 設 備				
不 活 性 ガ ス 消 火 設 備			2	2
ハロゲン化物消火設備				
粉 末 消 火 設 備				
移 動 式 消 火 設 備				
屋 外 消 火 栓 設 備		2	3	5
自 動 火 災 報 知 設 備		18	23	41
ガ ス 漏 れ 火 災 警 報 設 備				
火 災 通 報 装 置		1	3	4
非 常 放 送 設 備		3	3	6
避 難 器 具		2	1	3
連 結 送 水 管				
ドレンチャー設備				
パッケージ型消火設備			2	2
そ の 他				
合 計		34	40	74

## ■消防用設備等設置届出状況

令和4年1月1日～令和4年12月31日

消防用設備	署所別	南消防署管内	北消防署管内	合 計
	市別	観音寺市	三 豊 市	
消 火 器		23	26	49
屋 内 消 火 栓 設 備		2	3	5
スプリンクラー設備		4	3	7
水 噴 霧 消 火 設 備				
泡 消 火 設 備				
不 活 性 ガ ス 消 火 設 備				
ハロゲン化物消火設備				
粉 末 消 火 設 備				
移 動 式 消 火 設 備		1		1
屋 外 消 火 栓 設 備		4	6	10
動 力 ポ ン プ 設 備		1		1
自 動 火 災 報 知 設 備		35	36	71
ガ ス 漏 れ 火 災 警 報 設 備				
漏 電 火 災 警 報 器				
火 災 通 報 装 置		3	4	7
非 常 警 報 設 備		4	1	5
非 常 放 送 設 備		3	6	9
避 難 器 具		1	3	4
誘 導 灯		17	29	46
消 防 用 水				
排 煙 設 備				
連 結 散 水 設 備				
連 結 送 水 管			1	1
非 常 コ ン セ ン ト 設 備				
無 線 通 信 補 助 設 備				
総 合 操 作 盤			1	1
パッケージ型消火設備			2	2
パッケージ型自動消火設備				
合 計		98	121	219

# 火災予防条例等届出状況

## ■消防法・火災予防条例等届出状況

令和4年1月1日～令和4年12月31日

種 別		市 別		三 豊 市			合 計
		署々別		北消防署管内			
		本 署	第一分署	本 署	第二分署	第三分署	
消防法関係	防火管理者選任(解任)	64	11	51	9	25	160
	消 防 計 画	85	19	68	17	40	229
	消防訓練実施報告	248	96	170	64	73	651
	圧縮アセチレンガス等	11	2	8	2	4	27
	消防用設備等点検報告	321	135	238	80	125	899
火災予防条例関係	防火対象物使用開始届	26	8	39	11	25	109
	炉、かまど、ボイラー、乾燥設備	7	7	6		6	26
	発変蓄電池設備	7	9	12	3	8	39
	ネオン管灯設備						
	水素ガス充てん気球届						
	火災とまぎらわしい	70	68	195	61	88	482
	煙火打上仕掛届	3	2	8	5	2	20
	催物開催届	1				1	2
	水道断減水届	3	2	2			7
	道路工事等届	370	136	305	102	123	1,036
	露店等の開設	18	5	5	1	9	38
	少量・指定可燃物貯取届	9	3	4	3	10	29
	少量・指定可燃物廃止届	1	2	5		4	12
喫煙・裸火・危険物品	15	3	7	1	3	29	
合 計		1,259	508	1,123	359	546	3,795

## ■ 防火関係組織の現状

名 称	所 在 地	結成年月日	備 考
三 観 地 区 防 火 委 員 会	観音寺市坂本町一丁目1番7号	昭和58年 4月12日	
三 観 地 区 婦 人 防 火 ク ラ ブ 連 合 会	観音寺市坂本町一丁目1番7号	昭和55年 4月 1日	休止中

## ■ 消防クラブ等の設置状況

幼年消防クラブ(10クラブ) 936名 令和5年5月1日現在

名 称	所 在 地	結成年月日	クラブ員数		
			男	女	合計
大 見 幼 稚 園 幼 年 消 防 ク ラ ブ	三豊市三野町大見甲3478-1	昭和62年12月 1日	16	21	37
比 地 二 幼 稚 園 幼 年 消 防 ク ラ ブ	三豊市高瀬町比地65	昭和63年 6月 1日	11	26	37
仁 尾 こ ど も 園 幼 年 消 防 ク ラ ブ	三豊市仁尾町仁尾丁636-1	昭和64年 1月 5日	58	43	101
詫 間 保 育 所 幼 年 消 防 ク ラ ブ	三豊市詫間町詫間2024-2	平成11年 6月 1日	59	52	111
大 野 原 こ ど も 園 幼 年 消 防 ク ラ ブ	観音寺市大野原町大野原1675	平成12年 4月 1日			184
詫 間 幼 稚 園 幼 年 消 防 ク ラ ブ	三豊市詫間町詫間3500-5	平成13年 2月 1日	23	23	46
山 本 幼 稚 園 幼 年 消 防 ク ラ ブ	三豊市山本町大野423番地	令 和 2 年 5 月 1 日	47	63	110
観 音 寺 こ ど も 園 幼 年 消 防 ク ラ ブ	観音寺市観音寺町甲2558番地2	令 和 2 年 5 月 1 日	62	39	101
観 音 寺 中 央 幼 稚 園 幼 年 消 防 ク ラ ブ	観音寺市柞田町丙1566番地	令 和 2 年 5 月 1 日	62	69	131
豊 浜 幼 稚 園 幼 年 消 防 ク ラ ブ	観音寺市豊浜町和田浜1000番地	令 和 2 年 5 月 1 日	34	44	78

少年消防クラブ(1クラブ) 81名 令和5年5月1日現在

名 称	所 在 地	結成年月日	クラブ員数		
			男	女	合計
一ノ谷小学校少年消防クラブ	観音寺市古川町102-1	昭和26年10月 1日	47	34	81

婦人防火クラブ(1クラブ) 休止中(10名) 令和5年5月1日現在

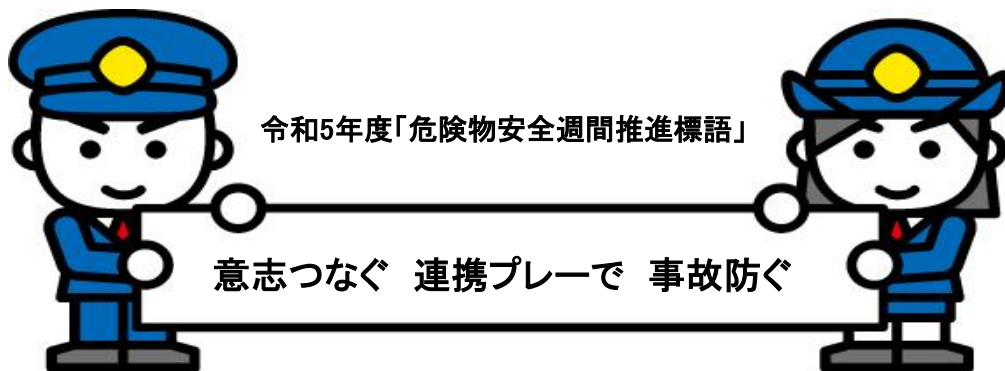
名 称	所 在 地	結成年月日	クラブ員数
山 本 町 長 野 婦 人 防 火 ク ラ ブ	三豊市山本町河内2058-1	昭和59年 6月 1日	休止中(10名)



---

# 危 険 物

---





■危険物施設の推移

令和5年3月31日現在

施設の区分		年度別											
		平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和 元 年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度
製 造 所		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
貯 蔵 所	屋 内 貯 蔵 所	77	78	78	78	76	78	71	78	78	78	77	77
	屋外タンク貯蔵所	100	100	92	90	92	95	95	96	96	93	89	88
	屋内タンク貯蔵所	13	13	12	13	13	11	10	10	9	11	11	11
	地下タンク貯蔵所	183	175	170	169	164	154	149	143	140	141	137	138
	簡易タンク貯蔵所	7	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8
	移動タンク貯蔵所	68	68	78	79	84	83	90	90	94	93	91	96
	屋 外 貯 蔵 所	9	9	10	9	10	10	10	10	10	11	11	9
小 計		457	451	448	446	447	439	433	435	435	435	424	427
取 扱 所	給 油 取 扱 所	132	123	124	125	122	119	115	114	113	112	110	109
	販 売 取 扱 所	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
	移 送 取 扱 所												
	一 般 取 扱 所	133	137	135	136	134	129	124	126	122	123	121	120
小 計		266	261	260	262	257	249	240	241	236	236	232	230
合 計		724	713	709	709	705	689	674	677	672	672	657	658

■危険物製造所等の設置状況

令和5年3月31日現在

種別		合計	貯蔵所										取扱所					事業所数		
			小計	屋内貯蔵所	屋外タンク貯蔵所	準特定	屋内タンク貯蔵所	地下タンク貯蔵所	簡易タンク貯蔵所	移動タンク貯蔵所	屋外貯蔵所	小計	給油取扱所	自家用セルフレ	販売取扱所	移送取扱所	一般取扱所			
署所別	市																			
南消防署管内	本署	観音寺	170	117	19	28		1	37	2	26	4	53	26	10	7			27	94
	一分署	観音寺市																		
		大野原	64	41	10	6		3	14		6	2	23	14	6	1			9	37
		豊浜	38	22	6	5			12				16	8	2	1			8	22
北消防署管内	本署	高瀬	83	1	57	10	8	2	20		17		25	13	8	3			12	40
		三野	23		10	1	1	3	5				13	10	6	1			3	21
		豊中	34		18	5	1		12				16	5	2	1			11	15
	二分署	三豊市																		
		山本	60	43	5	2			11		24	1	17	7	2	2			10	23
			財田	34	22	5	4	1	8	4			12	4	3				8	19
	三分署		詫間	124	82	14	27	6	1	14	2	22	2	42	17	7		1		24
		仁尾	27	14	2	6			5		1		13	5	1				8	19
合計			658	1	427	77	88	6	11	138	8	96	9	230	109	47	16	1	120	339

■屋外タンク貯蔵所容量別状況

令和5年3月31日現在

署所	種別		合計	1kℓ	1kℓ以上	5kℓ以上	10kℓ以上	50kℓ以上	100kℓ以上	200kℓ以上	300kℓ以上	400kℓ以上	500kℓ以上	
				未満	5Kℓ未満	10Kℓ未満	50Kℓ未満	100Kℓ未満	200Kℓ未満	300Kℓ未満	400Kℓ未満	500Kℓ未満	以上	
南消防署管内	本署	観音寺	28		2	1	10	4	5	1	3	2		
		一分署	大野原	6			6							
			豊浜	5			5							
北消防署管内	本署	高瀬	8			1	3		4					
		二分署	三野	1		1								
			豊中	1		1								
	山本		2			1	1							
	財田		4				3	1						
	三分署	詫間	27				13	6			2		6	
		仁尾	6			3	3							
合計			88		4	6	44	11	9	1	5	2	6	

■危険物関係事務処理状況

令和4年4月1日～令和5年3月31日

種別	区分	合計	製造所	貯蔵所						取扱所				その他	
				屋内貯蔵所	屋外タンク貯蔵所	屋内タンク貯蔵所	地下タンク貯蔵所	簡易タンク貯蔵所	移動タンク貯蔵所	屋外貯蔵所	給油取扱所	販売取扱所	移送取扱所		一般取扱所
設置許可		4		1					3						
変更許可		19		1			1		5		11			1	
設置完成検査		7		2			1		3					1	
変更完成検査		19		1			2		6		9			1	
タンク水圧検査															
タンク水張検査		66													66
仮使用承認		10					1				9				
仮貯蔵・仮取扱承認		5													5
予防規定認可		11									11				
用途廃止届出		15		2	1		2		5	2	1			2	
許可取消届出															
休止・再開届出		9					6				2			1	
設置者・名称等変更届出		20		3		2	5		1		6			3	
種類・数量変更届出		3		3											
譲渡引渡届出		5					1		4						
保安監督者選解任届出		47		8	8	2	9				8			12	
軽微な工事変更届出		58			4		1		1		46			6	
合計		298		21	13	4	29		28	2	103			27	71

液化石油ガス設備工事届	8件
液化石油ガス意見書の交付	0件

■危険物関係手数料徴収状況

令和4年4月1日～令和5年3月31日(単位:円)

区分 月別	設置許可	変更許可	設置完成検査	変更完成検査	水圧検査	水張検査	仮貯蔵仮取扱	仮使用承認	合計
4月		65,000	13,000	52,000		72,000		16,200	218,200
5月		26,000				18,000		5,400	49,400
6月	72,000	13,000	26,000	13,000					124,000
7月				6,500		12,000			18,500
8月		26,000	39,000			6,000		5,400	76,400
9月	26,000	52,000	10,000	39,000		12,000			139,000
10月		39,000	13,000	6,500		198,000		5,400	261,900
11月		65,000		32,500		12,000		10,800	120,300
12月		19,500		13,000			5,400		37,900
1月		78,000		22,750		6,000	10,800	10,800	128,350
2月						6,000			6,000
3月		13,000		6,500		54,000	10,800		84,300
計	98,000	396,500	101,000	191,750	0	396,000	27,000	54,000	1,264,250

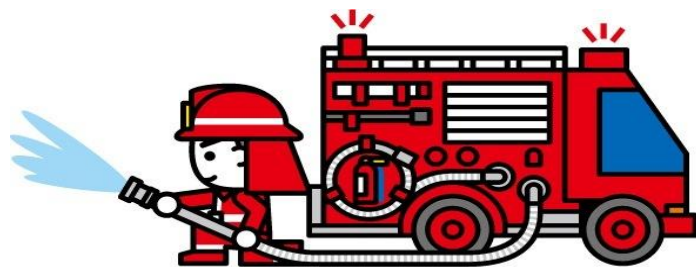




---

# 警 防

---





# 消防機器の現況

## ■署所別車両配置状況

令和5年4月1日現在

署所別 車 別		合 計	本 部	南消防署		北消防署		
				本 署	第 一 分 署	本 署	第 二 分 署	第 三 分 署
合 計		43	8	10	5	11	4	5
ポンプ車	C D - I 型	7		2	1	2	1	1
	水槽付消防ポンプ自動車	2		1				1
	小型動力ポンプ付水槽車	1			1			
化学車	II 型 化学車	1				1		
梯子車	30m級はしご付消防自動車 (先端屈折型)	1		1				
	15m級はしご付消防自動車	1				1		
高 規 格 救 急 車		8	1	2	1	2	1	1
救 助 工 作 車		2		1		1		
人員資機材搬送車(マイクロ)		1	1					
指 揮 車		3	1	1		1		
査 察 車 ・ 広 報 車		9	4	1	1	1	1	1
重機及び重機搬送車		1	1					
クレーン付搬送車		1		1				
搬 送 車		1				1		
軽四輪搬送車(4WD)		3			1		1	1
小 型 自 動 二 輪 車		1				1		

■車両・ポンプ種別

令和5年4月1日現在

所属・呼称	区分	車両番号	種別	車体	年式	製作所	ポンプ		備考	
							型式	級別		
本部	消1号車	香川 88 さ 7719	指揮車	ニッサン	21					
	消2号車	香川 300 む 2470	査察車	ニッサン	29					
	消3号車	香川 581 え 4192	査察車	ニッサン	R元					
	消4号車	香川 587 け 4	査察車	ミツビシ	27					
	消5号車	香川 801 せ 5	広報車	ニッサン	27				35w広報設備	
	消6号車	香川 230 さ 6	人員資機材搬送車	ヒノ	20				マイクロバス(25人乗り)	
	消7号車	香川 800 は 1121	重機及び重機搬送車	ヒノ	R3				5t重機・クレーン3段ブーム2.9t吊り	
	救急4号車	香川 800 す 201	救急車	ニッサン	27				高規格	
	小型動力ポンプ				10	ラビット	P-381S	C-1	予備本部保管	
南消防署	南11号車	香川 831 す 11	指揮車	トヨタ	28				100w広報設備	
	南12号車	香川 830 つ 13	消防ポンプ自動車	ヒノ	20	モリタ	ME-5A	A-2	CD-I	
	南13号車	香川 830 す 19	消防ポンプ自動車	トヨタ	22	ニッキ	R3	A-2	CD-I・カーナビ	
	南14号車	香川 830 て 12	水槽付ポンプ自動車	ヒノ	26	モリタ	MZ-1	A-2	水槽1-A型(キャブ付)	
	南15号車	香川 800 は 1123	救助工作車II型	ヒノ	R3	テイセン			照明・ウインチ・クレーン	
	南16号車	香川 830 そ 16	梯子付消防自動車	ヒノ	28	モリタ			30m級先端屈折	
	南17号車	香川 830 ん 17	クレーン付き搬送車	ミツビシ	29				クレーン3段ブーム2t吊り・パワーゲート	
	南18号車	香川 883 あ 18	広報車	ニッサン	30					
	救急1号車	香川 830 つ 991	救急車	トヨタ	R2				高規格	
	救急2号車	香川 830 そ 991	救急車	ニッサン	28				高規格	
	小型動力ポンプ				20	ラビット	P-380S	C-1	親子式(12号車積載)	
	小型動力ポンプ				22	トーハツ	VF21A	C-1	親子式(13号車積載)	
	第一分署	南32号車	香川 830 ち 32	消防ポンプ自動車	ヒノ	30	モリタ	MZ-1	A-2	CD-I (キャブ付)
		南34号車	香 830 さ 35	小型動力ポンプ付水槽車	ヒノ	19	ラビット	P555	B-2	水槽(10t)
南37号車		香川 883 あ 32	軽四輪搬送車4WD	ミツビシ	18					
南38号車		香川 883 あ 33	広報車	ミツビシ	26					
救急3号車		香川 800 す 3335	救急車	トヨタ	R5				高規格	
小型動力ポンプ					30	シバウラ	FT-300	C-1	親子式(32号車積載)	
北消防署		北51号車	香川 800 ち 51	指揮車	トヨタ	29				100w広報設備
	北52号車	香川 800 せ 3328	消防ポンプ自動車	ヒノ	R5	モリタ	ME-5	A-2	CD-I	
	北53号車	香川 830 せ 52	消防ポンプ自動車	ヒノ	23	モリタ	ME-5	A-2	CD-I	
	北54号車	香川 800 は 1125	化学車	ヒノ	R3	モリタ	MZI	A-2	化学II型	
	北55号車	香川 830 す 55	救助工作車II型	ヒノ	25	モリタ			照明・ウインチ・クレーン	
	北56号車	香川 830 な 119	梯子付消防自動車	ヒノ	16	モリタ			15m級	
	北57号車	香川 830 せ 17	搬送車	トヨタ	27					
	北58号車	香川 883 あ 58	広報車	ミツビシ	27				50w広報設備	
	救急5号車	香川 800 す 3099	救急車	ニッサン	R4				高規格	
	救急6号車	香川 830 せ 995	救急車	トヨタ	29				高規格	
	小型動力ポンプ				R5	シバウラ	C-505	C-1	親子式(52号車積載)	
	小型動力ポンプ				23	ラビット	P-383	C-1	親子式(53号車積載)	
	第一分署	北72号車	香川 830 た 72	消防ポンプ自動車	ヒノ	29	モリタ	MZ-1	A-2	CD-I (キャブ付)
		北77号車	香川 883 あ 42	軽四輪搬送車4WD	ミツビシ	18				
		北78号車	香川 883 あ 43	広報車	ミツビシ	26				
		救急7号車	香川 830 す 997	救急車	ニッサン	29				高規格
		小型動力ポンプ				29	シバウラ	FT-300	C-1	親子式(72号車積載)
第二分署		北82号車	香川 830 そ 82	消防ポンプ自動車	ヒノ	28	モリタ	MZ-1	A-2	CD-I (キャブ付)
		北84号車	香川 830 す 54	水槽付ポンプ自動車	ヒノ	20	モリタ	ME-5B	A-2	水槽II型 2,000ℓ
		北87号車	香川 883 あ 87	軽四輪搬送車4WD	スズキ	R3				
	北88号車	香川 880 え 88	広報車	ミツビシ	19				50w広報設備	
	救急8号車	香川 830 す 998	救急車	トヨタ	30				高規格	
	小型動力ポンプ				28	ラビット	P-383S	C-1	親子式(82号車積載)	
小型動力ポンプ				20	ラビット	P-382M	C-1	親子式(84号車積載)		

■消防特殊機器材配置状況

令和5年4月1日現在

配置署別		本 部	南消防署		北消防署			合 計
			本 署	第 一分 署	本 署	第 二分 署	第 三分 署	
用具別								
予防・ 保安用具	可燃性ガス測定器		1	1	1	1	1	5
	超音波厚さ測定器	1						1
	タンク検査工具セット	1	1	1	1	1	1	6
	電池式絶縁抵抗計	1	1	1	1	1	1	6
	プロジェクター一式		1		1			2
救助用資 機材	かぎ付きはしご		5	1	5	1		12
	三連はしご		5	1	5	2	3	16
	金属製折りたたみはしご		1		1		2	4
	救助マット		3	1	4	1	1	10
	救助幕(ソフトランディング)		1		1			2
	救命索発射銃 M-300型				1			1
	救命索発射装置(レスキューマックス)		1					1
	担架		3		1			4
	油圧式救助器具		2		1			3
	大型油圧スプレッダー	1	1		1			3
	可搬ウインチ		5		4	1	1	11
	マット型空気ジャッキ		1		1			2
	油圧切断機		1		1			2
	エンジンカッター		6	1	5	1	1	14
	ガス溶断機		1		1			2
	エアーツール		1		1			2
	削岩機		1		1			2
	ハンマードリル		2		1			3
	放射線測定器		4		1			5
	酸欠、爆発性、毒ガス警報器		7	2	4	2	2	17
	酸素呼吸器		5					5
	耐電手袋		21	7	22	7	7	64
	耐電衣		11		4			15
	耐電ズボン		11		4			15
	耐電長靴		13	2	6	2	2	25
	耐電ヘルメット				2			2
	空気のこ		1		1			2
	防毒衣一式		10		5			15
	放射線保護服		40		10			50
	潜水具一式		7	2	7	2	2	20
	救命胴衣		25	8	41	11	21	106
	ゴムボート(4人乗り)			1		1	1	3
ゴムボート(6人乗り)				1			1	
ゴムボート(8人乗り)		1					1	
船外機		1		1			2	

■消防特殊機器材配置状況

令和5年4月1日現在

用具別	配置署別	本 部	南消防署		北消防署			合 計
			本 署	第 一分 署	本 署	第 二分 署	第 三分 署	
救助用資機材	緩降機		2		2			4
	マンホール救助器具		1		1			2
	地中音響探知器一式		1					1
	熱画像直視装置一式		1		1			2
	夜間用暗視装置一式							
警防用資機材	東消式発泡器		1	1	1	1	1	5
	ピックアップ式泡ノズル200型			1	2		1	4
	発泡ノズル200型					1		1
	発泡ノズル400型							
	高発泡800型					1		1
	多管式ノズル1000型		1					1
	多管式ノズル500型		7	2		2		11
	水損防止用ノズル		3	2	2			7
	ジェットシューター		21	4	13	43	8	89
	排煙機		2		4			6
	ミニチェンソー		7	3	7	3	2	22
	発動発電機		11	3	8	4	7	33
	山林火災用動力噴霧器				1			1
	ラビットスーパーシューター					1		1
	草刈機(背負型・肩掛型)		1	1		1	1	4
	オイルフェンス		5	5			5	15
	耐熱服				3			3
トランジスターメガホン		12	3	10	7	4	36	
空気呼吸器		28	5	23	4	10	70	
救急用資機材	救急訓練用人形(大人)	1	3		3			7
	救急訓練用人形(小人)		2		2			4
	救急訓練用人形(乳幼児)		5		2			7
	救急訓練用人形(リトルアン)		8		8			16
	シミュレーション人形		1		1			2
	気道管理トレーナー	1			1		1	3
	ビデオ喉頭鏡訓練用頭部人形							
	静脈路確保訓練人形		1	1	1	1	1	5
	オゾン水生成機		1		1			2
	オゾンガス消毒器		1	1	1	1	1	5
その他	距離測定器		1		1			2
	エアークンプレッサー		1	1	1	1	1	5
	空気ボンベ充填機		1		1			2
	急速充電機		2	1	1	1	1	6
	工具セット		1	1	2	1	1	6
	電気溶接機		1		1			2
エアーテント一式	1			1			2	

■消防水利状況

令和5年4月1日現在

区分	署所別		南消防署管内			北消防署管内							
	市別	合計	本署	第一分署		本署			第二分署		第三分署		
			観音寺市			三豊市							
			観音寺	大野原	豊浜	高瀬	豊中	三野	山本	財田	詫間	仁尾	
合計	4,595	1,768	396	240	432	362	253	252	191	496	205		
消火栓	小計	3,340	1,537	259	175	260	294	159	121	85	339	111	
	配管別	75 mm	1,455	576	114	50	146	171	92	46	48	149	63
		100 mm	879	431	70	62	39	70	43	32	13	90	29
		125 mm	12	7				5					
		150 mm	604	298	59	34	41	38	17	27	18	60	12
		200 mm	252	140	12	23	16		6	16	6	26	7
		250 mm	89	41	3	6	18	10	1			10	
300mm以上	49	44	1							4			
防火水槽	小計	554	101	103	41	43	7	32	59	41	78	49	
	公設	40m³未満	173	12	44		12	2	13	44	9	33	4
		40m³以上	339	49	59	41	31	5	19	15	32	43	45
	私設	40m³未満	12	12									
40m³以上		30	28								2		
その他	小計	701	130	34	24	129	61	62	72	65	79	45	
	貯溜	プール	46	13	2	3	6	5	4	3	2	5	3
		池水	420	57	17	7	112	48	55	24	35	44	21
		溜枒	85	46	2	5	3	6	1	5	2	2	13
		井戸	21	4	2	4			1		1	9	
	流動	河川溝	81	8	6	3	8	2		29	19	5	1
		海水	16	2								13	1
		下水											
その他	32		5	2			1	11	6	1	6		

## ■消防隊活動状況(全署)

令和4年1月1日～令和4年12月31日

区分		件数等		
		出動件数	出動台数	出動人員
風水害等 出動状況	風水害	1	1	4
	特別警戒	13	18	54
	偵察	120	157	539
	遭難	0	0	0
	誤報・虚報	1	1	4
	警備	7	7	22
	訓練指導	54	88	222
	その他	1	1	4
合計		197	273	849
警防調査状況	地水利	321	335	742
	危険区域	17	17	41
	水防・山林	33	34	67
	特殊建築物	5	11	28
	予防査察	400	428	895
	その他	25	27	45
合計		801	852	1,818

## ■警防計画書策定状況

令和4年12月31日現在

署所別		市別		種別	
				警防計画書 危険区域	警防計画書 特殊建築物
南消防署管内	本署	観音寺市	観音寺	17	168
			大野原	111	27
	一分署		豊浜	90	31
北消防署管内	本署	三豊市	高瀬	72	120
			三野	33	33
			豊中	48	48
	二分署		山本	37	21
			財田	35	18
			三分署	詫間	52
		仁尾	25	11	
合計				520	509



---

---

# 情報指令

---

---







# 気 象 状 況

## ■月別気象状況

令和4年

区分 種別 月別	気温(℃)			湿度(%)			風速(m/s)		風向	雨量(mm)	
	最高	最低	平均	最低	平均	実効 (最低)	最高	平均	最多 風向	月合計	24H最高
1	13.0	-2.6	5.3	44.9	78.4	68.6	20.2	2.4	西北西	26.0	14.5
2	14.3	-2.2	4.9	20.8	74.6	66.9	21.1	2.7	西北西	29.0	19.0
3	22.3	0.1	10.9	27.4	77.8	68.1	18.2	1.8	西北西	71.0	26.5
4	27.5	2.7	15.5	14.1	75.9	65.6	18.8	1.6	西北西	62.0	18.5
5	28.9	8.2	19.3	12.2	74.5	66.2	11.0	1.6	西北西	36.5	16.5
6	35.2	15.1	24.0	34.7	80.7	68.5	13.5	1.7	西北西	49.5	20.5
7	35.7	22.2	28.2	46.3	82.3	75.7	16.9	1.6	西北西	94.5	27.0
8	36.3	21.1	29.5	36.1	79.1	73.4	13.2	1.6	東北東	52.0	18.0
9	35.6	15.7	25.7	45.8	83.6	76.4	21.9	2.3	東	136.5	41.0
10	30.8	7.5	18.5	38.8	80.7	76.1	16.4	1.9	東	37.5	12.0
11	23.0	6.8	14.9	44.1	84.7	76.6	12.4	1.7	東南東	53.5	14.5
12	14.9	0.3	7.5	47.2	76.4	71.0	26.4	2.8	西北西	30.5	11.5

※気温・湿度の最高・最低は毎月における極値を記載

※実効湿度は毎月における最低値を記載

## ■警報注意報等発令状況

令和4年

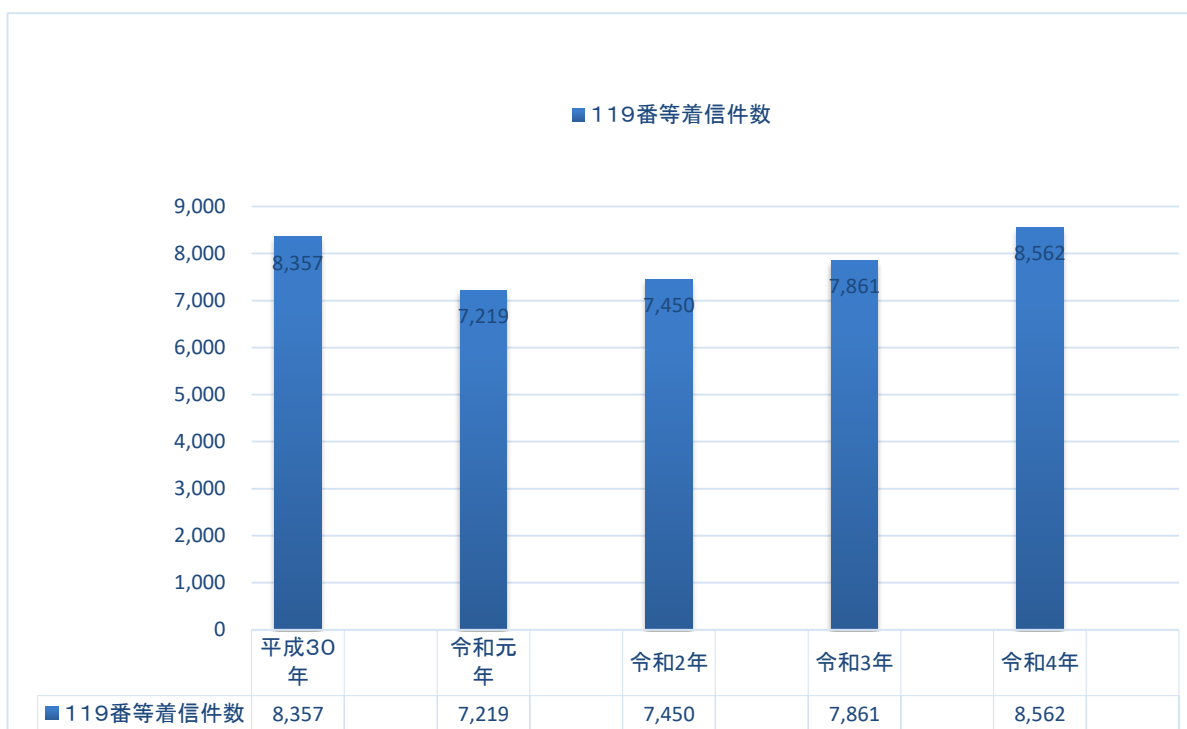
種別 月別	警 報							注 意 報													情報	
	大雪	暴風	波浪	大雨	洪水	高潮	小計	風雨	風雪	強風	波浪	高潮	大雨	洪水	大雪	雷	乾燥	濃霧	霜	低温	小計	各種
1										3	3				1	2	6	1			16	2
2									1	6	6	2			1	2	3				21	2
3										2	2				2	1	2	7			16	1
4										1	1				3	6	6	4			21	
5												2			4	8	1				15	
6												3			8	2	4				17	2
7					1		1			4	4	5	2	4		20					39	6
8					1		1					5	2	3		17					27	9
9		1	1	1	1	1	5			3	3	6	10	7		11					40	5
10										1	1					3					5	2
11																3					3	1
12									1	4	4				2	5	7				23	2
合計		1	1	1	3	1	7		2	24	24	23	14	14	4	80	33	14	11		243	32

## ■119番等受信状況

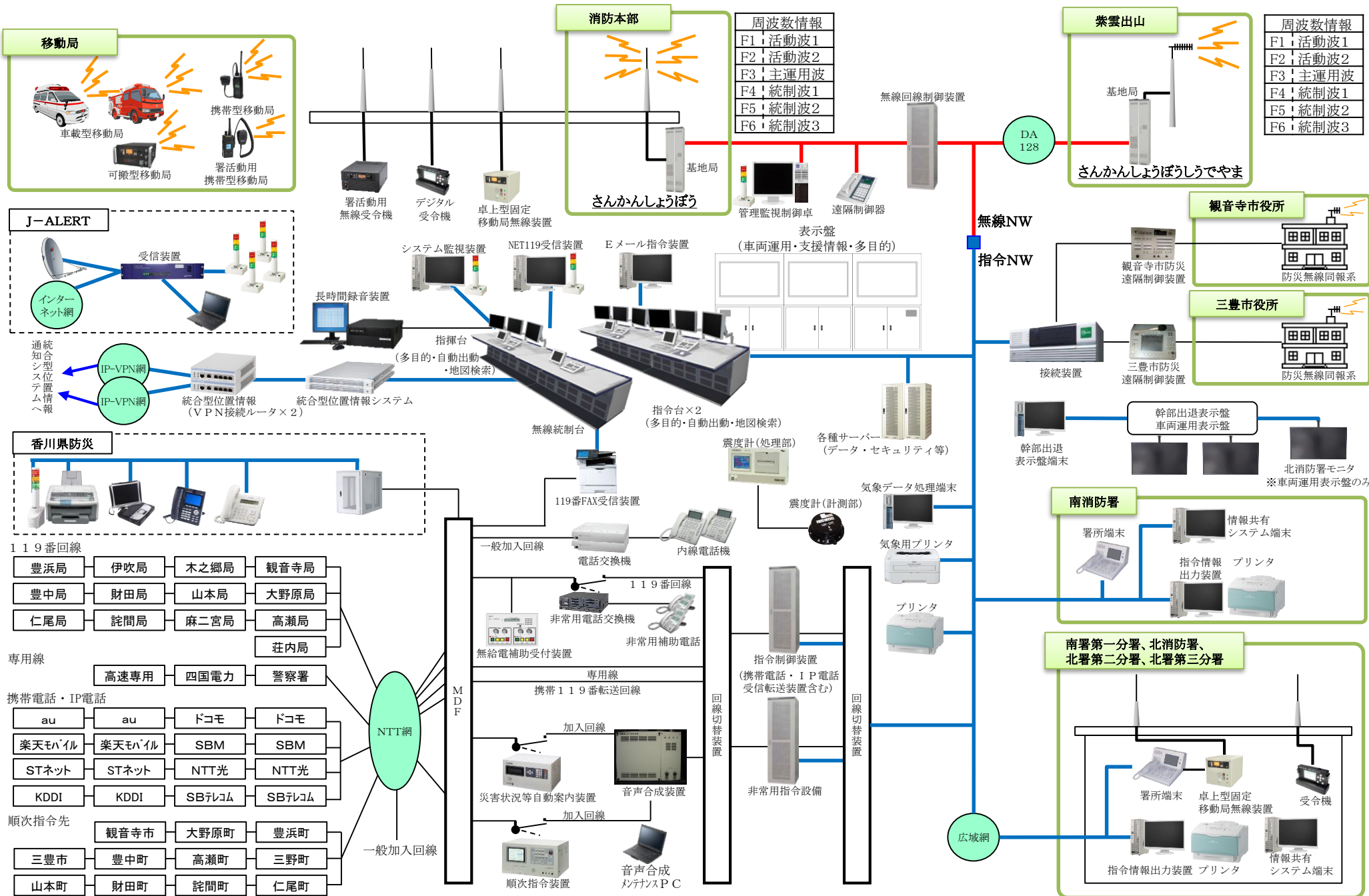
令和4年(単位/件)

		計	火災	救急	救助	その他災害	通報訓練	いたずら	問い合わせ	病院紹介	その他
119番 通報	固定電話	1,879	2	1,141	3	3	233	9	44	11	433
	IP電話	2,040	5	1,648	3	5	147	14	49	12	157
	携帯電話	4,082	45	2,823	26	29	39	22	201	59	838
加入電話		314	8	246	2	58					
駆け付け通報		37		36		1					
警察専用電話		151	2	116	16	17					
自己覚知		37		23	1	13					
高速専用電話		2		2							
その他		20		5	1	14					
合 計		8,562	62	6,040	52	140	419	45	294	82	1,428
災害案内		受付件数	33,849				あふれ件数		9,446		
							(話中)				

	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年
119番等着信件数	8,357	7,219	7,450	7,861	8,562
災害案内件数	38,008	27,037	27,789	50,247	43,295



# ■ 消防救急緊急システム・通信構成図



# 火災統計

2023年度全国統一防火標語

『火を消して 不安を消して つなぐ未来』



住宅用火災警報器を設置し、  
定期的に点検をしましょう。

古くなった警報器は、電池や電  
子部品の寿命等で火災を感知  
しなくなる可能性があります。  
10年を目安に交換することを推  
奨します。

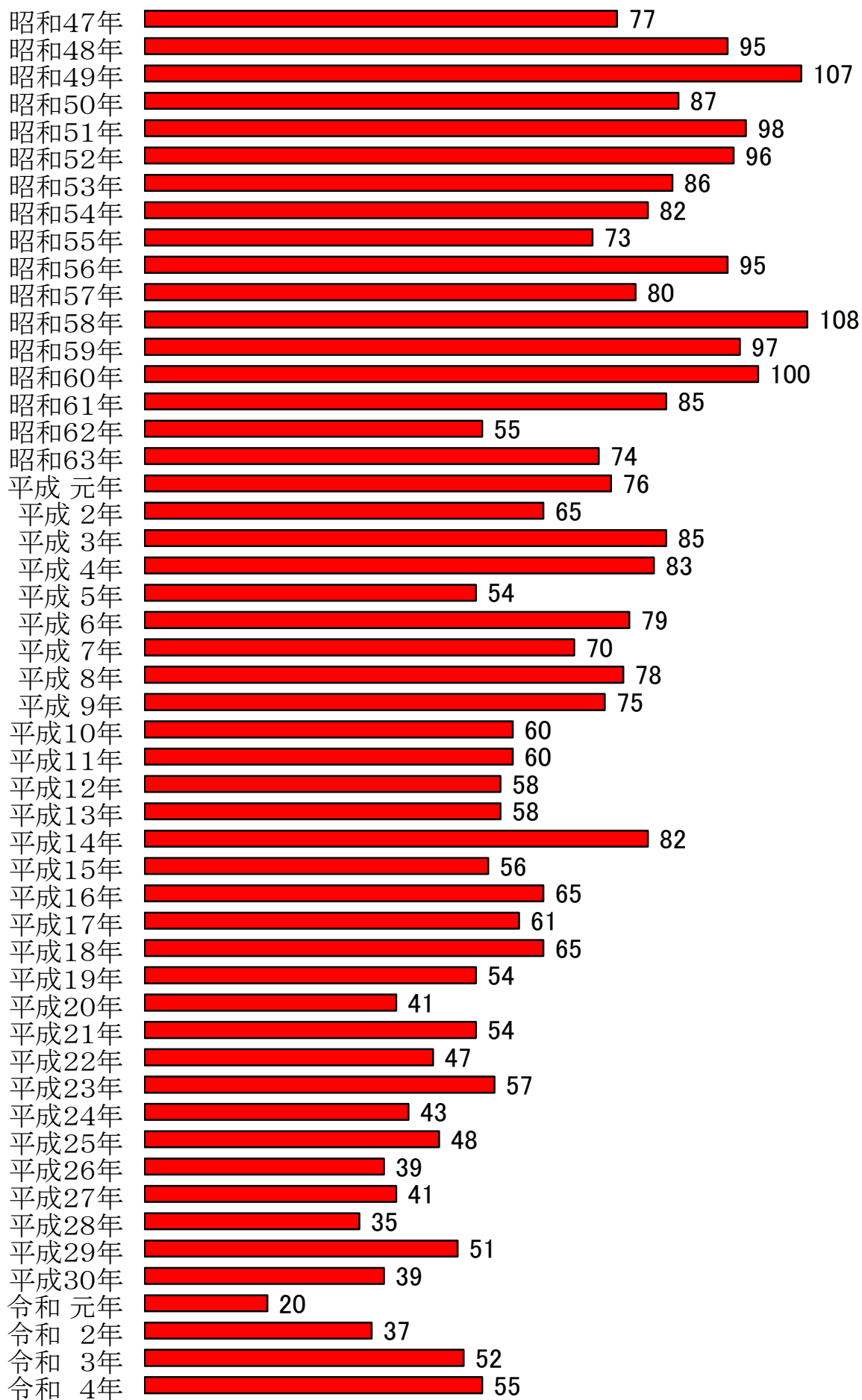




■ 広域消防発足以来の火災件数及び損害額

年 別	件 数	火災種別						焼損面積		損害額(千円)							計	
		建 物	林 野	車両		船 舶	その 他	爆 発	建 物 (㎡)	林 野 (a)	建 物	林 野	車両		船 舶	その 他		爆 発
				自 動 車	鉄 道								自 動 車	鉄 道				
S47	77	61	8	6		1	1		3,244	60	158,854	1,020	1,278		5	10		161,167
S48	95	67	9	7		2	10		3,124	47	96,285	2,765	6,965		75	85		106,175
S49	107	54	24	4			25		1,971	17	48,736	869	197			1,732		51,534
S50	87	48	12	10		1	16		2,493	67	97,184	407	1,688		381	827		100,487
S51	98	72	5	8			13		3,698	68	126,140	255	1,038			652		128,085
S52	96	61	20	4		1	10		2,163	222	70,932	1,023	95		250	5		72,305
S53	86	50	16	6		2	12		3,353	305	118,887	260	1,293		32,220	386		153,046
S54	82	58	11	3		1	9		3,532	430	144,732	8,037	310		55,000	73		208,152
S55	73	63	4	3			3		3,623	426	234,196	1,920	102			1,660		237,878
S56	95	73	3	1		1	17		4,803	104	330,467	1,000	250		40	1,515		333,272
S57	80	53	5	7		2	13		2,407	203	114,034	155	5,529		1,044	432		121,194
S58	108	70	10	9		1	18		4,940	744	541,239	2,135	694		4,350	917		549,335
S59	97	69	4	4		1	19		4,102	300	366,667	865	348		700	1,614		370,194
S60	100	76	7	4			13		5,728	14,605	321,770	83,645	1,104			640		407,159
S61	85	57	10	4		1	13		5,104	5,072	367,229	37,967	2,995		864	664		409,719
S62	55	42	2	2			9		2,962	122	185,912	1,495	547			2,156		190,110
S63	74	60	1	5		1	7		5,611	10,500	336,093	26,000	3,343		10	12,250		377,696
H元	76	52	4	12			8		9,641	2,270	507,878	5,308	4,415			225		517,826
H 2	65	49	4	7		2	3		2,636	115	227,504		5,976		473	4,540		238,493
H 3	85	60	3	9		1	12		9,215	176	557,461		2,360		725	1,666		562,212
H 4	83	62	2	11		1	7		5,180	18	695,476		12,244		6,275	1,516		715,511
H 5	54	39	4	6			5		3,715	428	359,350		4,638			1,432		365,420
H 6	79	57	3	5			14		4,432	171	322,599	44	1,498			3,073		327,214
H 7	70	48	5	6			11		3,692	1,470	277,282	18,261	2,569			1,778		299,890
H 8	78	48	6	9	1		14		9,305	376	858,434	580	5,103	60,216		6,583		930,916
H 9	75	52	2	13			8		3,883	31	276,917		18,129			187		295,233
H10	60	46	3	4			7		2,273	2,435	107,486	15,677	589			529		124,281
H11	60	37	3	10			10		2,924	26	242,889		7,569			1,905		252,363
H12	58	36	4	6			12		5,517	7,049	310,033	51,950	1,334			1,459		364,776
H13	58	40	2	9			7		4,558	59	463,032		12,738			1,378		477,148
H14	82	59	4	8			11		4,240	1,768	680,839	20,579	4,505			2,311		708,234
H15	56	44		7			5		10,219		908,019		1,525			27		909,571
H16	65	48	1	5			9	2	3,409	3	345,519		2,663			81		348,263
H17	61	33	5	6			17		2,614	101	202,009	8,649	39,228			22		249,908
H18	65	49		6			10	2	3,499		124,818		2,059			38		126,915
H19	54	37	2	3		1	11		4,075	6	236,971	29	1,720		10,181	18		248,919
H20	41	25		2			14		3,478	3	155,146		97			1,677		156,920
H21	54	33	1	15		1	4	1	5,161	13	315,850		8,386					324,236
H22	47	39	1	5			2		4,259	60	320,654	180	2,050			732		323,616
H23	57	37	1	4			15		2,635	30	160,059		955			203		161,217
H24	43	32		3			8		4,344		220,036		757			276		221,069
H25	48	30		7			11	1	4,135		304,676		2,561			560		307,797
H26	39	22	2	9			7		6,279	40	228,747		5,527			24,764		259,038
H27	41	31		2		1	7		2,641		155,687		283		1,608	2,458		160,036
H28	35	26		3			6		1,510		39,295		178					39,473
H29	51	31	2	7			11	1	2,271	29	81,333		6,292			18,375		106,000
H30	39	25	1	5			8		2,129	12	116,209		226			5,156		121,591
R元	20	10		3			7		2,627		50,299		1,585			30		51,914
R2	37	24	2	3			8		1,128	10	38,601		1,310			21,618		61,529
R3	52	29	1	6			16		3,149	49	126,896		6,640			205		133,741
R4	55	27	2	2			24	1	2,401	700	87,016	290	1,684			203		89,193

## ■ 広域消防発足以後の火災件数推移グラフ



■広域消防発足以来の主な火災

年別	出火月日	火災種別	出火時分	鎮火時分	出火場所	火元用途	焼損面積等		類焼棟数 (棟)	死者	負傷者	出火原因	損害額計 (千円)
							(㎡)	(a)					
S47	10月29日	建物	10:30	13:00	三豊郡豊中町本山	工場	660		1		1	溶接機・切断機	50,000
S48	4月3日	建物	22:00	4日0:09	観音寺市栗井町	工場	697		1		1	溶接機・切断機	70,286
S54	12月18日	建物	20:55	21:51	三豊郡詫間町詫間	船舶						溶接機・切断機	55,000
S56	3月23日	建物	22:45	23:46	観音寺市村黒町	店舗住宅	396					不明	61,083
S56	12月3日	建物	4:10	5:55	観音寺市柞田町	倉庫	348		2			不明	55,201
S58	1月14日	建物	3:05	4:29	観音寺市中田井町	事務所	540		2			不明	84,093
S58	8月3日	建物	2:50	5:01	三豊郡詫間町詫間	住宅	406		2			たばこ	51,673
S58	8月27日	建物	19:48	20:58	三豊郡大野原町中姫	工場	500					電気炉	241,008
S59	1月15日	建物	1:15	2:50	三豊郡高瀬町佐俣	工場	470					石油ストーブ	162,956
S60	2月2日	林野	18:30	5日10:00	三豊郡豊浜町箕浦	普通林		13,600				不明	61,302
S60	5月3日	建物	18:00	21:40	観音寺市伊吹町	店舗	1,229		10		1	不明	64,943
S61	3月8日	林野	13:00	9日10:15	三豊郡詫間町大浜	人工林		100			3	不明	23,879
S61	8月20日	林野	15:50	23日14:00	観音寺市栗井町	制限林		400			2	たき火	490
S61	10月31日	建物	11:15	18:00	三豊郡山本町財田西	作業場	1,575					火花	177,660
S63	2月7日	建物	2:20	6:50	観音寺市柞田町	作業場	929					不明	116,583
H元	1月1日	建物	14:20	18:00	三豊郡仁尾町仁尾	学校	3,304					不明	128,581
H元	4月18日	林野	15:40	22日9:40	三豊郡豊中町下高野	普通林		200			4	火入れの火の粉	5,200
H元	12月10日	建物	11:30	16:35	三豊郡豊浜町姫浜	工場	1,278				2	摩擦による	92,331
H3	2月3日	建物	5:30	9:32	三豊郡詫間町大浜	養鶏場	5,184					不明	296,475
H4	1月21日	建物	3:07	5:17	三豊郡豊浜町和田浜	作業場	1					不明	212,162
H4	7月16日	建物	1:34	6:04	観音寺市観音寺町	店舗	784					不明	134,546
H5	7月18日	建物	3:35	5:02	三豊郡高瀬町佐股	作業場	339					不明	112,413
H8	11月28日	建物	16:50	19:30	三豊郡詫間町詫間	工場	4,403			2	10	不明	539,543
H10	9月16日	林野	13:15	17日19:30	三豊郡詫間町大浜	制限林		200				煙突の火の粉	15,472
H12	2月18日	林野	10:50	15:30	三豊郡豊浜町箕浦	原野		700			2	たき火	51,844
H13	3月14日	林野	13:37	15日8:15	三豊郡詫間町詫間	制限林		50				たばこ	0
H13	4月7日	建物	20:30	22:24	三豊郡豊中町上高野	工場	153					静電気のスパーク	193,992
H14	6月1日	建物	2:30	4:09	三豊郡豊浜町姫浜	作業場	791		1			不明	440,303
H14	12月14日	林野	14:20	19日15:00	三豊郡詫間町栗島	原野		1,700				その他	20,579
H15	1月26日	建物	21:50	27日1:24	三豊郡高瀬町新名	店舗	890		1			配線器具	66,380
H15	4月23日	建物	18:53	22:40	三豊郡豊中町比地大	店舗	6,256					マッチ・ライター	694,645
H16	1月7日	建物	20:40	8日0:10	三豊郡豊中町岡本	作業場	512					たき火	72,895
H16	8月23日	建物	20:20	21:25	観音寺市瀬戸町	作業場	410					落雷	80,236
H17	4月2日	建物	0:15	4:59	観音寺市柞田町	作業場	56					金属の火花	51,313
H17	7月15日	建物	19:55	22:13	三豊郡山本町財田西	作業場	496					溶接機・切断機	51,968
H19	11月10日	建物	17:45	20:25	三豊市詫間町箱	住宅	552		7			不明	53,961
H20	2月28日	建物	9:30	11:00	三豊市高瀬町上麻	工場	1,322					溶接機・切断機	50,993
H21	8月25日	建物	1:05	14:30	観音寺市柞田町	工場	2,544		2			金属の衝撃火花	194,703
H22	7月22日	建物	2:00	4:00	観音寺市伊吹町	工場	533		1			発電機	94,550
H24	7月20日	建物	不明	7:35	三豊市詫間町詫間	作業場	1,337		1			不明	81,651
H25	10月10日	建物	14:30	21:00	観音寺市大野原町	工場	2,500		1		1	スイッチの火花が飛ぶ	259,528
H26	8月3日	建物	15:20	4日3:25	三豊郡山本町財田西	工場	3,802					不明	108,747
H27	1月8日	建物	14:55	16:47	三豊市詫間町松崎	住宅	600		5		1	不明	56,784
H29	6月1日	林野	23:50	2日10:50	観音寺市豊浜町和田	人工林		2				落雷	0
H30	11月20日	建物	17:40	23:04	三豊市財田町財田上	工場	46					グラインダーの火花	958
R元	2月16日	建物	22:15	17日6:00	観音寺市伊吹町	住宅	1,331		16			放火の疑い	22,399
R4	6月26日	建物	2:30	13:00	観音寺市村黒町	作業場	1,006		2		1	焼却炉の火の粉	51,231
R4	8月13日	林野	7:00	15日12:00	観音寺市伊吹町股島	社(空家)		700	1			消し炭薪	290

※ 損害額が5,000万円以上、出火から鎮火までに5時間以上要した火災、林野火災で焼損面積が500a以上の火災。

■管内市別火災件数の推移

(単位:千円)

署所別		市 別		年 別				
				平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年
南消防署管内	本署	観音寺	件数	7	9	11	20	8
			損害額	29,077	29,888	5,595	36,453	58,303
	第一分署	大野原	件数	1	2	4	5	3
			損害額	4,610	4,991	5,890	202	4,020
		豊浜	件数	2	1	3	4	2
			損害額	12,792	231	108	8,276	188
小 計			件数	10	12	18	29	13
			損害額	46,479	35,110	11,593	44,931	62,511
北消防署管内	本署	高瀬	件数	6	2	4	4	11
			損害額	4,854	15,085	18,581	65	5,672
		三野	件数	3		1	2	3
			損害額	34,124		375	34,686	
	豊中	件数	2	1	3	5	3	
		損害額	736		129	47,683	26	
	第二分署	山本	件数	2	1	4	2	9
			損害額	0		491	161	7,851
		財田	件数	4	1	2	3	7
			損害額	2,057	30	1,456	147	1,715
	第三分署	詫間	件数	9	2	5	4	6
			損害額	32,151	800	28,904	2,524	5,419
		仁尾	件数	3	1		3	3
			損害額	1,190	889		3,544	5,999
小 計			件数	29	8	19	23	42
			損害額	75,112	16,804	49,936	88,810	26,682
合 計			件数	39	20	37	52	55
			損害額	121,591	51,914	61,529	133,741	89,193

## ■出火原因の年別推移

年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年
ワースト	たき火	たき火	たき火	たき火	たき火
1位	8	5	7	6	10
2位	たばこ	風呂かまど	こんろ	たばこ	火入れ
	4	1	2	5	5
3位	電気機器	焼却炉	ストーブ	放火	たばこ
	3	1	2	5	2
4位	こんろ	内燃機関	電灯・電話線	こんろ	焼却炉
	2	1	2	4	2
5位	焼却炉	配線器具	放火	電灯・電話線	電気機器
	2	1	2	4	2
6位	電灯・電話線	マッチ・ライター	放火の疑い	焼却炉	電気装置
	2	1	2	2	2
7位	ストーブ	放火	こたつ	放火の疑い	取灰
	1	1	1	2	2
8位	煙突・煙道	放火の疑い	排気管	ストーブ	ストーブ
	1	1	1	1	1
9位	配線器具		電気機器	電気装置	電灯・電話線
	1		1	1	1
10位	溶接機・切断機		電気装置	マッチ・ライター	溶接機・切断機
	1		1	1	1
11位			内燃機関	火入れ	放火
			1	1	1
12位			配線器具		放火の疑い
			1		1
13位			火遊び		
			1		
14位			灯火		
			1		
15位					
	その他	その他	その他	その他	その他
	6	2	6	9	15
	不明・調査中	不明・調査中	不明・調査中	不明・調査中	不明・調査中
	8	6	6	11	10
合 計	39	20	37	52	55

# 令和4年火災概況

令和4年1月1日～12月31日

## (1)概況総括

区分	令和4年累計 (A)	令和3年累計 (A)	対前年増減数 (A)-(B)=(C)	増減率(%) (C)/(B)×100	
総出火件数(件)	55	52	3	5.8	
内訳	建物火災 (うち住宅火災)	27	29	△2	△6.9
	林野火災	8	15	△7	△46.7
	車両火災	2	1	1	100.0
	船舶火災	2	6	△4	△66.7
	航空機火災				
	その他火災	24	16	8	50.0
	焼損棟数	39	50	△11	△22.0
り災世帯数	8	29	△21	△72.4	
り災人員	18	68	△50	△73.5	
焼損面積	建物焼損床面積(m <sup>2</sup> )	2,370	3,149	△779	△24.7
	建物焼損表面積(m <sup>2</sup> )	31	192	△161	△83.9
	林野焼損面積(a)	700	49	651	1,328.6
損害額(千円)	89,193	133,741	△44,548	△33.3	
内訳	建物	87,007	126,896	△39,889	△31.4
	林野	290	290		
	車両	1,684	6,640	△4,956	△74.6
	船舶				
	航空機				
	その他	203	205	△2	△1.0
爆発	9		9	皆増	
死者数 (うち放火自殺者数)	1	4	△3	△75.0	
負傷者数	6	13	△7	△53.8	

## (3)月別出火件数

区分 月	件数 合計	建 物	林 野	車 両	船 舶	航 空 機	そ の 他
1	5	3					2
2	6	2					4
3	2						2
4	4	2		1			1
5	6	1					5
6	9	4		1			4
7	2	1					1
8	8	5	1				2
9	3	2	1				
10	2	1					1
11	4	3					1
12	4	3					1
累計	55	27	2	2			24

## (4)火災による死者の内訳

経過 年齢	死者 合計	逃 げ お く れ	出 火 後 再 進 入	着 衣 着 火	放 火 自 殺	そ の 他	爆 発 死 者	不 明 ・ 調 査 中
5歳以下								
6～10歳								
11～20歳								
21～30歳								
31～40歳								
41～50歳								
51～60歳								
61～64歳								
65歳以上		1						
不明								
計	1	1						

## (2)出火原因

出火原因別件数	令和4年累計 (A)	令和3年累計 (B)	対前年増減数 (A)-(B)=(C)	増減率(%) (C)/(B)×100
たばこ	2	5	△3	△60.0
こんろ		4	△4	△100.0
かまど				
風呂かまど				
炉				
焼却炉	2	2		
ストーブ	1	1		
こたつ				
ボイラー				
煙突・煙道				
排気管				
電気機器	2		2	皆増
電気装置	2	1	1	100.0
電灯・電話等の配線	1	4	△3	△75.0
内燃機関				
配線器具				
火遊び				
マッチ・ライター		1	△1	△100.0
たき火	10	6	4	66.7
溶接機・切断機	1		1	皆増
灯				
衝突の火花				
取灰	2		2	皆増
火入れ	5	1	4	400.0
放火	1	5	△4	△80.0
放火の疑い	1	2	△1	△50.0
その他	15	9	6	66.7
不明・調査中	10	11	△1	△9.1
合計	55	52	3	5.8

## (5)火災件数・損害等平均値

火災発生間隔(日)	6.6	
1ヶ月平均出火件数(件)	4.6	
1ヶ月平均損害額(千円)	7,433	
1件平均損害額(千円)	1,622	
1日平均損害額(千円)	244	
1件当たり 焼損面積	建物(m <sup>2</sup> )	88
	林野(a)	350

## ■月別火災発生状況

令和4年1月1日～12月31日(件:千円)

市町別(月)		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計			
南 消 防 署 管 内	本署 観音寺	火災件数	1						1	2	2		1	1	8		
		うち爆発															
		損害額	387					51,231		290	4,695		64	1,636	58,303		
	第一分署	大野原	火災件数					1		1				1	3		
			うち爆発														
			損害額					3,840		90				90	4,020		
		豊浜	火災件数					1						1		2	
			うち爆発														
			損害額					184						4		188	
	北 消 防 署 管 内	本署	高瀬	火災件数	1	2	1			3	1		2	1		11	
				うち爆発													
				損害額	113	2,111							3,364	84			5,672
三野			火災件数							1	1			1		3	
			うち爆発														
			損害額														
豊中		火災件数			1					1				1	3		
		うち爆発															
		損害額								26					26		
第二分署		山本	火災件数	3				2		3		1			9		
			うち爆発														
			損害額	45						1,501		6,305				7,851	
		財田	火災件数			3	1	1				1		1		7	
			うち爆発														
			損害額					1,527			54		134			1,715	
第三分署		詫間	火災件数					2		2		1			1	6	
			うち爆発									1				1	
			損害額					4,546		864		9				5,419	
	仁尾	火災件数									1			1	1	3	
		うち爆発															
		損害額									2,220			1	3,778	5,999	
火災件数		5	6	2	4	6	9	2	8	3	2	4	4	55			
うち爆発										1				1			
損害額		545	2,111		6,257	3,840	53,622	90	12,242	4,779	134	69	5,504	89,193			





■建物用途ごとの火災発生状況

令和4年1月1日～令和4年12月31日

区分	用途別		計	専用住宅	併用住宅	下宿・共同住宅	工場・作業場	倉庫・物置	物品販売店舗	飲食店	事務所	畜舎	複合用途	その他用途	
構造別	計		27	8			6	7			1	2	1	2	
	耐火構造		2								1				1
	準耐火構造		7				4	1						1	1
	木造		16	8			2	4					2		
	その他		2					2							
焼損棟数	計		39	11			10	8			1	4		5	
	全焼		13	4			2	3				1		3	
	半焼		1	1											
	部分焼		14	3			4	3				3		1	
	ぼや		11	3			4	2			1			1	
損害	焼損面積	床面積	2,370	933			1,148	256				8		25	
	(㎡)	表面積	31				20	8				2		1	
	損害額(千円)		87,016	16,542			56,541	8,946			64	85	9	4,829	
り災世帯数	計		8	7				1							
	全損		3	3											
	半損														
	小損		5	4				1							
り災人員			18	13				5							
原因別	計		27	8			6	7			1		1	2	
	たばこ		2	1			1								
	こんろ														
	かまど														
	風呂かまど														
	炉														
	焼却炉		2				1	1							
	ストーブ														
	こたつ														
	ポイラー														
	煙突・煙道														
	排気管														
	電気機器		2				1							1	
	電気装置		1								1				
	電灯・電話線														
	内燃機関														
	配線器具														
	火遊び														
	マッチ・ライター														
	たき火		1						1						
	溶接機・切断機														
	灯火														
	衝突の火花														
	取灰														
	火入れ														
	放火		1												1
	放火の疑い		1						1						
その他		10	3			3	1					2	1		
不明・調査中		7	4				3								

■令和4年中の主な火災

整理 番号	火災 種別	出火 月日	出火 時分	入電 時分	鎮火 時分	出火 場所	火元 用途	焼損 面積等 (㎡)	死 者	30 日死者	出火 原因	損害 額計 (千円)
1	建物	4月27日	3:10	3:18	6:14	三豊市詫間町詫間	住宅	187			不明	4,536
2	建物	5月3日	19:30	19:38	21:30	観音寺市大野原町花稲	住宅	51			不明	3,840
3	建物	6月26日	2:30	2:48	13:00	観音寺市村黒町	作業場	1,006			焼却炉の火の粉	51,231
4	その他	7月15日	12:00	15:32	15:30	三豊市三野町下高瀬	墓地			1	たき火	
5	建物	8月8日	23:00	23:18	9日00:09	三豊市高瀬町上高瀬	倉庫	159			不明	3,364
6	林野	8月13日	7:00	9:28	15日12:00	観音寺市伊吹町股島	社(空家)	700a			消し炭薪	290
7	建物	8月17日	22:00	23:32	18日2:05	三豊市山本町神田	住宅	215	1		不明	6,305
8	建物	9月5日	20:50	21:07	21:50	観音寺市坂本町	ホテル	11			放火	4,695

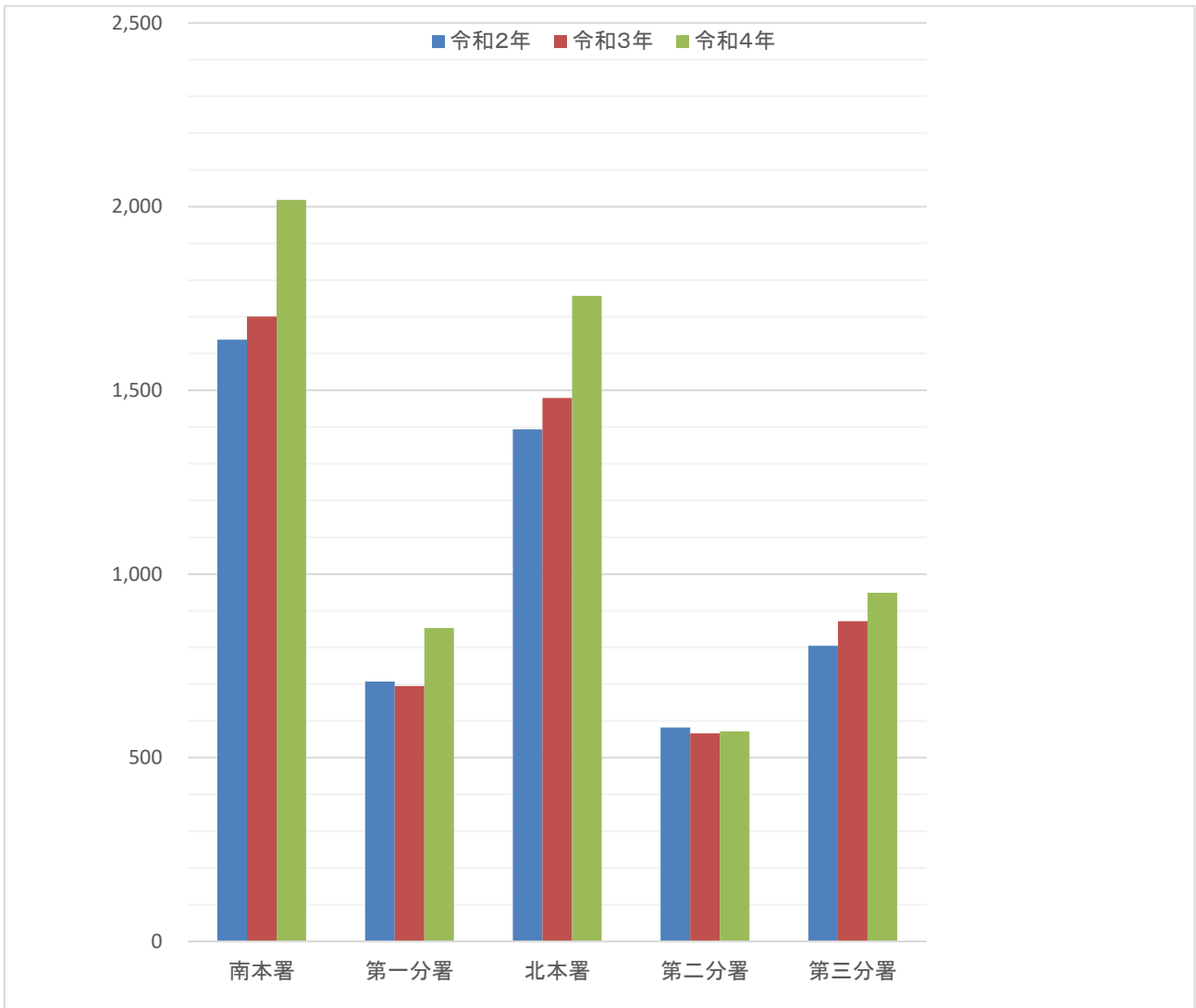
※ 損害額が300万円以上の火災、死者の生じた火災、出火から鎮火までに3時間以上要した火災、林野火災で焼損面積が2㎡以上の火災。

# 救急統計



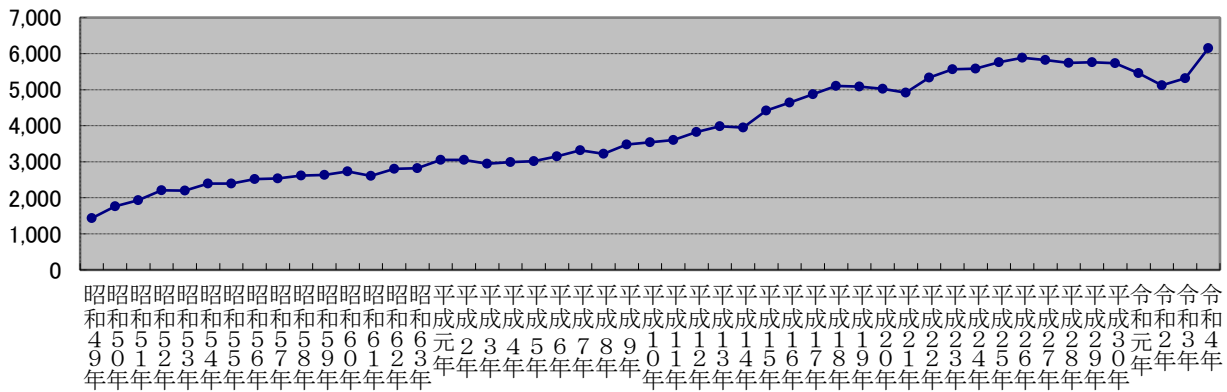


## ■ 署別、年別救急出動状況



年別	南消防署管内		北消防署管内			合計
	南本署	第一分署	北本署	第二分署	第三分署	
令和2年	1,638	707	1,394	582	805	5,126
令和3年	1,701	695	1,479	566	872	5,313
令和4年	2,018	853	1,757	572	949	6,149

## 救急件数の推移





# ■出動先別、月別救急出場状況

令和4年1月1日～令和4年12月31日

出動先		月別 区分	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
			観音寺市	観音寺	出場件数	156	127	144	132	170	162	157	197	163	182
搬送人員	143	114			127	119	157	143	144	175	147	155	123	173	1,720
不搬送件数	16	14			17	13	13	20	14	24	17	27	20	29	224
大野原	出場件数	42		40	38	38	55	38	39	51	38	33	45	40	497
	搬送人員	39		39	34	38	51	36	37	43	36	32	40	36	461
	不搬送件数	3		2	5	0	4	2	3	8	2	1	5	4	39
豊浜	出場件数	31		26	39	28	36	35	47	50	42	35	29	40	438
	搬送人員	23		24	38	28	34	33	40	39	36	31	26	36	388
	不搬送件数	8		2	5	0	2	2	7	12	6	4	3	4	55
小計	出場件数	229	193	221	198	261	235	243	298	243	250	214	282	2,867	
	搬送人員	205	177	199	185	242	212	221	257	219	218	189	245	2,569	
	不搬送件数	27	18	27	13	19	24	24	44	25	32	28	37	318	
三豊市	高瀬	出場件数	67	79	62	68	63	69	86	105	70	70	81	94	914
		搬送人員	64	70	59	61	59	68	83	88	59	68	79	76	834
		不搬送件数	3	9	3	7	4	1	3	17	13	2	3	19	84
	豊中	出場件数	37	30	37	50	27	35	41	48	36	59	42	63	505
		搬送人員	36	28	33	47	25	35	37	42	34	54	39	51	461
		不搬送件数	1	2	4	3	2	0	4	6	2	5	3	13	45
	三野	出場件数	38	21	29	23	28	28	34	36	32	37	37	34	377
		搬送人員	32	18	28	23	25	26	28	29	30	30	30	30	329
		不搬送件数	6	3	1	0	3	2	6	7	2	7	7	4	48
	山本	出場件数	24	15	17	22	27	26	37	28	26	21	29	22	294
		搬送人員	23	14	16	20	25	22	36	26	25	20	24	16	267
		不搬送件数	1	1	1	2	2	4	2	2	1	1	5	6	28
	財田	出場件数	16	19	16	14	12	13	11	16	11	13	14	21	176
		搬送人員	16	17	12	13	12	12	8	12	9	10	12	17	150
		不搬送件数	0	2	4	1	0	1	3	4	2	3	2	4	26
	詫間	出場件数	72	49	56	47	40	61	64	71	60	60	57	67	704
		搬送人員	67	44	55	44	40	58	65	66	55	57	54	59	664
		不搬送件数	5	5	1	3	0	3	2	5	5	3	3	8	43
	仁尾	出場件数	24	26	21	25	24	23	17	34	13	25	23	46	301
		搬送人員	20	24	23	21	23	22	16	32	12	23	19	36	271
		不搬送件数	4	2	1	4	2	1	1	3	1	3	4	10	36
小計	出場件数	278	239	238	249	221	255	290	338	248	285	283	347	3,271	
	搬送人員	258	215	226	229	209	243	273	295	224	262	257	285	2,976	
	不搬送件数	20	24	15	20	13	12	21	44	26	24	27	64	310	
高速道路	出場件数	1	0	1	3	1	0	2	2	0	1	0	0	11	
	搬送人員	1	0	0	4	1	0	2	1	0	1	0	0	10	
	不搬送件数	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	2	
その他	出場件数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	搬送人員	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	不搬送件数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
合計	出場件数	508	432	460	450	483	490	535	638	491	536	497	629	6,149	
	搬送人員	464	392	425	418	452	455	496	553	443	481	446	530	5,555	
	不搬送件数	47	42	43	33	32	36	45	89	51	56	55	101	630	





## ■月別、事故別出場件数

令和4年1月1日～令和4年12月31日

区分		月別												合計	
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月		
出場件数		508	432	460	450	483	490	535	638	491	536	497	629	6,149	
搬送人員		464	392	425	418	452	455	496	553	443	481	446	530	5,555	
不搬送件数		47	42	43	33	32	36	45	89	51	56	55	101	630	
事故別 出場 件数	火災	1	2	1	3	1	5	1	5	2	2		2	25	
	自然災害												2	2	
	水難			1		1	1	1	1	1	1			7	
	交通事故	30	25	35	41	36	28	38	37	27	27	29	37	390	
	労働災害	2	3	2	3	3	5	7	6	7	9	3	4	54	
	運動競技				4	3	3	3	1	3	4	1	1	23	
	一般負傷	87	74	66	66	85	56	60	90	86	94	82	105	951	
	加害					2	1	3	1	1			1	9	
	自損行為	4	3	5	4	1	5	2	1	5	4	6	4	44	
	急病	311	258	284	269	281	326	349	429	291	327	296	406	3,827	
	その他	転院搬送	73	67	66	60	70	60	70	66	66	66	77	67	808
		医師搬送													
		資器材等輸送													
	その他							1	1	2	2	3		9	
合計		508	432	460	450	483	490	535	638	491	536	497	629	6,149	

## ■曜日別、事故別出場状況

令和4年1月1日～令和4年12月31日

事故種別		曜日別							合計
		月	火	水	木	金	土	日	
火災		3	4	6	2	3	2	5	25
自然災害						2			2
水難		1			1	2		3	7
交通事故		50	60	67	62	48	65	38	390
労働災害		8	9	8	5	17	4	3	54
運動競技		2	2		3		4	12	23
一般負傷		122	114	124	132	135	136	188	951
加害			1				5	3	9
自損行為		8	4	5	6	10	8	3	44
急病		580	579	509	555	513	531	560	3,827
その他	転院搬送	133	148	145	105	136	90	51	808
	医師搬送								
	資器材等輸送								
その他	3		1	2			3	9	
合計		910	921	865	873	866	845	869	6,149

■時間別、事故別出場状況

令和4年1月1日～令和4年12月31日

事故種別 時間別	火	災	自然災害	水	難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加	害	自損行為	急	病	そ の 他				合計
															転院 搬送	医師 搬送	資器材 等輸送	その他	
0～2	1			1		9	1		27	2	2	2	174	6			1	224	
2～4	2			1		8	1		19		3	3	138	4				176	
4～6	1			1		7			28		4	4	161	6				208	
6～8	1					34	3		64		5	5	300	8			1	416	
8～10	3					60	10		129		6	6	485	98			2	793	
10～12			1			61	15	4	139	2	3	3	426	219			1	871	
12～14	3		1			37	11	7	93	1	3	3	444	149				749	
14～16	5			1		47	5	4	124	1	4	4	374	120			1	686	
16～18	2			1		56	5	5	115		4	4	374	127			1	690	
18～20	2					43		3	106	1	3	3	398	45			1	602	
20～22	3			2		16	2		62	1	5	5	304	16				411	
22～24	2					12	1		45	1	2	2	249	10			1	323	
合計	25		2	7		390	54	23	951	9	44	44	3,827	808			9	6,149	

■年齢区分別、事故別、傷病程度別搬送人員

令和4年1月1日～令和4年12月31日

事故別 年齢	火	災	自然災害	水	難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加	害	自損行為	急	病	その他	合計	死亡	重症	中等症	軽症	その他
乳幼児						10			30				69	7	116			2	30	84	
少年						47		14	22	2	5	5	80	3	173	1	9	46	117		
成人	1		1	2		152	40	8	138	5	16	16	771	150	1,284	23	176	419	666		
高齢者	4		1	2		156	12	1	682	1	5	5	2,469	644	3,977	115	1,121	1,618	1,123		
合計	5		2	4		365	52	23	873	8	26	26	3,391	806	5,555	139	1,308	2,114	1,994		

※年齢区分は次により分類

新生児 生後28日以内の者  
 乳幼児 生後29日以上満7歳未満の者  
 少年 満7歳以上満18歳未満の者  
 成人 満18歳以上満65歳未満の者  
 高齢者 満65歳以上の者

※傷病程度は、初診時における医師の診断（救急業務実施基準第20条第2項の医師の所見）に基づき次により分類

死亡 初診時において、死亡が確認されたもの  
 重症 傷病の程度が三週間以上の入院加療を必要とするもの  
 中等症 傷病の程度が入院を要するもので重症に至らないもの  
 軽症 傷病の程度が入院加療を必要としないもの  
 その他 医師の診断がないもの及び搬送先がその他の場所へ搬送したもの

## ■現場到着所要時間別出場件数

令和4年1月1日～令和4年12月31日

現場到着 事故種別	3分未満	3分以上 5分未満	5分以上 10分未満	10分以上 20分未満	20分以上	合計
	急病	35	49	1,975	1,678	90
交通事故	4	4	209	164	9	390
一般負傷	5	16	473	425	32	951
その他	3	89	617	255	17	981
合計	47	158	3,274	2,522	148	6,149

## ■収容所要時間別搬送人員

令和4年1月1日～令和4年12月31日

収容所要 時間 事故種別	10分未満		10分以上 20分未満		20分以上 30分未満		30分以上 60分未満		60分以上 120分未満		120分以上		合計	
	うち 管内	うち 管外	うち 管内	うち 管外	うち 管内	うち 管外	うち 管内	うち 管外	うち 管内	うち 管外	うち 管内	うち 管外	うち 管内	うち 管外
急病			24	2	544	14	2,386	477	426	200	11	6	3,391	699
交通事故			3		62	1	273	64	27	15			365	80
一般負傷			10		160	1	618	109	82	31	3	1	873	142
その他			16	1	273	38	537	196	94	78	6	6	926	319
合計			53	3	1,039	54	3,814	846	629	324	20	13	5,555	1,240

## ■住民に対する応急手当普及啓発活動の状況

令和4年1月1日～令和4年12月31日

市別		種別	救命基礎講習（1時間）		普通救命講習（3時間）		上級救命講習（8時間）	
			回数	受講人員	回数	受講人員	回数	受講人員
合計			2	34	8	48	0	0
南 消 防 署 管 内	本署 第一分署	観音寺市	観音寺	0	0	23	0	0
			大野原	0	0	5	0	0
			豊浜	0	0	0	0	0
	小計			0	0	28	0	0
北 消 防 署 管 内	本署	三豊市	高瀬	0	0	2	0	0
			三野	0	0	1	0	0
			豊中	0	0	6	0	0
	第二分署	三豊市	山本	0	0		0	0
			財田	0	0		0	0
	第三分署	三豊市	詫間	2	34	2	0	0
			仁尾	0	0	2	0	0
小計			2	34	13	0	0	
管轄外居住者						7	0	0

\*救命基礎講習（回数）にあつては講習場所の市町

\*上級・普通救命講習にあつては受講者の居住地市町

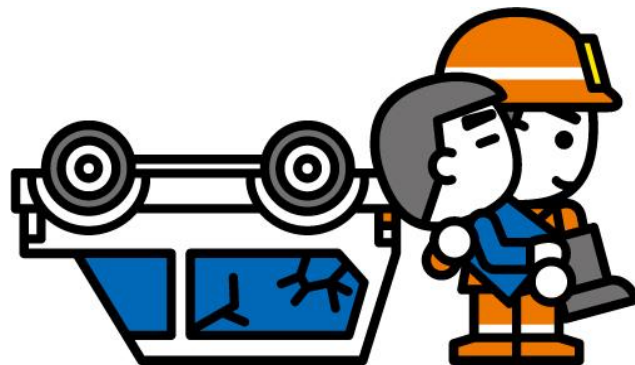
---

---

# 救助統計

---

---





■署別・市町別・事故種別出動状況

令和4年1月1日～令和4年12月31日

署別・市町		事故別	合計	火災		交通事故	水難事故	自然災害	機械による事故	建物による事故	ガス及び酸欠事故	破裂事故	その他の事故		
				建物	建物以外										
合計		出動件数	60	3		37	7		2	1			10		
		活動件数	45	3		25	6		2	1			8		
		救助人員	48	2		29	6		2	1				8	
南消防署管内	本署	観音寺	出動件数	11	1		8	1						1	
		活動件数	8	1		6	1								
		救助人員	7			6	1								
	第一分署	大野原	出動件数	4			3							1	
			活動件数	2			1							1	
			救助人員	2			1							1	
		豊浜	出動件数	6			3	1							2
			活動件数	5			2	1							2
			救助人員	6			3	1							2
	小計		出動件数	21	1		14	2						4	
活動件数	15	1		9	2								3		
救助人員	15			10	2								3		
北消防署管内	本署	高瀬	出動件数	7			7								
			活動件数	4			4								
			救助人員	5			5								
		豊中	出動件数	6			3			1					2
			活動件数	5			2			1					2
			救助人員	5			2			1					2
		三野	出動件数	8			5	1		1					1
			活動件数	7			4	1		1					1
			救助人員	8			5	1		1					1
	第二分署	山本	出動件数	5	1		2				1			1	
			活動件数	5	1		2				1			1	
			救助人員	5	1		2				1			1	
		財田	出動件数	2			2								
			活動件数	2			2								
			救助人員	2			2								
	第三分署	詫間	出動件数	6	1		1	3						1	
			活動件数	5	1			3						1	
			救助人員	5	1			3						1	
仁尾		出動件数	4			3	1								
		活動件数	2			2									
		救助人員	3			3									
小計		出動件数	38	2		23	5		2	1			5		
活動件数	30	2		16	4		2	1				5			
救助人員	33	2		19	4		2	1				5			
圏域外		出動件数	1										1		
活動件数															
救助人員															
高速道路(内書き)		出動件数													
活動件数															
救助人員															

※高速道路については内書きとする

活動件数とは、出動件数のうち消防機関が何らかの救助活動を行った件数である。

救助人員には、消防機関と他機関が共同して救助活動中、他機関が救助した人員を含む。

## ■救助技術大会出場状況

区分 回数別	四 国 大 会				全 国 大 会							
	大 年	月	会 日	出 場 種 目 数	入 賞 数	開 催 地	大 年	月	会 日	出 場 種 目 数	入 賞 数	開 催 地
1	47	9	20	1		高知市	47	9	28	1		東京都
2	48	8	12	1	1	松山市	48	9	21	1	1	大阪市
3	49	8	11	1	1	松山市	49	9	18	1		横浜市
4	50	8	21	19	10	高松市	50	9	10	2	1	東京都
5	51	8	16	14	9	高松市	51	9	10	2	2	名古屋市
6	52	8	9	14	10	徳島市	52	8	18	3	3	横浜市
7	53	8	9	12	8	徳島市	53	8	22	2	2	千葉市
8	54	7	31	11	10	高知市	54	8	24	2	1	大阪市
9	55	7	22	11	7	高知市	55	8	29	2		名古屋市
10	56	7	22	13	12	松山市	56	8	19	2	1	横浜市
11	57	7	26	12	11	松山市	57	8	19	2	2	横浜市
12	58	7	28	8	8	高松市	58	8	19	3	3	大阪市
13	59	8	1	7	7	高松市	59	8	24	1	1	名古屋市
14	60	7	26	7	6	徳島市	60	8	23	1	1	広島市
15	61	7	18	6	4	徳島市	61	8	22	1	1	神戸市
16	62	7	30	8	8	高知市	62	8	21	2	2	千葉市
17	63	7	28	6	6	高知市	63	8	19	1	1	横浜市
18	元	7	27	4	3	松山市	元	8	25			名古屋市
19	2	7	26	3	2	松山市	2	8	24	1	1	広島市
20	3	7	17	4	4	高松市	3	8	28			大阪市
21	4	7	17	4	4	高松市	4	8	28	1	1	千葉市
22	5	8	5	4	3	徳島市	5	8	20	1	1	福岡市
23	6	8	4	6	6	徳島市	6	8	25	1	1	京都市
24	7	7	27	5	5	高知市	7	8	25	1		北九州市
25	8	7	25	5	4	高知市	8	8	23			北海道
26	9	7	24	6	5	松山市	9	8	22			千葉市
27	10	7	30	6	3	松山市	10	8	28	1	1	大阪市
28	11	7	22	6	4	高松市	11	8	19	1	1	横浜市
29	12	7	26	6	4	高松市	12	8	18	1	1	熊本市
30	13	7	18	5	5	徳島市	13	8	8			東京都
31	14	8	7	6	5	徳島市	14	8	23			名古屋市
32	15	8	6	3	3	高知市	15	8	28			仙台市
33	16	8	6	4	3	高知市	16	8	26	1		神戸市
34	17	7	27	4	4	松山市	17	8	25	1		さいたま市
35	18	7	26	6	4	松山市	18	8	24	2	2	札幌市
36	19	7	26	5	5	高松市	19	8	22	1	1	東京都
37	20	7	24	5	5	高松市	20	8	29	1		北九州市
38	21	7	23	5	4	徳島市	21	8	20	2	2	横浜市
39	22	7	22	6	6	徳島市	22	8	27	1	1	京都市
40	東日本大震災を考慮し中止					高知市	東日本大震災を考慮し中止					さいたま市
41	24	7	11	7	7	松山市	24	8	7	1	1	東京都
42	25	7	19	6	4	松山市	25	8	22	1	1	広島市
43	26	7	25	7	7	高松市	広島市土砂災害を考慮し中止					千葉市
44	27	7	24	5	5	高松市	27	8	29			神戸市



## ■救助技術大会出場状況

区分 回数別	四 国 大 会				全 国 大 会			
	大 年 月 日	出 場 種目数	入賞数	開催地	大 年 月 日	出 場 種目数	入賞数	開催地
45	28 . 7 . 29	6	6	松山市	28 . 8 . 24	2	2	松山市
46	29 . 7 . 21	6	4	徳島市	29 . 8 . 23	1	1	仙台市
47	平成30年7月豪雨災害を考慮し中止			高知市	平成30年7月豪雨災害を考慮し中止			京都市
48	元 . 7 . 27	6	6	高知市	元 . 8 . 25	1	1	岡山市
49	新型コロナウイルス感染拡大を考慮し延期			松山市	新型コロナウイルス感染拡大を考慮し延期			北九州市
49	新型コロナウイルス感染拡大を考慮し中止			松山市	新型コロナウイルス感染拡大を考慮し中止			北九州市
50	4 . 7 . 23	7	5	高松市	4 . 8 . 26	1	0	東京都



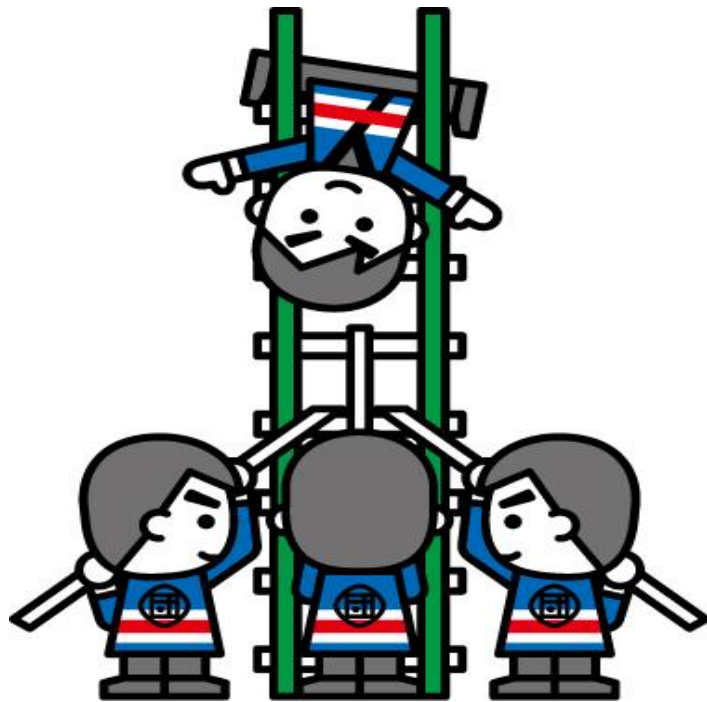
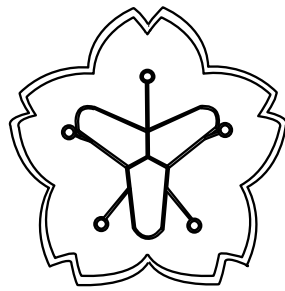
---

---

# 消 防 団

---

---





■ 構成市消防団関係状況

令和5年4月1日 現在

市町 区分		観音寺市		市町 区分		三豊市		合計
		人員	報酬			人員	報酬	
条例定員		713		条例定員		1,091		1,804 人
計		665		計		1,054		1,719 人
実員	団長	1	180,000	団長	1	178,000		2 人
	副団長	4	160,000	副団長	2	103,000		6 人
	方面隊長	8	120,000	方面隊長	7	96,000		15 人
				副方面隊長	7	89,000		7 人
	分団長	22	90,000	分団長	36	82,000		58 人
	副分団長	22	60,000	副分団長	44	61,000		66 人
	部長	32	44,000	部長	75	43,000		107 人
	班長	105	40,000	班長	163	39,000		268 人
	団員	471	36,500	団員	719	36,500		1,190 人
	人員の状況等	水火災	4時間以内 4,000円 4時間を超える時は、4時間以内ごとに4,000円を加算。		水火災	2時間未満 2,500 2時間以上4時間未満 4,000 4時間以上8時間未満 8,000 (8時間以上のときは、1時間当たり1,000円を加算。)		
警戒			2,000	警戒		2,000		
訓練			2,000	訓練		2,000		
その他				その他	分団運営費 一人当たり年額 18,000 方面隊運営費 一人当たり年額 2,000			
ポンプ保有状況	消防ポンプ自動車		21	消防ポンプ自動車		23		44 台
	積載車		4	積載車		46		50 台
	小型動力ポンプ		27	小型動力ポンプ		48		75 台
分団数			22	分団数			36	58 分団

■消防団員の年齢状況

令和5年4月1日 現在

区分 分団別	定員	実員	年齢別										平均
			20歳未満	20	25	30	35	40	45	50	55	60歳以上	
観音寺市	713	665	0	17	42	90	114	120	123	88	49	22	42.3
三豊市	1,091	1,054	1	18	43	89	146	171	250	138	95	103	45.6
合計	1,804	1,719	1	35	85	179	260	291	373	226	144	125	44.3

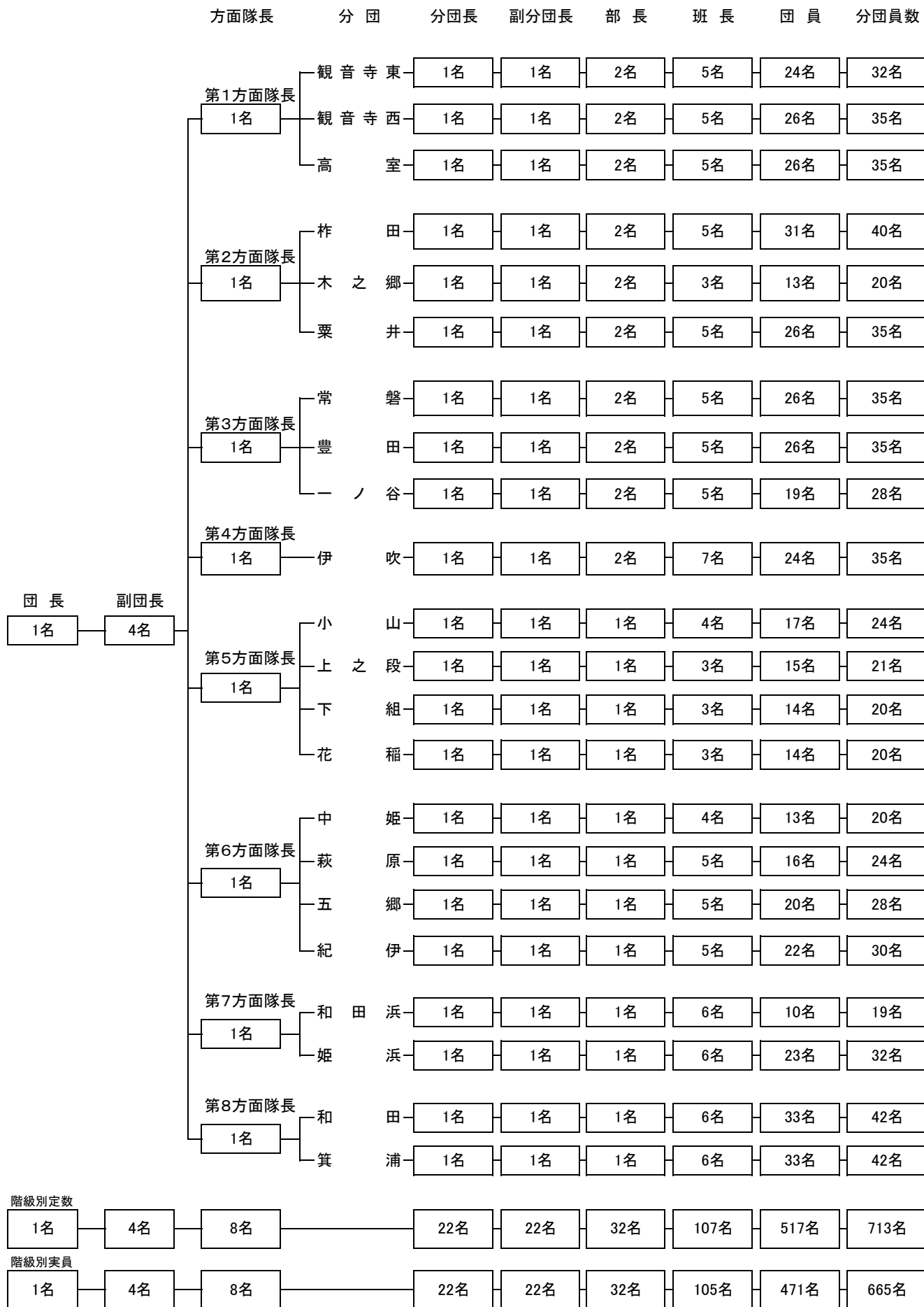
■消防団員の在職年数状況

令和5年4月1日 現在

区分 分団別	定員	実員	在職年数							平均
			5年未満	5	10	15	20	25	30年以上	
観音寺市	713	665	151	130	112	110	86	48	28	12.7
三豊市	1,091	1,054	181	183	192	176	151	88	83	14.5
合計	1,804	1,719	332	313	304	286	237	136	111	13.6

# ■ 観音寺市消防団組織

令和5年4月1日 現在



## ■観音寺市消防団管轄区域および保有資機材等

分 団 名	区 域	屯 所、器 具 庫 等	ポンプ車(台)	積載車(台)	可搬ポンプ(台)
団 本 部	市内全域	南消防署内		1	2
観 音 寺 分 団 西	観音寺町[三架橋(一部)、七間橋(一部)、中洲、中新、若宮、春日、大和(一部)、上若、蛭子、南]、有明町、昭和町二丁目(一部)、昭和町三丁目、南町一丁目、南町二丁目、南町三丁目、南町四丁目、南町五丁目、西本町一丁目、西本町二丁目、港町一丁目、港町二丁目、三本松町一丁目、三本松町二丁目、三本松町三丁目、三本松町四丁目、琴浪町一丁目、琴浪町二丁目、瀬戸町一丁目、瀬戸町二丁目、瀬戸町三丁目、瀬戸町四丁目、凧瀬町	鉄骨造2階建	1		1
観 音 寺 分 団 東	観音寺町[上市、川原、幸、明星、殿、中央、柳、青柳、三架橋(一部)、駅通、七間橋(一部)、大和(一部)]、茂木町一丁目、茂木町二丁目、茂木町三丁目、茂木町四丁目、茂木町五丁目、茂西町一丁目、茂西町二丁目、八幡町一丁目、八幡町二丁目、八幡町三丁目、天神町一丁目、天神町二丁目、天神町三丁目、坂本町一丁目、坂本町二丁目、坂本町三丁目、坂本町四丁目、坂本町五丁目、坂本町六丁目、坂本町七丁目、幸町、栄町一丁目、栄町二丁目、栄町三丁目、昭和町一丁目、昭和町二丁目(一部)	〃	1		1
高 室 分 団	室本町、高屋町	木造平屋建	1		1
柞 田 分 団	柞田町	鉄骨造2階建	1		1
木 之 郷 分 団	木之郷町	〃	1		1
粟 井 分 団	粟井町	〃	1		1
常 磐 分 団	流岡町、村黒町、植田町、出作町	〃	1		1
豊 田 分 団	池之尻町、新田町、原町	木造平屋建	1		1
一ノ谷分団	本大町、吉岡町、古川町、中田井町	鉄骨造2階建	1		1
伊 吹 分 団	伊吹町	鉄骨造平屋建		3 (軽特殊含む)	4
小 山 分 団	大野原町小山地区	鉄骨造2階建	1		1
上 之 段 分 団	〃 上之段地区	鉄骨ブロック造平屋建	1		1
下 組 分 団	〃 下組地区	鉄骨造2階建	1		1
花 稻 分 団	〃 花稲地区	鉄骨造平屋建	1		1
中 姫 分 団	〃 中姫地区	鉄骨造平屋建	1		1
萩 原 分 団	〃 萩原地区	木造平屋建	1		1
五 郷 分 団	〃 五郷地区	鉄骨造2階建	1		1
紀 伊 分 団	〃 紀伊地区	木造平屋建	1		1
和 田 浜 分 団	豊浜町和田浜地区	鉄骨ブロック造2階建	1		1
姫 浜 分 団	〃 姫浜地区	鉄骨造2階建	1		1
和 田 分 団	〃 和田地区	〃	1		1
箕 浦 分 団	〃 箕浦地区	〃	1		1
<b>計</b>			<b>21</b>	<b>4</b>	<b>27</b>



## 観音寺市消防団の沿革

平成17年10月11日、観音寺市、三豊郡大野原町及び三豊郡豊浜町が市町合併し、新たに「観音寺市」を設置する。それに伴い、観音寺市消防団、大野原町消防団及び豊浜町消防団を統合し、新たに「観音寺市消防団」を設置する。

- 平成17年 10月11日 市町合併に伴い、新たに「観音寺市消防団」となり、組織は8方面隊23分団、定員735人とする  
初代団長 近藤辰一
- 12月10日 日本消防協会長より表彰旗を受賞
- 平成18年 9月17日 香川県消防操法大会において和田分団がポンプ車の部で出場し、優勝する
- 10月19日 第20回全国消防操法大会において柞田分団がポンプ車の部で出場し、総合10位優秀賞を受賞する
- 平成19年 5月21日 近藤辰一団長が、香川県消防協会会長に就任
- 9月16日 香川県消防操法大会において上之段分団が小型ポンプの部で出場し、優秀賞を受賞する
- 10月25日 小山分団にモリタ式CD-1型消防ポンプ車を新規更新する
- 平成20年 3月 7日 自治体消防制度60周年記念式典において日本消防協会長より竿頭綬を受賞する
- 3月19日 観音寺東分団、常磐分団、姫浜分団の各消防屯所を新築移転する
- 4月 1日 組織改編により統括副団長・指導部長の階級を廃止し、副団長・方面隊長体制とする
- 8月29日 紀伊分団にモリタ式CD-1型消防ポンプ車を新規更新する
- 9月14日 香川県消防操法大会において栗井分団がポンプ車の部で出場し、準優勝する
- 平成21年 3月26日 花稻分団の消防屯所を新築移転する
- 5月20日 近藤辰一団長が、香川県消防協会会長を退任
- 9月13日 香川県消防操法大会において五郷分団がポンプ車の部で出場し、優秀賞を受賞する
- 11月24日 観音寺西分団、上之段分団、姫浜分団にモリタ式CD-1型消防ポンプ車を新規更新する
- 平成22年 4月 1日 組織改編により本部分団を解散し、定員713人で編成する  
第2代団長 大西光雄
- 9月12日 香川県消防操法大会において木之郷分団がポンプ車の部で出場し、優秀賞を受賞する
- 9月17日 下組分団にモリタ式CD-1型消防ポンプ車を新規更新する
- 平成23年 9月11日 香川県消防操法大会において和田浜分団がポンプ車の部で出場し、優勝する
- 9月13日 一ノ谷分団にモリタ式CD-1型消防ポンプ車を新規更新する
- 平成24年 9月 9日 香川県消防操法大会において小山分団がポンプ車の部で出場し、優秀賞を受賞する
- 9月12日 観音寺東分団にモリタ式CD-1型消防ポンプ車を新規更新する
- 平成25年 9月 8日 香川県消防操法大会において常磐分団がポンプ車の部で出場し、準優勝する
- 10月22日 大西光雄団長が、香川県消防協会会長に就任
- 11月 6日 豊田分団にモリタ式CD-1型消防ポンプ車を新規更新する

- 平成26年 3月20日 中姫分団の消防屯所を新築移転する  
9月14日 香川県消防操法大会において萩原分団が小型ポンプの部で出場し、優勝する
- 平成27年 2月 6日 花稲分団にモリタ式CD-1型消防ポンプ車を新規更新する  
2月16日 常磐分団に救助資機材搭載型消防ポンプ車(消防庁からの無償貸付車両)を新規更新する  
9月13日 香川県消防操法大会において豊田分団がポンプ車の部で出場し、準優勝する  
10月 1日 五郷分団の消防屯所を新築移転する
- 平成28年 4月 1日 伊吹防災センターを新築し、伊吹分団屯所がセンター内へ移転する  
9月18日 香川県消防操法大会において姫浜分団がポンプ車の部で出場し、優秀賞を受賞する  
9月16日 和田分団にモリタ式CD-1型消防ポンプ車を新規更新する  
12月28日 粟井分団の消防屯所を新築移転する
- 平成29年 3月 7日 日本消防協会定例表彰式において日本消防協会長より竿頭綬を受賞する  
3月 8日 消防功労者消防庁長官定例表彰式において消防庁長官より竿頭綬を受賞する(三観広域行政組合消防本部と連名)  
4月 1日 各方面隊の名称変更を行う  
第3代団長 田中 健一  
8月 3日 中姫分団にモリタ式CD-1型消防ポンプ車を新規更新する  
9月10日 香川県消防操法大会において下組分団がポンプ車の部で出場し、準優勝する  
11月 1日 下組分団の消防屯所を新築移転する
- 平成30年 7月27日 粟井分団にモリタ式CD-1型消防ポンプ車を新規更新する  
9月 9日 香川県消防操法大会において一ノ谷分団がポンプ車の部で出場し、優秀賞を受賞する
- 平成31年 2月 3日 柞田分団の消防屯所を新築移転する  
4月 1日 第4代団長 矢野 幹和
- 令和元年 9月 8日 香川県消防操法大会において中姫分団がポンプ車の部で出場し、優秀賞を受賞する  
9月27日 高室分団にモリタ式CD-1型消防ポンプ車を新規更新する
- 令和2年 2月14日 豊田分団の消防屯所を新築移転する  
12月11日 萩原分団の消防屯所を新築移転する  
12月15日 萩原分団にモリタ式CD-1型消防ポンプ車を新規更新する
- 令和3年 3月20日 柞田分団に救助資機材搭載型消防ポンプ車(消防庁からの無償貸付車両)を新規更新する
- 令和4年 5月31日 高室分団の消防屯所を新築移転する  
6月2日 香川県知事表彰 優良消防団表彰旗受賞
- 令和4年 11月25日 木之郷分団にモリタ式CD-1型消防ポンプ車を新規更新する
- 令和5年 2月14日 紀伊分団の消防屯所を新築移転する  
令和5年 4月1日 第5代団長 豊田 敏計

## 旧観音寺市消防団の沿革

本市の消防は、明治初期より各集落において消防の自主組織があり消火に従事していたが明治23年、町制施行と同時に義勇消防に代わり公設観音寺消防組を設置。

その後昭和14年の警防団への改組、さらに昭和22年勅令によって「消防団令」が施行され消防団として発足、その後合併等を経て現在に至っている。

寛延元年	観音寺村に大火、500戸が全焼す。
文化 4年	仮屋地区より出火、折からの季節風に町内九分通り焼失す。
慶応 2年	8月大洪水あり、被害甚大、世人寅年の大洪水と称す。
明治 6年	西讃竹槍騒動、寺院・庄屋等のめぼしい建物が焼き打ちさる。
明治10年	川北庄の合田為七が身内20名で火消愛宕組を組織し義勇消防が生まれた。
明治12年	加茂田地区の軽便連中により火消一心社が組織された。
明治23年	町制施行と同時に義勇消防に代わり公設観音寺消防組を設置。二分し、東部は人力車夫、西部は沖仲仕、各30名で組織す。
大正 8年	伊吹島に消防組と別に、火の元用心と出漁時の地区を守るため火防団(女子)が誕生した。
昭和14年 4月	警防団令の公布により消防組は解散し、新たに警防団を組織し消防業務の他、防空救護の業務を附加される。
昭和23年 3月	消防組織法が施行され、消防行政は従来の警察制度から分離独立し、警防団は廃止となり再び消防団として発足した。
昭和25年	国家消防庁より表彰を受ける。
昭和26年11月	四国地区で最初のジープ型消防車2台を購入。
昭和28年	国家消防本部長より優良消防団として竿頭授受賞。
昭和29年	日本消防協会長より優良消防団として竿頭授受賞。
昭和30年 1月	第一次合併が行われ(観音寺町・柞田・常磐・高室村)市制の施行と同時に1団7ヶ分団448名に編成をする。
1月 1日	初代団長 三宅 省一(前職、観音寺町消防団長)
3月	国家消防本部長より優良消防団として表彰旗受賞。
4月	第二次合併が行われ(豊田・栗井村・紀伊村の一部木之郷)1団10ヶ分団671名に編成替をする。
昭和31年 9月	第三次合併(一ノ谷・伊吹村)1団12ヶ分団705名に編成替をし第12分団(伊吹島)に女子団員40名を配置。
昭和32年 5月	香川県操法大会において、第7分団(高室)が手引の部で優勝。
昭和33年 9月	四国地区消防操法大会において、第7分団(高室)が準優勝。
昭和35年 4月	消防団組織改革を行い、1団10ヶ分団443名とする。 (内、伊吹女子消防団員20名)
昭和41年10月 1日	第2代団長 牧野 国光
昭和47年 4月	広域消防発足に伴い消防団事務を組合消防に委託する。
昭和48年 4月 1日	第3代団長 植松 利

昭和53年 5月 香川県知事より優良消防団として表彰旗受賞。

昭和56年 2月 日本消防協会長より優良消防団として表彰旗受賞。

昭和57年10月 第8回全国消防操法大会に第5分団(高室)出場する。

昭和58年 4月 1日 第4代団長 浜田 清

昭和59年 3月 消防庁長官より優良消防団として竿頭授受賞。

昭和62年 4月 1日 第5代団長 安藤 安雄

昭和63年 4月 消防団組織改編により本部分団を増設1団11ヶ分団  
370名で4方面隊制とする。

平成 2年 9月 香川県消防操法大会において栗井分団がポンプ車の部で準優勝。

平成 3年 4月 1日 第6代団長 高橋 努

平成 4年 4月 1日 消防団サイレン吹鳴装置運用開始。  
9月20日 香川県消防操法大会に伊吹分団女子団員が出場する。

平成 5年 2月16日 日本消防協会定例表彰式において、特別表彰「まとい」受賞。  
4月 1日 第7代団長 清水 宏郎  
7月 第48回国民体育大会に警備出場する。  
11月 自治体消防45周年記念大会参加。

平成 6年 2月 日本消防協会長より優良消防団として竿頭授受賞。  
9月18日 香川県消防操法大会において観西分団がポンプ車の部で優勝。

平成 7年 1月 1日 第8代団長 秋山 友義  
9月17日 香川県消防操法大会において高室分団がポンプ車の部で準優勝。

平成 9年 4月 1日 観音寺市防災行政無線運用開始。  
4月 1日 第9代団長 篠原昭元

平成10年 9月17日 香川県消防操法大会において栗井分団がポンプ車の部で準優勝。

平成11年 4月 1日 第10代団長 中塚 敏夫  
9月12日 香川県消防操法大会に常磐分団が出場する。

平成12年 9月10日 香川県消防操法大会において豊田分団がポンプ車の部で準優勝。

平成13年 4月 1日 第11代団長 近藤 辰一  
9月 9日 香川県消防操法大会において一ノ谷分団がポンプ車の部で準優勝。

平成14年 9月15日 香川県消防操法大会において伊吹分団女子部が小型ポンプの部で優秀賞及び特別表彰敢闘賞を受賞。

平成15年 5月23日 観音寺西分団屯所を防災基盤整備事業により観音寺西防災センターとして、観音寺市観音寺町甲 2579 番地 1 に新築移転(建築面積 55.0 m<sup>2</sup>・延べ面積 110.0 m<sup>2</sup>・敷地面積 561 m<sup>2</sup>)した。  
9月14日 香川県消防操法大会において観音寺東分団がポンプ車の部で準優勝。  
11月 自治体消防55周年記念大会参加

平成16年 9月12日 香川県消防操法大会において観音寺西分団がポンプ車の部で準優勝。

平成17年 9月18日 香川県消防操法大会において高室分団がポンプ車の部で優秀賞。  
10月11日 市町合併に伴い、観音寺市消防団、大野原町消防団、豊浜町消防団が合併し、観音寺市消防団となる。

## 旧大野原町消防団の沿革

昭和30年に大野原村は萩原村、五郷村と合併し、続いて紀伊村とも合併が成り大野原町となった。同時に消防団も合併の精神に則って団が結成され、571名となった。

翌昭和31年には、団員の減少による経費の節減を行い、消防機械導入により消防力を充実させるよう461名に整理し、機構改革を行った。

その後、社会の経済成長に伴って農村にも急激な変化が起こり、人口は減少傾向をたどり、在町消防団員も減少を見るに至った。

この事態を解消するため、昭和40年には当時の21ヶ分団461名を行政区画に合わせた8ヶ分団243名に、新しく編成替えを行い、消防の機動化を図ることとした。

さらに昭和44年に団員を193名に整理、この期昭和47年には消防団本部を設置し、役場消防隊7名を配置、さらに昭和50年には本部5名増強し、総勢205名として編成替えを完了し、現在の消防組織の基盤を確立した。

昭和22年 9月18日 初代団長 平田 庫太

昭和40年 2月 日本消防協会長より表彰旗受賞

昭和43年 4月 4日 第2代団長 小西 良隆

昭和51年 4月 4日 第3代団長 石川 弘

昭和56年 3月 消防庁長官より竿頭綬受賞

昭和58年 5月 香川県知事より表彰旗受賞

昭和59年 2月 日本消防協会より竿頭綬受賞

昭和61年 5月12日 第4代団長 福田 清孝

昭和63年 3月 消防庁長官より表彰旗受賞

平成 元年 5月 香川県知事より竿頭綬受賞

平成 2年 9月 香川県消防操法大会優勝

10月 第12回全国消防操法大会敢闘賞

平成 9年 2月 日本消防協会長より竿頭綬受賞

平成10年 4月 1日 第5代団長 守谷 彰介

平成11年 9月 香川県消防操法大会優勝

平成15年 3月 消防庁長官より地域活動表彰受賞

4月 1日 第6代団長 大西 俊一

平成17年 2月 消防庁長官より褒状受賞(台風第21号による災害)

10月11日 市町合併に伴い、観音寺市消防団、大野原町消防団、豊浜町消防団が合併し、観音寺市消防団となる。

## 旧豊浜町消防団の沿革

- 明治27年 公設姫之江村消防組を設置
- 明治32年 2月10日 町制施行により豊浜町消防組になる
- 昭和14年 4月 警防団令の公布により豊浜町警防団に改組
- 昭和22年 10月 消防団令の施行により豊浜町消防団に改組
- 昭和28年 2月11日 日本消防協会長より優良消防団として表彰旗受賞
- 昭和30年 4月 1日 町村合併により豊浜町消防団と和田村消防団が合併し、豊浜町消防団となり現在に至る。
- 初代団長 高森 菊太郎
- 昭和31年 3月 1日 消防庁長官より竿頭綬受賞  
香川県消防操法大会出場 優良賞受賞
- 12月26日 第2代団長 横内 勇三郎
- 昭和33年 3月 7日 消防庁長官より優良消防団として表彰旗受賞
- 昭和34年 12月26日 第3代団長 柴川 栄
- 昭和40年 12月26日 第4代団長 大廣 久市
- 昭和43年 12月26日 第5代団長 山口 元春
- 昭和45年 5月21日 香川県消防協会長より竿頭綬受賞
- 12月 1日 本部分団を設置し、役場団員14名を配備
- 昭和48年 12月 消防ポンプ自動車A - 1級を第3分団に配備
- 昭和49年 12月26日 第6代団長 宝田 昇
- 昭和50年 香川県消防操法大会出場 優良賞受賞
- 昭和51年 3月 3日 日本消防協会長より竿頭綬受賞
- 昭和52年 12月 消防ポンプ自動車A - 2級を第1分団に配備
- 12月26日 第7代団長 大廣 敏一
- 昭和53年 9月 可搬ポンプ積載車を本部分団に配備
- 昭和54年 3月 可搬ポンプB - 3級を第2分団に配備
- 昭和55年 香川県消防操法大会出場 優良賞受賞
- 昭和57年 5月29日 香川県知事より竿頭綬受賞
- 昭和58年 12月26日 第8代団長 合田 綾和
- 昭和60年 2月 2日 愛媛県川之江市より山林火災発生
- 箕浦地区町有林へ延焼 142ヘクター焼失
- 3月 可搬ポンプB - 3級を第1・第3・第4分団に配備  
香川県消防操法大会出場 優良賞受賞
- 11月 消防ポンプ自動車A - 2級を第2分団に配備
- 平成 元年 4月 可搬ポンプB - 3級を本部分団に配備
- 12月26日 第9代団長 横山 実雄
- 平成 2年 10月 消防ポンプ自動車A - 2級を第4分団に配備
- 平成 4年 10月 消防ポンプ自動車A - 2級を第3分団に配備
- 平成 5年 4月 1日 第10代団長 久保 彰市
- 平成 6年 2月15日 日本消防協会長より竿頭綬受賞
- 5月26日 香川県知事より竿頭綬受賞
- 5月26日 香川県消防協会長より竿頭綬受章(3年間無火災 第4分団)
- 8月 可搬ポンプ積載車を本部分団に配備
- 9月18日 香川県消防操法大会出場 優良賞受賞
- 平成 7年 1月 8日 三豊地区消防連合会会長より竿頭綬受賞(1年間無火災)
- 6月 6日 香川県消防協会長より竿頭綬受賞(3年間無火災 第3分団)
- 平成 8年 5月28日 香川県知事より優良消防団として表彰旗受賞
- 9月28日 消防ポンプ自動車A - 2級を第1分団に配備
- 平成11年 2月 9日 日本消防協会長より優良消防団として表彰旗受賞
- 4月 1日 第11代団長 佐野 清一
- 平成12年 1月10日 三豊地区消防連合会会長より竿頭綬受賞(1年間無火災)
- 2月18日 豊浜町箕浦魚見山山林火災発生  
箕浦地区の町有林など 70ヘクター焼失
- 平成14年 3月 6日 可搬ラビット消防ポンプP - 382Sを第2分団に配備

平成15年 9月14日 香川県消防操法大会出場 優勝

12月21日 モリタ式CD - 1型ポンプ車を第4分団に配備

12月24日 ホースカーを第2分団に配備

平成17年 4月1日 第12代団長 田中 健一

10月11日 市町合併に伴い、観音寺市消防団、大野原町消防団、豊浜町消防団が合併し、  
観音寺市消防団となる。





NO	分団名	区域	屯所、器具庫等	ポンプ車 (台)	積載車 (台)	可搬ポン プ(台)
1	高瀬方面隊本部分団	高瀬町全域	鉄筋コンクリート	2		
2	高瀬方面隊第1分団	高瀬町上高瀬、高瀬町新名	鉄骨造 平屋		1	1
3	高瀬方面隊第2分団	高瀬町上勝間、高瀬町下勝間	鉄骨造 平屋		1	1
4	高瀬方面隊第3分団	高瀬町比地中、高瀬町比地	鉄骨造 平屋		1	1
5	高瀬方面隊第4分団	高瀬町佐股、高瀬町羽方	鉄骨造 平屋	1	2	2
6	高瀬方面隊第5分団	高瀬町上麻、高瀬町下麻、高瀬町上勝間	鉄骨造 平屋	1	3	3
7	山本方面隊本部分団	山本町全域	鉄骨造 二階	1		
8	山本方面隊第1分団	山本町辻	鉄骨造 平屋		2	2
9	山本方面隊第2分団1部	山本町長野	コンクリートブロック造		1	1
	山本方面隊第2分団2部	山本町上河内	鉄骨造 平屋		1	1
	山本方面隊第2分団3部	山本町中河内				
	山本方面隊第2分団4部	山本町下河内	木造		1	1
10	山本方面隊第3分団1部	山本町三側	コンクリートブロック造		1	1
	山本方面隊第3分団2部	山本町下大野	木造		1	1
	山本方面隊第3分団3部	山本町西光寺	コンクリートブロック造		1	1
	山本方面隊第3分団4部	山本町財田西(西上、西中)	〃		1	1
	山本方面隊第3分団5部	山本町財田西(庵上、庵下)	鉄骨造 平屋		1	1
11	山本方面隊第4分団1部	山本町川原、山本町岩瀬、山本町山才	コンクリートブロック造		1	1
	山本方面隊第4分団2部	山本町立石、山本町田ノ口、山本町土井	〃		1	1
	山本方面隊第4分団3部	山本町長瀬、山本町砂古、山本町中屋敷	〃		1	1
	山本方面隊第4分団4部	山本町大坪、山本町砂川、山本町大池	〃		1	1
12	三野方面隊第1分団	三野町大見	鉄骨ブロック 平屋 鉄骨造 二階(久保谷)	1	1	1
13	三野方面隊第2分団	三野町下高瀬	鉄骨造 平屋	1		
14	三野方面隊第3分団	三野町吉津	鉄骨造 平屋	1	1	1
15	豊中方面隊第1分団	豊中町桑山	鉄筋コンクリート 二階	1	2	2
16	豊中方面隊第2分団	豊中町比地大	鉄筋コンクリート 平屋	1		
17	豊中方面隊第3分団	豊中町笠田	〃	1		
18	豊中方面隊第4分団	豊中町上高野	鉄骨ブロック 二階	1		
19	豊中方面隊第5分団	豊中町本山	鉄筋コンクリート 二階	1	1	1
20	詫間方面隊第1分団	詫間町松崎	鉄骨造 平屋	1		
21	詫間方面隊第2分団	詫間町詫間(新的場、池尻、桃山、中郷、的場、蟻の首、雇用促進、宮の下、神田下、神田上、田井、マリナーガーデン)、詫間町志々島	鉄筋コンクリート 二階 木造 平屋	1		2
22	詫間方面隊第3分団	詫間町詫間(天満、本村上、本村中、浜田、塩生、塩生ヶ原、高谷、西野団地、松本)	木造 平屋	1		
23	詫間方面隊第4分団	詫間町詫間(須田東、須田西、新浜)、詫間町香田	鉄骨造 平屋	1		
24	詫間方面隊第5分団	詫間町大浜(名部戸)、詫間町大浜(鴨の越、大浜、波止艾、肥地木)	木造 平屋 鉄骨ブロック 二階	1	1	1
25	詫間方面隊第6分団	詫間町大浜(船越、伊佐子)、詫間町積	木造 平屋 鉄骨ブロック 二階		2	2
26	詫間方面隊第7分団	詫間町箱、詫間町生里(生里、仁老浜)	木造、鉄骨造 平屋		2	2
27	詫間方面隊第8分団	詫間町粟島(潟、上新田)	木造 二階、木造 平屋		2	2
28	仁尾方面隊第1分団	仁尾町曾保	軽量鉄骨 二階		1	1
29	仁尾方面隊第2分団	仁尾町(天王、新開、草木、土井、石ヶ谷、江尻、鳶見、南)	鉄筋コンクリート 二階	1		
30	仁尾方面隊第3分団	仁尾町(峠、千代、片山、宿入、中津賀、境目ほか)	第2分団屯所(仁尾町 防災センター)へ仮移転	1	1	1
31	仁尾方面隊第4分団1部	仁尾町(詫間越、朝日、仁尾の上、古江、大北、美浜)	鉄骨造 平屋	1		
	仁尾方面隊第4分団2部	仁尾町家の浦	鉄筋スレート 平屋		1	1
32	財田方面隊第1分団	財田町(屋丹波、別所、黒川、野田原、北地、山才、山王)	木造 平屋		3	3
33	財田方面隊第2分団	財田町(正宗、石野、戸川、芋尾、帰来、荒戸)	〃		2	2
34	財田方面隊第3分団	財田町(雉子尾、久保の下、森、我久)	鉄筋コンクリート 平屋 木造 平屋	1	1	1
35	財田方面隊第4分団	財田町(北野、中元、本篠、山岡、宮尾)	木造 平屋	1		
36	財田方面隊第5分団	財田町(長野、林明、泉平、入樋、吉田、大野地、朝日)	鉄骨造 平屋 木造 平屋		3	3
37						
38						
39						
40						
<b>合計</b>				<b>23</b>	<b>46</b>	<b>48</b>

## 三豊市消防団の沿革

平成18年1月1日、香川県三豊郡の高瀬町・山本町・三野町・豊中町・詫間町・仁尾町・財田町の7町が合併し三豊市が誕生した。これに伴い7町の消防団も統合・再編し、旧町の消防体制を残した7方面隊、44分団、定員1,091名の三豊市消防団が発足した。

- 平成18年 1月 1日 7町合併による三豊市誕生と同時に、旧7町の消防団が統合し三豊市消防団が発足。  
初代団長 藤原 俊治
- 平成19年 6月 5日 香川県知事より竿頭綬受賞
- 平成20年 2月23日 仁尾方面隊第7分団 消防ポンプ車を更新
- 平成21年 9月17日 高瀬方面隊本部分団消防ポンプ車を更新
- 平成21年 9月28日 詫間方面隊第4分団消防ポンプ車を更新
- 平成21年 10月25日 三野方面隊第1分団(久保谷)小型ポンプ付積載車を更新
- 平成21年 10月25日 仁尾方面隊第6分団小型ポンプ付積載車を更新
- 平成22年 2月25日 消防庁長官より消防団等地域活動表彰受賞
- 平成22年 3月28日 三野方面隊第1分団消防ポンプ車を更新
- 平成22年 3月31日 消防庁より救助資機材搭載型消防車両無償貸付
- 平成22年 4月 1日 第2代団長 田中 保志
- 平成22年 10月 3日 山本方面隊第3分団4部小型ポンプ付積載車を更新
- 平成22年 10月17日 仁尾方面隊第5分団小型ポンプ付積載車を更新
- 平成23年 3月24日 詫間方面隊第1分団消防屯所建替
- 平成23年 10月 8日 詫間方面隊第6分団小型動力ポンプ付積載車を更新
- 平成23年 10月 8日 詫間方面隊第7分団小型動力ポンプ付積載車を更新
- 平成23年 10月 8日 詫間方面隊第8分団小型動力ポンプ付積載車を更新
- 平成23年 10月 8日 高瀬方面隊第4分団小型動力ポンプ付積載車を更新
- 平成23年 10月23日 山本方面隊第1分団3部小型動力ポンプ付積載車を更新
- 平成23年 10月23日 山本方面隊第2分団2部小型動力ポンプ付積載車を更新
- 平成23年 11月 3日 山本方面隊第4分団1部小型動力ポンプ付積載車を更新
- 平成24年 9月 9日 香川県消防操法大会(ポンプの部)豊中方面隊優勝
- 平成24年 11月18日 高瀬方面隊第2分団2部小型動力ポンプ付積載車を更新
- 平成24年 11月24日 豊中方面隊第3分団消防ポンプ車を更新
- 平成25年 9月 8日 香川県消防操法大会(ポンプの部)詫間方面隊優勝
- 平成25年 3月10日 三野方面隊第1分団久保谷消防屯所建替
- 平成25年 12月 1日 高瀬方面隊第4分団3部小型動力ポンプ付積載車を更新
- 平成25年 12月 1日 山本方面隊第3分団1部小型動力ポンプ付積載車を更新
- 平成26年 4月 1日 第3代団長 藤川 淳一
- 平成26年 11月 9日 山本方面隊第1分団1部小型動力ポンプ付積載車を更新
- 平成26年 11月 9日 財田方面隊第2分団小型動力ポンプ付積載車を更新
- 平成27年 3月 1日 詫間方面隊第1分団消防ポンプ車を更新
- 平成27年 9月13日 香川県消防操法大会(小型ポンプの部)財田方面隊優勝
- 平成27年 12月13日 山本方面隊第2分団1部小型動力ポンプ付積載車を更新

平成27年 12月13日 財田方面隊第1分団1部小型動力ポンプ付積載車を更新  
平成27年 12月23日 豊中方面隊第4分団消防ポンプ車を更新  
平成27年 12月23日 高瀬方面隊第2分団消防屯所建替  
平成28年 9月18日 香川県消防操法大会(ポンプの部)高瀬方面隊準優勝  
平成28年 11月11日 仁尾方面隊第2分団消防ポンプ車を更新  
平成28年 11月29日 高瀬方面隊第1分団小型動力ポンプ付積載車を更新  
平成28年 11月29日 三野方面隊第3分団小型動力ポンプ付積載車を更新  
平成28年 12月 7日 三野方面隊第3分団消防屯所建替  
平成29年 9月10日 香川県消防操法大会(小型ポンプの部)山本方面隊優勝  
平成30年 3月 4日 財田方面隊第3分団小型動力ポンプ付積載車を更新  
平成30年 3月 4日 財田方面隊第8分団小型動力ポンプ付積載車を更新  
平成30年 3月17日 豊中方面隊第2分団消防ポンプ車を更新  
平成30年 4月 1日 第4代団長 鈴木 朝則  
平成30年 9月16日 香川県消防操法大会(小型ポンプの部)仁尾方面隊優勝  
平成31年 1月12日 山本方面隊第4分団小型動力ポンプ付積載車を更新  
平成31年 3月 8日 消防庁長官より竿頭授受賞  
平成31年 3月16日 仁尾方面隊第4分団消防ポンプ車を更新  
平成31年 3月17日 財田方面隊第7分団小型動力ポンプ付積載車を更新  
令和元年 9月 8日 香川県消防操法大会(ポンプ車の部)詫間方面隊準優勝  
令和元年 11月13日 第24回全国女性消防操法大会で女性部が優良賞(11位)を受賞  
令和元年 12月 8日 高瀬方面隊第3分団小型動力ポンプ付積載車を更新  
令和元年 12月15日 仁尾方面隊第1分団小型動力ポンプ付積載車を更新  
令和2年 2月19日 消防庁より消防ポンプ自動車無償貸付(高瀬方面隊第4分団に配備)  
令和2年 3月 7日 高瀬方面隊第5分団に消防ポンプ車を配備  
令和2年 3月15日 豊中方面隊第5分団消防ポンプ車を更新  
令和2年 3月29日 仁尾方面隊第4分団消防屯所新築  
令和2年 12月 4日 日本消防協会より教育広報事業防災活動車交付  
令和3年 2月28日 財田方面隊第1分団2部小型動力ポンプ付積載車を更新  
令和3年 2月28日 財田方面隊第4分団小型動力ポンプ付積載車を更新  
令和3年 3月 5日 日本消防協会より表彰旗受賞  
令和3年 4月 4日 三野方面隊第3分団消防ポンプ車を更新  
令和3年 4月 7日 詫間方面隊第2分団消防ポンプ車を更新  
令和3年 4月11日 三野方面隊第2分団消防屯所新築  
令和3年 12月19日 財田方面隊第5分団に消防ポンプ車を配備  
令和3年 12月26日 財田町防災センター新築  
令和4年 3月 4日 日本消防協会より竿頭授受賞  
令和4年 3月20日 詫間方面隊第7分団消防屯所新築  
令和4年 4月 1日 第5代団長 塩田 清勝  
令和4年 4月 3日 財田方面隊第6分団2部小型動力ポンプ付積載車を更新  
令和4年 4月17日 山本方面隊第2分団消防屯所新築  
令和4年 9月11日 香川県消防操法大会(ポンプ車の部)三野方面隊準優勝  
令和4年 12月18日 詫間方面隊第3分団消防ポンプ車を更新  
令和5年 1月15日 山本方面隊第2分団4部小型動力ポンプ付積載車を更新  
令和5年 4月 1日 第6代団長 江川 肇

## 旧高瀬町消防団の沿革

江戸の「いろは」47組の火消役のはなばなしは、あまりにも有名であるが、明治以前の高瀬町には、それらしきものは見当たらない。おそらく1894年(明治24年)の勅令により、消防組規則が公布され、続いて同年5月、県令によってその細則が定められ、初めて消防組として組織ができたのである。

当時の消防組には、組頭・小頭・消防手の職種があり、腕用ポンプ1台に消防手が約15名程度配置され、以来1939年(昭和14年)3月まで、警察署長の指揮下のもとに義勇消防として、献身的な奉仕活動が続けられている。

同年4月、消防組はしだいに戦争体制化の進む中で、民間防空自治団体である防護団と合併して「警防団」と改め、第2次世界大戦中には大いに活躍した。

大戦後の1947年(昭和22年)消防組織法により、新しい今日の消防体制ができあがった。1955年(昭和30年)3月31日に、旧5ヶ村(上高瀬・勝間・比地二・二の宮・麻)が合併し、ここに高瀬町消防団が誕生したのである。しかしながら、合併後の機構は、旧村の色彩が強いこともあり、1959年(昭和34年)5月、その機構を改め、定員も350名とした。さらに、1964年(昭和39年)4月、定員183名と改正して現在に至っている。

- 昭和30年 3月31日 初代団長 森 久四郎
- 昭和34年 5月10日 第2代団長 藤田 角良
- 昭和35年 2月11日 日本消防協会会長より竿頭綬を授与される。  
6月 1日 第3代団長 真鍋 常三郎  
10月25日 第4代団長 豊嶋 正則
- 昭和36年 10月30日 第5代団長 秋山 喜代矩
- 昭和38年 9月 4日 第6代団長 白井 義雄
- 昭和46年 2月20日 日本消防協会会長より表彰旗を授与される。  
6月 4日 第7代団長 中岡 茂喜
- 昭和48年 12月 1日 第8代団長 三好 秀義
- 昭和53年 9月23日 香川県消防操法大会出場 優良章受賞
- 昭和58年 5月26日 香川県知事より竿頭綬を授与される。  
9月11日 香川県消防操法大会出場 優良章受賞
- 昭和60年 3月 6日 消防庁長官より竿頭綬を授与される。
- 昭和62年 2月10日 日本消防協会会長より竿頭綬を授与される。
- 平成 4年 9月20日 香川県消防操法大会出場 優秀章受賞  
10月14日 第9代団長 羽野 松夫
- 平成 8年 10月14日 第10代団長 石井 貞男
- 平成12年 10月14日 第11代団長 入江 謙次
- 平成13年 9月 9日 香川県消防操法大会出場 優勝(ポンプ車の部)
- 平成14年 5月 1日 第12代団長 藤原 俊治  
5月31日 香川県知事より竿頭綬を授与される。
- 平成17年 2月10日 日本消防協会会長より竿頭綬を授与される。

## 旧山本町消防団の沿革

昭和30年4月1日香川県三豊郡辻村、河内村、財田大野村及び神田村が合併して新たに山本村が設置されるに伴い、旧村毎に置かれていた消防団も合併して、山本村消防団が設立された。

- 昭和30年 4月 初代団長 田鍋 要 団員350名
- 昭和31年 5月 5日 香川県消防協会長より竿頭綬受賞
- 昭和32年 11月 3日 町制施行に伴い山本町消防団と改称
- 昭和33年 4月 第2代団長 金子 信義 団員323名
- 昭和34年 5月23日 香川県知事より竿頭綬受賞
- 昭和35年 3月 8日 国家消防本部より功労章受賞(伊勢湾台風水害防止活動)
- 昭和37年 2月11日 日本消防協会長より竿頭綬受賞
- 昭和39年 6月 5日 団員155名に改正
- 昭和43年 2月 第3代団長 正田 実 団員155名
- 昭和45年 3月 3日 消防庁長官より竿頭綬受賞
- 昭和49年 4月 7日 第4代団長 正田 精一 団員155名
- 昭和50年 2月25日 日本消防協会長より表彰旗受賞
- 昭和52年 3月 消防庁長官より表彰旗受賞
- 昭和53年 9月 香川県消防操法大会(小型ポンプの部) 優勝
- 10月 第6回全国消防操法大会に出場する。
- 昭和59年 5月26日 香川県知事より表彰旗受賞
- 昭和63年 3月 日本消防協会長より特別表彰纏受賞
- 平成 3年 2月13日 日本消防協会長より竿頭綬受賞
- 平成 7年 4月 1日 第5代団長 田渕 恒雄 団員155名
- 平成10年 5月 香川県知事より竿頭綬受賞
- 平成13年 4月 1日 第6代団長 大藤 春雄 団員155名
- 平成14年 9月15日 香川県消防操法大会(小型ポンプの部) 準優勝

## 旧三野町消防団の沿革

明治27年		公設消防組を設置
昭和14年		消防組を警防団に改める。
昭和22年		大見村消防団、下高瀬村消防団、吉津村消防団が発足
昭和30年		町村合併により三野村消防団が発足
	4月 1日	初代団長 藤田 恒芳
昭和31年		香川県消防協会長より竿頭授受賞 香川県消防操法大会 優勝
昭和33年		四国地区消防操法大会 優勝
昭和34年		第3分団に消防ポンプ自動車を設置
昭和35年		香川県消防協会長より竿頭授受賞
	4月 1日	第2代団長 山下 喜平
昭和36年	4月 1日	第3代団長 石井 栄
	9月 1日	町制施行に伴い三野町消防団が発足
昭和37年		香川県消防協会長より竿頭授受賞
昭和38年	4月 1日	第4代団長 小野 好春
昭和39年	6月 1日	第5代団長 小浜 貢
昭和40年		日本消防協会長より竿頭授受賞 第2分団に消防ポンプ自動車を設置
昭和41年	6月 1日	第6代団長 関子 繁太郎
昭和43年	6月 1日	第7代団長 小野 義秋
昭和46年		第1分団に消防ポンプ自動車並びに可搬ポンプ付積載車を配置
昭和47年	6月 1日	第8代団長 松田 邦利
	12月 1日	第9代団長 吉田 繁義
昭和52年		香川県消防操法大会 最優秀賞受賞
昭和53年		香川県知事より竿頭授受賞
	6月 1日	第10代団長 芳地 邦雄
昭和56年		香川県消防操法大会 最優秀賞受賞
昭和59年	6月 1日	第11代団長 磯崎 福美
昭和60年	2月 8日	日本消防協会長より表彰旗受賞
昭和61年	3月 5日	消防庁長官より竿頭授受賞
昭和63年	6月 1日	第12代団長 藤田 武徳
平成 元年		香川県消防操法大会 優勝
平成 6年	6月 1日	第13代団長 和泉 保良
平成 7年	2月10日	日本消防協会長表彰 竿頭授受賞
平成 9年	6月 1日	第14代団長 小林 寿一
平成10年	9月13日	香川県消防操法大会 優秀賞受賞
平成12年	6月 1日	第15代団長 丸岡 功
平成14年	6月 1日	第16代団長 小野 剛
平成16年	3月 4日	消防庁長官より表彰旗受賞 香川県知事より竿頭授受賞
平成17年	6月1日	第17代団長 嶋田 勲

## 旧豊中町消防団の沿革

- 大正 7年 桑山村・笠田村に消防組が創設され、集落ごとにグループを作り水火災に出動し活躍を始めた。
- 昭和14年 桑山村・比地大村・笠田村・上高野村・本山村の五ヶ村がそれぞれ消防組から警防団に改称
- 昭和26年 昭和22年に笠田村警防団が消防組に改称したのをはじめ、五ヶ村が消防団に改称
- 昭和29年 5月 7日 香川県消防協会長から第3分団竿頭授受賞
- 昭和30年 五ヶ村が合併し、豊中村が誕生。これに伴い同年10月2日に豊中村消防団として発足。  
10月 2日 初代団長 合田 始
- 昭和31年 2月11日 日本消防協会長より竿頭授受賞
- 昭和32年 1月 1日 豊中町消防団に改称  
3月 1日 消防庁長官より竿頭授受賞
- 昭和35年 2月11日 日本消防協会長より表彰旗受賞
- 昭和36年 5月25日 香川県消防協会長より第3分団竿頭授受賞
- 昭和37年 5月23日 香川県知事より竿頭授受賞
- 昭和39年 5月14日 香川県消防協会長より第1分団竿頭授受賞
- 昭和41年 5月31日 香川県消防協会長より第4分団竿頭授受賞
- 昭和42年 5月10日 香川県消防協会長より第2分団竿頭授受賞  
9月25日 第2代団長 石井 登名八
- 昭和43年 5月14日 香川県消防協会長より第5分団竿頭授受賞
- 昭和50年 11月 8日 第3代団長 鳥取 武雄
- 昭和61年 5月24日 香川県消防協会長より第2分団が5ヶ年無火災表彰受賞
- 昭和62年 11月 8日 第4代団長 大江 豊
- 昭和63年 3月 9日 日本消防協会長より竿頭授受賞
- 平成 2年 5月22日 香川県消防協会長より第4分団が3ヶ年無火災表彰受賞
- 平成 3年 3月 6日 消防庁長官より表彰旗受賞  
9月20日 第3分団に消防ポンプ自動車を更新配備  
11月 8日 第5代団長 則包 晴幸
- 平成 4年 6月 4日 香川県消防協会長より第4分団が5ヶ年無火災表彰受賞
- 平成 5年 3月29日 第4分団に消防ポンプ自動車を更新配備  
5月28日 香川県知事より表彰旗受賞  
11月15日 第2分団に消防ポンプ自動車を更新配備
- 平成 7年 6月 6日 香川県知事より竿頭授受賞  
11月13日 第5分団に消防ポンプ自動車を更新配備
- 平成 9年 9月20日 第3分団に小型動力ポンプ付積載車を更新配備
- 平成12年 4月 1日 第6代団長 横田 尚和
- 平成14年 5月31日 日本消防協会長より竿頭授受賞
- 平成16年 2月13日 日本消防協会長より表彰旗受賞
- 平成17年 4月 1日 第7代団長 平尾 武勇  
9月18日 香川県消防操法大会(ポンプ車の部)優勝

## 旧詫間町消防団の沿革

江戸時代は、村内に火災が発生した場合、寺の鐘を乱打して一般に警報するのを慣例とし、一般の人は、鳶口・とうぐわなどを持って消火にあたった。明治20年消防組が発足し、集落ごとに自衛的に小型ポンプ1台を中心にグループを作り、水火災に出動した。大正のはじめそれを統合し、第1・2・3・4の分団に分けて消防組織がととのった。

- 昭和 3年 消防力の向上充実を図るため、公設消防組を改組し、昭和22年それを消防団と改称した。
- 昭和22年 11月 1日 消防組を消防団と改称した。
- 昭和25年 25馬力のガソリンポンプ1台が初めて配備される。
- 昭和26年 5月28日 香川県消防協会長より第8分団が3ヶ年無火災表彰受賞
- 昭和27年 5月20日 香川県消防協会長より竿頭授受賞
- 昭和30年 4月 1日 町村合併と同時に詫間町・荘内村・栗島村の消防団が統合し詫間町消防団として発足。  
初代団長 安藤 清誉
- 5月 1日 第2代団長 吉田 栄吉
- 5月22日 詫間町消防団条例が施行される。定数338名
- 昭和32年 5月12日 香川県消防協会長より竿頭授受賞  
香川県消防協会長より第8分団が4ヶ年無火災表彰受賞
- 昭和33年 6月 4日 香川県消防協会長より第9分団が10ヶ年無火災表彰受賞
- 昭和34年 9月26日 台風15号により町内の港湾護岸に大被害を受ける。
- 昭和35年 3月30日 建設大臣より水防の功績により表彰される。  
6月 3日 香川県消防協会長より第2分団が竿頭授受賞
- 昭和37年 2月11日 日本消防協会長より竿頭授受賞
- 昭和38年 10月 1日 第3代団長 三田 定一
- 昭和40年 4月 1日 第4代団長 横山 永由
- 昭和41年 4月 1日 詫間町消防団条例が改正される。本部分団以下9分団となり定数200名となった。
- 昭和43年 5月14日 香川県知事より竿頭授受賞
- 昭和51年 6月 1日 第5代団長 渡辺 幸男  
9月10日 台風17号により荘内半島全域に被害を受ける。
- 昭和52年 9月24日 防災行政無線電話を設置
- 昭和54年 2月10日 日本消防協会長より表彰旗受賞
- 昭和55年 2月 2日 名部戸地区山林火災発生
- 昭和57年 3月 3日 消防庁長官より竿頭授受賞
- 昭和61年 3月 8日 紫雲出山より出火、12.5ヘクタール焼失
- 昭和63年 6月 1日 第6代団長 村沢 隆  
9月18日 香川県消防操法大会において第3分団ポンプ車の部で準優勝  
12月27日 大浜地区で本町戦後最大の山林火災が発生、105ヘクタール焼失
- 平成 2年 3月 8日 消防庁長官より表彰旗受賞
- 平成 4年 2月13日 日本消防協会長より竿頭授受賞
- 平成 6年 5月26日 香川県消防協会長より第5分団が3ヶ年無火災表彰受賞  
香川県消防協会長より第4分団が5ヶ年無火災表彰受賞
- 平成 8年 6月 1日 第7代団長 真鍋 時敏  
11月28日 大倉工業(株)詫間工場で工場火災発生
- 平成10年 5月31日 香川県消防協会長より第9分団が3ヶ年無火災表彰受賞  
9月16日 名部戸地区林野火災発生、24ヘクタール焼失
- 平成12年 6月 1日 第8代団長 田中 保志  
6月 7日 香川県消防協会長より第9分団が5ヶ年無火災表彰受賞  
香川県消防協会長より第1分団が3ヶ年無火災表彰受賞
- 平成13年 6月 5日 香川県知事より竿頭授受賞
- 平成14年 5月31日 香川県消防協会長より第6分団が3ヶ年無火災表彰受賞  
12月14日 栗島紫谷山林野火災発生、17ヘクタール焼失
- 平成15年 6月 3日 香川県知事より表彰旗受賞
- 平成16年 6月 1日 香川県消防協会長より第6分団が5ヶ年無火災表彰受賞



## 旧仁尾町消防団の沿革

- 明治17年 10月 1日 仁尾村消防組(私設)  
明治27年 2月 1日 仁尾村消防組(公設)  
大正13年 4月 1日 仁尾町消防組(町制施行)  
昭和 3年 11月28日 観音寺警察部長表彰  
昭和 6年 12月28日 初代団長 塩田 要  
昭和 9年 3月 香川県警察部長表彰  
昭和14年 4月 1日 仁尾町警防団と改組  
昭和22年 3月 7日 仁尾町消防団と改組  
昭和25年 10月10日 消防ポンプ自動車トヨタ1951年式配備  
10月28日 第2代団長 森 清義  
昭和26年 1月17日 香川県消防協会長より竿頭授受賞  
昭和31年 3月31日 消防ポンプ自動車ニッサンA級配備  
5月 5日 香川県消防操法大会四輪自動車部優勝  
昭和32年 5月12日 香川県消防操法大会四輪自動車部準優勝  
5月12日 香川県知事表彰  
昭和33年 2月11日 日本消防協会より表彰旗受賞  
9月28日 第1回四国消防操法大会優勝  
昭和34年 2月 8日 第3代団長 中橋 正希  
昭和35年 10月30日 消防ポンプ自動車トヨタA2級配備  
昭和37年 3月 7日 消防庁長官より竿頭授受賞  
昭和43年 12月23日 消防ポンプ自動車トヨタA2級配備  
昭和44年 12月25日 積載車ミニエース配備  
昭和45年 3月 3日 消防庁長官より竿頭授受賞  
10月15日 第2回全国消防操法大会出場  
昭和50年 1月 1日 第4代団長 曾根 将夫  
6月 5日 積載車ダイハツデルタ配備  
9月10日 三豊郡消防操法大会優秀賞  
10月11日 香川県消防操法大会優秀賞(竿頭授)  
10月30日 消防ポンプ自動車トヨタSF-56配備  
昭和51年 5月 5日 積載車ニッサンサニーキャブトラック配備  
11月10日 香川県知事感謝状受賞  
昭和52年 6月 8日 全国防災協会長表彰  
昭和53年 1月 1日 第5代団長 曾根 建夫  
昭和54年 9月23日 香川県消防操法大会優良賞(竿頭授)  
昭和55年 1月 1日 第6代団長 中井 正勝  
昭和59年 1月 1日 第7代団長 浪越 利幸  
11月18日 消防ポンプ自動車CD-1型配備  
昭和61年 2月 4日 日本消防協会長より竿頭授受賞  
昭和61年 9月13日 積載車マツダボンゴワイドロー配備  
昭和61年 9月14日 香川県消防操法大会優良賞(竿頭授)  
昭和63年 4月 1日 第8代団長 真鍋 啓三  
5月25日 香川県知事より表彰旗受賞  
平成 2年 5月22日 香川県知事より竿頭授受賞  
平成 3年 10月31日 消防ポンプ自動車BD-1型配備  
平成 4年 1月 1日 第9代団長 藤田 安  
平成 7年 1月 1日 第10代団長 西山 義夫  
9月17日 香川県消防操法大会優秀賞(竿頭授)  
12月26日 消防ポンプ自動車CD-1型配備  
平成 8年 3月19日 積載車トヨタハイエース配備  
平成12年 4月 1日 第11代団長 楠本 久雄  
7月31日 仁尾町防災センター 落成  
平成14年 2月 8日 日本消防協会より表彰旗受賞  
平成16年 9月12日 香川県消防操法大会優秀賞(竿頭授)  
平成17年 2月10日 日本消防協会長より竿頭授受賞

## 旧財田町消防団の沿革

- 昭和14年 警防団令により消防組の名称を警防団と改称
- 昭和22年 8月 1日 初代団長 大矢 訶吉  
8月 9日 消防団発足 団員250名 腕用手押ポンプ10台
- 昭和27年 可搬動力ポンプを第3分団へ配属
- 昭和28年 可搬動力ポンプを第4・8分団へ配属
- 昭和29年 4月 1日 第2代団長 滝頭 春雄  
可搬動力ポンプを第2分団へ配属
- 昭和33年 4月 1日 第3代団長 久保 一実  
4月 可搬動力ポンプを第1分団へ配属  
6月 可搬動力ポンプを第5分団へ配属  
9月 可搬動力ポンプを第6分団へ配属
- 昭和35年 2月 可搬動力ポンプを第7分団へ配属
- 昭和36年 10月 可搬動力ポンプを第6分団へ配属
- 昭和37年 4月 1日 第4代団長 岡崎 政廣
- 昭和39年 10月 可搬動力ポンプを第1分団へ配属
- 昭和43年 3月 7日 日本消防協会会長より竿頭授受賞
- 昭和47年 12月 1日 第5代団長 松本 勝
- 昭和51年 7月 1日 第6代団長 行成 利徳  
消防積載車を第6分団へ配属
- 昭和53年 5月26日 香川県知事より竿頭授受賞  
消防積載車を第1・2・3分団へ配属
- 昭和54年 消防ポンプ車を本部分団へ配属  
消防積載車を第4・5・7・8分団へ配属
- 昭和55年 5月17日 香川県知事より表彰旗受賞  
消防積載車を第1・6分団へ配属
- 昭和58年 3月 2日 消防庁長官より竿頭授受賞
- 平成 元年 2月10日 日本消防協会会長より表彰旗受賞
- 平成 4年 4月 1日 第7代団長 角岡 昌  
8月 本部分団 消防ポンプ車を更新
- 平成 5年 2月16日 日本消防協会会長より竿頭授受賞
- 平成 6年 5月26日 香川県知事より竿頭授受賞  
11月 4日 小型ポンプ積載車を第1分団1部及び第2分団へ配属
- 平成 7年 10月22日 小型ポンプ積載車を第3分団及び第4分団へ配属
- 平成 8年 10月26日 小型ポンプ積載車を第5・7・8分団へ配属
- 平成 9年 1月12日 三豊地区消防連合会会長より竿頭授(1年間無火災)受賞  
10月24日 小型動力ポンプ積載車を第1分団2部及び第6分団2部へ配属
- 平成11年 1月10日 三豊地区消防連合会会長より竿頭授(1年間無火災)受賞  
3月 5日 消防庁長官より表彰旗受賞
- 平成12年 9月10日 香川県消防操法大会(小型ポンプの部)優勝
- 平成13年 1月14日 三豊地区消防連合会会長より竿頭授(1年間無火災)受賞
- 平成16年 1月11日 三豊地区消防連合会会長より竿頭授(1年間無火災)受賞  
4月 1日 第8代団長 谷川 利行
- 平成17年 3月 6日 本部分団 消防ポンプ車を更新

---

---

# 組 合 規 約

---

---



三觀広域行政組合徽章



### 三 観 広 域 行 政 組 合 規 約

(昭和46年 3月20日 香川県知事許可)

変更 (昭和47年 3月14日 香川県知事許可)	(昭和49年 3月 1日 香川県知事許可)
(昭和49年 3月28日 香川県知事許可)	(昭和53年 3月28日 香川県知事許可)
(昭和54年 2月27日 香川県知事許可)	(昭和55年 2月28日 香川県知事許可)
(昭和58年11月14日 香川県知事許可)	(昭和61年 4月 1日 香川県知事許可)
(平成 元年11月24日 香川県知事許可)	(平成 4年 1月30日 香川県知事許可)
(平成 5年 2月12日 香川県知事許可)	(平成 7年 3月 2日 香川県知事許可)
(平成 7年11月20日 香川県知事許可)	(平成 8年 4月24日 香川県知事許可)
(平成 8年12月13日 香川県知事許可)	(平成 9年11月10日 香川県知事許可)
(平成10年 8月11日 香川県知事許可)	(平成11年 4月 1日 香川県知事許可)
(平成12年 2月28日 香川県知事許可)	(平成12年 4月 1日 香川県知事許可)
(平成13年 4月 1日 香川県知事許可)	(平成14年 4月 1日 香川県知事許可)
(平成15年 1月21日 規 約 第 1 号)	(平成15年12月22日 規 約 第 2 号)
(平成16年 4月 1日 香川県知事許可)	(平成16年 7月23日 香川県知事許可)
(平成18年 3月23日 香川県知事許可)	(平成19年 3月28日 香川県知事許可)
(平成20年 3月31日 規 約 第 1 号)	(平成21年 1月15日 香川県知事許可)
(平成21年10月 9日 香川県知事許可)	(平成22年 3月15日 香川県知事許可)
(平成24年 3月30日 香川県知事許可)	(平成25年 3月19日 香川県知事許可)
(平成27年 2月 3日 香川県知事許可)	(平成27年10月20日 香川県知事許可)
(平成30年 1月19日 香川県知事許可)	

(名称)

第1条 この組合は、三観広域行政組合（以下「組合」という。）という。

(構成市)

第2条 組合は、観音寺市及び三豊市（以下「関係市」という。）をもって組織する。

(共同処理する事務)

第3条 組合は、次の各号に定める事務を共同処理する。

- (1) 関係市より移管された、関係市における滞納市税等の整理に関する事務。
- (2) 消防組織法（昭和22年法律第226号）及び消防法（昭和23年法律第186号）に定める消防事務（水利施設の設置及び管理並びに非常備消防に関する事務を除く。）
- (3) ガス事業法（昭和29年法律第51号。以下この号において「法」という。）に基づく事務のうち、次に掲げる事務。
  - ア 法第46条第1項の規定による報告徴収
  - イ 法第47条第1項の規定による立入検査
  - ウ 法第47条の2第1項の規定による命令
- (4) 液化石油ガスの保安の確保及び取引の適正化に関する法律（昭和42年法律第149号。以下この号において「法」という。）に基づく事務のうち、次に掲げる事務。
  - ア 法第16条の2第2項の規定による命令（イの届出に係るものに限る。）
  - イ 法第38条の3の規定による届出の受理

- ウ 法第 8 2 条第 1 項の規定による報告徴収
- エ 法第 8 3 条第 1 項の規定による立入検査等
- オ 法第 8 3 条第 3 項の規定による立入検査等（イの届出に係るものに限る。）
- カ 法第 8 3 条の 2 第 1 項の規定による命令

- (5) 在宅当番医制事業の委託に関する事務。
- (6) 病院群輪番制病院事業の補助金に関する事務。
- (7) 小児救急医療支援事業の補助金に関する事務。
- (8) 救急勤務医支援事業の補助金に関する事務。
- (9) 電子計算センターの設置及び運営管理に関する事務。
- (10) 戸籍事務に係る電子情報処理組織の管理に関する事務。
- (11) ごみ処理施設の設置及び運営管理に関する事務。
- (12) 圏域内における地域情報化の推進及びこれに関する事務。
- (13) 介護保険法（平成 9 年法律第 1 2 3 号）に基づく事務のうち、介護認定審査会における要介護認定及び要支援認定並びに生活保護法（昭和 2 5 年法律第 1 4 4 号）に基づく介護扶助のための要介護状態等の審査判定業務に関する事務。
- (14) 障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律（平成 1 7 年法律第 1 2 3 号）に基づく事務のうち、介護給付費等の支給に係る審査判定業務に関する事務。
- (15) 市町広域連携事業に関する事務。

（事務所の位置）

第 4 条 組合の事務所は、観音寺市坂本町一丁目 1 番 7 号に置く。

（組合の議会）

第 5 条 組合の議会の議員（以下「組合議員」という。）の定数は 1 6 人とし、その選出区分は次のとおりとする。

観音寺市	8 人
三 豊 市	8 人

- 2 前項の組合議員は、関係市議会において、その議会の議員のうちから選挙する。
- 3 組合議員に欠員を生じたときは、その組合議員を選挙した関係市議会は、直ちに補欠選挙を行わなければならない。

（組合議員の任期）

第 6 条 組合議員の任期は、関係市の議員としての任期による。

（管理者及び副管理者）

第 7 条 組合に、管理者及び副管理者 1 人を置く。

- 2 管理者及び副管理者は、関係市長において、関係市の長のうちから選挙する。
- 3 管理者及び副管理者の任期は、それぞれ関係市の長としての任期による。

（会計管理者）

第 8 条 組合に、会計管理者を置く。

- 2 会計管理者は、関係市の会計管理者のうちから管理者が任命する。

（監査委員）

第 9 条 組合に、監査委員 2 人を置く。

- 2 監査委員は、管理者が組合議会の同意を得て、識見を有する者及び組合議員のうちから各 1 人を選任する。

3 監査委員の任期は、識見を有する者にあつては4年とし、組合議員のうちから選任された者にあつては、当該組合議員としての任期による。

(事務局)

第10条 組合に事務局を置く。

(職員)

第11条 組合に、事務局長その他の必要な職員を置く。

2 前項の職員は、法令に特別の定めのある者のほか、管理者が任免する。

(組合の経費の支弁方法)

第12条 組合の経費は、関係市の負担金、組合財産及び事業より生ずる収入、法令により組合に属する収入、その他の収入をもってあてる。

2 前項に規定する関係市の負担金の負担割合は、別表に定めるところによる。

3 前項の規定にかかわらず特別の事情があるときは、関係市の負担金の負担割合の全部又は一部について、組合議会の議決を経て定める方法により、関係市に分賦することができる。

附 則

この規約は、香川県知事の許可のあつた日から施行する。ただし、第3条第4号及び第5号の規定については、昭和46年4月1日から施行する。

附 則

この規約は、香川県知事の許可のあつた日から施行する。ただし、第3条第6号の規定は、昭和47年4月1日から施行する。

附 則

(施行日)

1 この規約は、香川県知事の許可のあつた日から施行する。ただし、改正後の規約第3条第7号中「養護老人ホームの運営管理に関する事務」及び別表中「養護老人ホームの運営管理費」の規定は、三豊老人ホーム事務組合の解散の日の翌日から施行する。

(建設費の特例)

2 改正後の規約第3条第7号により設置される養護老人ホームの建設費については、別表の規定にかかわらず、設置初年度建設計画(100床)に係る当該建設費の負担割合は、次のとおりとする。

建 築 費	建築関係費	100床建築関係費中50床分については、全額観音寺市が負担し、残り50床分については、関係市町が人口割により分担する。
	用地関係費	200床建築用地関係費中50床分については、全額観音寺市が負担し、残りの用地関係費については、関係市町が人口割により分担する。

附 則

この規約は、昭和49年4月1日から施行する。

附 則

この規約は、香川県知事の許可のあつた日から施行する。ただし、改正後の規約中、視聴覚ライブラリーに関する規定は、昭和53年4月1日から施行する。

附 則

この規約は、香川県知事の許可のあつた日から施行し、昭和53年度の事業から適用する。

附 則

この規約は、昭和55年4月1日から施行する。

附 則

この規約は、香川県知事の許可のあった日から施行し、昭和58年度の事業から適用する。

附 則

この規約は、香川県知事の許可のあった日から施行する。

附 則

この規約は、香川県知事の許可のあった日から施行する。

附 則

この規約は、香川県知事の許可のあった日から施行する。

附 則

この規約は、平成5年4月1日から施行する。ただし、改正後の規約中特別養護老人ホーム、老人短期入所事業に係る施設、老人デイサービスセンター及び在宅介護支援センターの運営管理費の規定の施行期日は規則で定める。

附 則

この規約は、平成7年4月1日から施行する。

附 則

この規約は、香川県知事の許可のあった日から施行する。

附 則

この規約は、香川県知事の許可のあった日から施行する。

附 則

この規約は、平成9年4月1日から施行する。

附 則

この規約は、香川県知事の許可のあった日から施行する。

附 則

この規約は、香川県知事の許可のあった日から施行する。

附 則

この規約は、香川県知事の許可のあった日から施行する。

附 則

この規約は、香川県知事の許可のあった日から施行する。

附 則

この規約は、香川県知事の許可のあった日から施行する。

附 則

この規約は、香川県知事の許可のあった日から施行する。

附 則

この規約は、平成14年4月1日から施行する。

附 則

この規約は、公布の日から施行し、平成14年12月9日から適用する。

附 則

この規約は、公布の日から施行する。

附 則



この規約は、平成16年4月1日から施行する。

附 則

この規約は、香川県知事の許可のあった日から施行する。

附 則

この規約は、平成18年4月1日から施行する。

附 則

(施行期日)

1 この規約は、平成19年4月1日から施行する。

(経過措置)

2 この規約の施行の際現在に在職する収入役は、その任期中に限り、なお従前の例により在職するものとする。この場合においては、変更後の第8条の規定は、適用しない。

附 則

この規約は、公布の日から施行し、平成20年2月1日から適用する。

附 則

この規約は、平成21年4月1日から施行する。

附 則

この規約は、香川県知事の許可のあった日から施行し、平成21年4月1日から適用する。

附 則

この規約は、平成22年4月1日から施行する。

附 則

この規約は、平成24年4月1日から施行する。

附 則

この規約は、平成25年4月1日から施行する。

附 則

この規約は、平成27年4月1日から施行する。

附 則

この規約は、香川県知事の許可のあった日から施行する。

附 則

この規約は、香川県知事の許可のあった日から施行する。

## 別表（第12条関係）

## 関係市が負担する負担割合

区 分	割 合	
市 税 等 の 滞 納 整 理	均 等 割 2,000,000円 滞納整理済額割 20% 人 口 割 均等割、滞納整理済額割、 その他の収入をもってし ても、なお歳出に不足する 額	
消 防	地方交付税の消防費基準財政需要額割	
ガ ス 事 業 法 に 基 づ く 事 務	処理件数割	
液化石油ガスの保安の確保及び取引の 適正化に関する法律に基づく事務	処理件数割	
組合が譲渡した養護老人ホームの建替え又 は改修に要する経費の補助に関する事務	均 等 割	
在 宅 当 番 医 制 事 業	均 等 割	
病 院 群 輪 番 制 病 院 事 業	均 等 割	
小 児 救 急 医 療 支 援 事 業	均 等 割	
救 急 勤 務 医 支 援 事 業	均 等 割	
電 子 計 算 セ ン タ ー	建 設 費	全額 観音寺市
	運 営 管 理 費	人口割。ただし、いずれかの市のみの仕様に 係る費用にあつては当該市の負担。
戸 籍 事 務 に 係 る 電 子 情 報 処 理 組 織	人口割。ただし、いずれかの市のみの仕様に 係る費用にあつては当該市の負担。	
ご み 処 理 施 設	運 営 管 理 費	実 績 割
	施 設 閉 鎖 に 伴 う 費 用	人 口 割
介 護 認 定 審 査 及 び 介 護 扶 助 の た め の 要 介 護 状 態 等 の 審 査 判 定	30%均等割、70%人口割（65歳以上）	
介 護 給 付 費 等 の 支 給 に 係 る 審 査 判 定	30%均等割、70%審査件数割	
そ の 他 組 合 の 運 営 管 理 費	均 等 割	

備考 人口割に用いる人口は、当該予算の属する会計年度の地方交付税の算定に用いる人口による。







# 消 防 年 報

(令和4年度)

編集	三親広域行政組合消防本部総務課
発行	三親広域行政組合消防本部
住所	香川県観音寺市坂本町一丁目1番7号
電話	0875(24)0119
ホームページ	<a href="https://fdsankan.jp/">https://fdsankan.jp/</a>
メールアドレス	<a href="mailto:soumu@fdsankan.jp">soumu@fdsankan.jp</a>